

《第7期中標津町総合計画》

まちづくり町民アンケート 調査結果報告書



令和6年3月

中標津町総務部政策推進課

目 次

I 調査の概要及び回答者の属性

1 調査の概要	1
（1）調査の目的	1
（2）調査対象及び調査方法	1
（3）配布数及び回収結果	1
（4）本調査結果報告書の留意点	1
2 回答者の属性	2
（1）一般町民（18歳以上の町民）	2

II まちづくり町民アンケート調査結果

1 愛着度・定住意向について	5
（1）まちへの愛着度について	5
問2 あなたは、中標津町に「自分のまち」としての愛着を感じていますか・	5
（2）今後の定住意向について	7
問3 あなたは、今後も中標津町に住み続けたいと思いますか・	7
（3）住み続けたい主な理由	9
（4）住みたくない主な理由	10
2 まちの取り組みについて	11
問4 まちの計画や取り組みに関心を持っていますか・	11
問5 町の情報について、知りたい情報が得られていると感じますか・	12
問6 町民と行政が協力してまちづくりが進められていると感じますか・	15
問7 あなたは町内会に加入していますか・	16
問8 国際交流、地域間交流（他の市町村との交流）が行われていると感じま すか・	19
問9 北方領土問題を身近な問題として感じますか・	20
問10 男女が対等な立場で、家庭、職場、地域など社会のあらゆる分野の活 動に参画できていると感じますか・	21
問11 男女が平等に参加できる社会を形成するために、今後どのような取り 組みが必要だと思いますか・	24
問12 情報通信機器（スマートフォンやパソコン等）を持っていない又は操 作が苦手なため、町の情報が得られず困ったことや申請ができず困っ たことがありますか・	25
問13 地域や家庭で子どもが安心して育てられていると感じますか・	27
問14 高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らしていると感じますか・	28
問15 障がい福祉サービスが整っていると感じますか・	29
問16 あなたの地域活動・ボランティア活動への参加状況と今後の参加意向 についてお尋ねします・	30
問17 町立病院の医療体制に満足していますか・	33

問 1 8 健康保険や年金の制度に関して、知りたい情報が得られていると感じ ますか・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	34
問 1 9 地元の農畜産物（乳製品、肉、野菜、加工品等）を身近に感じますか	35
問 2 0 町が行う植樹などの森林づくり活動に参加したいと思いませんか・・・	36
問 2 1 町内での飲食や買い物に満足していますか・・・・・・・・・・・・・・・・	37
問 2 2 あなたは観光客に対して「おもてなし」の気持ちを持っていますか・	38
問 2 3 雇用対策（通年雇用、雇用の創出・確保等）に満足していますか・・	39
問 2 4 住んでいる地域が「良好なまちなみ（住環境）である」と感じていま すか・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	40
問 2 5 日々の生活の中で景観を意識していますか・・・・・・・・・・・・・・・・	41
問 2 6 公共交通（バス）を利用して、便利に暮らすことができていると感じ ますか・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	42
問 2 7 中標津空港利用の利便性に満足していますか・・・・・・・・・・・・・・・・	43
問 2 8 日頃から家庭で災害（地震や風雪災害など）への備えをしていますか	44
問 2 9 あなたは、防災のための情報をどこから得ていますか・・・・・・・・	45
問 3 0 地域や企業などでの防犯活動に参加していますか・・・・・・・・	46
問 3 1 消費生活に関する正しい情報を得られていると感じますか・・・・・・・・	47
問 3 2 日頃から環境問題（温暖化、省エネルギー、ごみ減量等）について意 識していますか・・・・・・・・・・・・・・・・	48
問 3 3 3 R 運動（リデュース：発生抑制、リユース：再使用、リサイクル： 再生使用）をしていますか・・・・・・・・・・・・・・・・	49
問 3 4 学校、家庭、地域が一体となって教育活動を進めていると感じますか	50
問 3 5 らいふまっぷ（生涯学習情報誌）・社会教育施設ホームページに満足 していますか・・・・・・・・・・・・・・・・	51
問 3 6 生涯学習活動を通して生きがいを感じますか・・・・・・・・	52
問 3 7 運動やスポーツに取り組んでいますか・・・・・・・・	53
問 3 8 文化活動・芸術活動に取り組んでいますか・・・・・・・・	54
問 3 9 町内に、歴史や自然・文化を後世に伝えていくため、残したいと思う ものがありますか・・・・・・・・	55
問 4 0 第7期中標津町総合計画のまちづくりの基本理念について、あなたが 感じる町の達成度合いをお聞かせください・・・・・・・・	56

Ⅲ まちづくり町民アンケート自由意見

1 町の行政に望むことやまちづくりについての自由記述・・・・・・・・	58
（1）自由記述の記入状況・・・・・・・・	58

Ⅳ 参考資料

まちづくり町民アンケート調査票

I 調査の概要及び回答者の属性

1 調査の概要

(1) 調査の目的

第7期中標津町総合計画に基づく取組みに対する町民皆さんの意見や考え方を把握し、今後の町政に反映させ計画的に施策を実施することを目的とします。

(2) 調査対象及び調査方法

- ◆ 調 査 対 象 : 18歳以上の町民
- ◆ 抽 出 法 : 無作為抽出（住民基本台帳より抽出）
- ◆ 調 査 方 法 : 郵送配付（郵送回答又はインターネット回答）
- ◆ 調 査 時 期 : 令和5年5月
- ◆ 調 査 区 域 : 中標津町内全域

(3) 配布数及び回収結果

- ◆ 配 布 数 : 1,000票
- ◆ 有効回収数 : 354票
- ◆ 有効回収率 : 35.40%

(4) 本調査結果報告書の留意点

本報告書の内容について、次の点に留意して下さい。

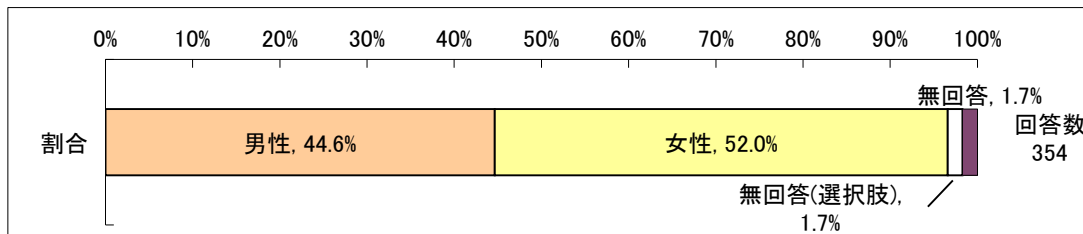
- 比率は百分率（％）で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出しているため、合計が100％を上下する場合があります。
- 基礎となるべき実数は、“回答数＝〇〇〇”として掲載し、各比率は回答数を100％として算出しました。
- 質問の終わりに【複数回答】とある問は、1人の回答者が複数の回答を出してもよい問となっています。
- 文中、グラフ中の選択肢の文言は一部簡略化しています。
- 問の中には、「～に○をつけた方にうかがいます。」などさまざまな制限があり、また、属性別での職業別など回答者が少なく、有意性の低いものも含まれます。

2 回答者の属性

(1) 一般町民（18歳以上の町民）

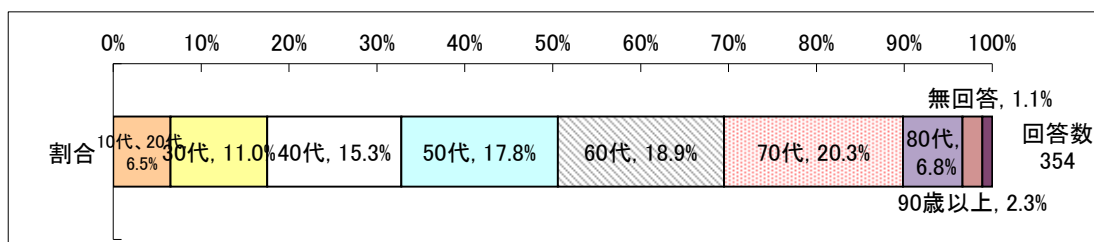
① 性別

回答者の性別構成は、「男性」が158名・44.6%、「女性」が184名・52.0%、「無回答」の選択肢を選んだ方が6名・1.7%となっています。



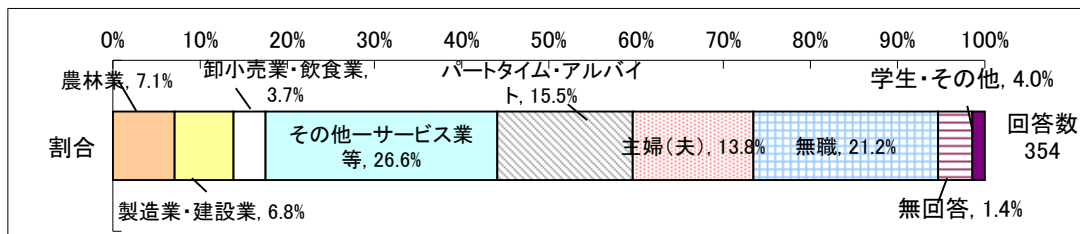
② 年齢

回答者の年齢構成は、「70代」が72名・20.3%で最も多く、次いで「60代」が67名・18.9%、「50代」が63名・17.8%、「40代」が54名・15.3%、「30代」が39名・11.0%、「80代」が24名・6.8%、「10代・20代」が23名・6.5%、「90歳以上」が8名・2.3%の順となっています。



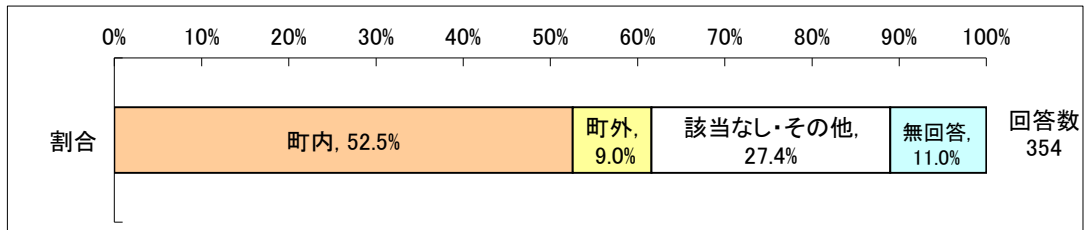
③ 職業

回答者の職業は、「その他サービス業等」が94名・26.6%で最も多く、次いで「無職」が75名・21.2%、「パートタイム・アルバイト」が55名・15.5%、「主婦(夫)」が49名・13.8%、「農林業」が25名・7.1%、「製造業・建設業」が24名・6.8%、「学生・その他」が14名・4.0%、「卸小売業・飲食業」が13名・3.7%、「無回答」が5名・1.4%の順となっています。



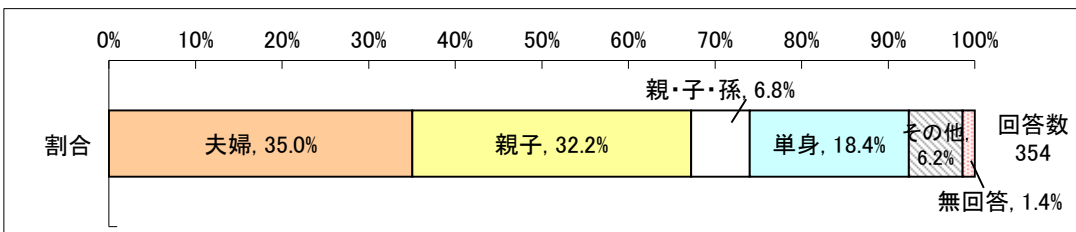
④ 通勤・通学先

回答者の通勤・通学先は、「町内」が186名・52.5%で最も多く、次いで「該当なし・その他」が97名・27.4%、「無回答」が39名・11.0%、「町外」が32名・9.0%の順となっています。



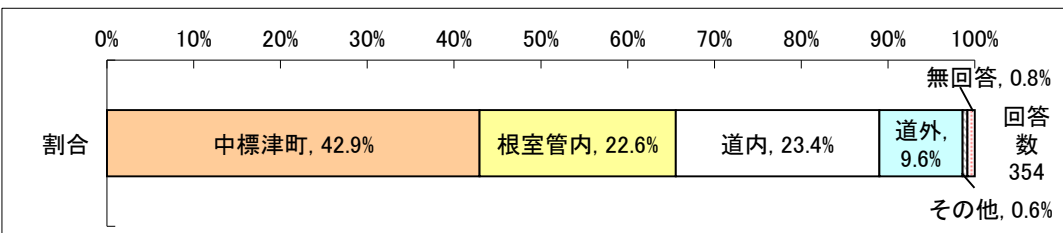
⑤ 家族構成

回答者の家族構成は、「夫婦」が124名・35.0%で最も多く、次いで「親子（2世代）」が114名・32.2%、「単身」が65名・18.4%、「親・子・孫」が24名・6.8%、「その他」が22名・6.2%の順となっています。



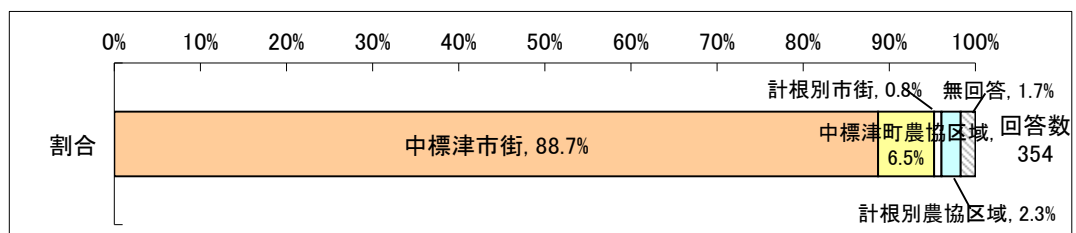
⑥ 出身地

回答者の出身地は、「中標津町」が152名・42.9%で最も多く、次いで「道内」が83名・23.4%、「根室管内」が80名・22.6%、「道外」が34名・9.6%、「その他」が2名・0.6%の順となっています。



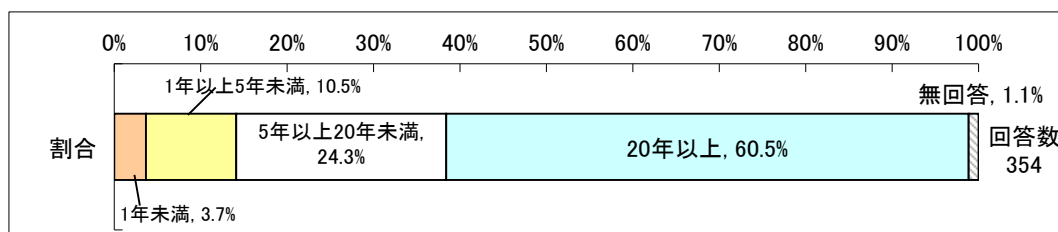
⑦ 居住地

回答者の居住地は、「中標津市街」が314名・88.7%で最も多く、次いで「中標津町農協区域」が23名・6.5%、「計根別農協区域」が8名・2.3%、「計根別市街」が3名・0.8%の順となっています。



⑧ 居住年数

回答者の居住歴は、「20年以上」が214名・60.5%で最も多く、次いで「5年以上20年未満」が86名・24.3%、「1年以上5年未満」が37名・10.5%、「1年未満」が13名・3.7%の順となっています。



Ⅱ まちづくり町民アンケート調査結果

1 愛着度・定住意向について

(1) まちへの愛着度について

問2 あなたは、中標津町に「自分のまち」としての愛着を感じていますか。

● “愛着を感じている”が80.0%、“愛着を感じていない”は18.7%。

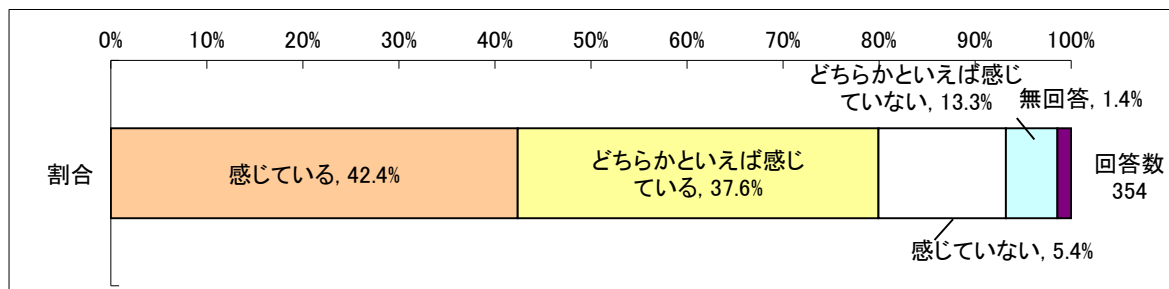
感じている 42.4% どちらかといえば感じている 37.6%	感じていない 5.4% どちらかといえば感じていない 13.3%
------------------------------------	-------------------------------------

町民のまちに対する愛着度を把握するため、愛着を「感じている」、「どちらかといえば感じている」、「どちらかといえば感じていない」、「感じていない」の中から1つを選んでもらいました。

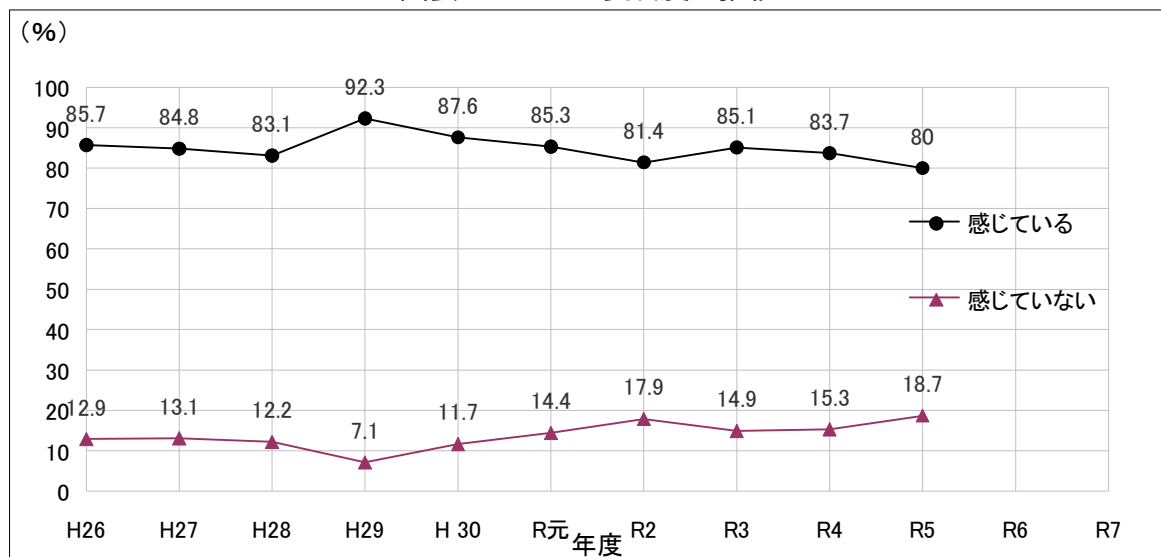
結果として「感じている」「どちらかといえば感じている」を合わせた“愛着を感じている”人は80.0%となり、総じてまちへの愛着度は高いと言えます。【図表1】

また、これまでの推移をみると“愛着を感じている”人の割合は高い水準で横ばいとなっており、継続して高い愛着度を維持していると言えます。【図表2】

図表1 まちへの愛着度について（全体）



図表2 まちへの愛着度の推移

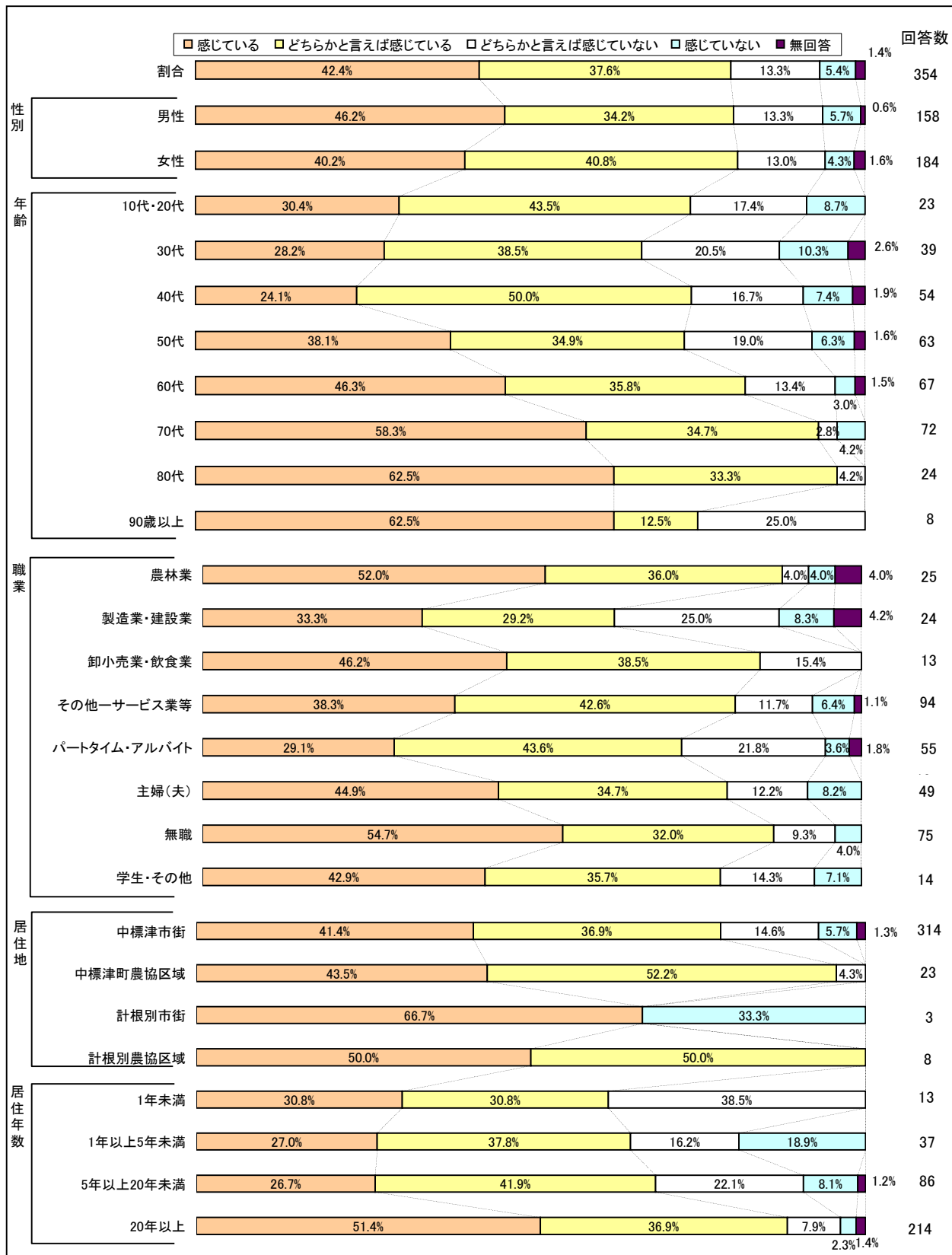


男女別の“愛着を感じている”割合は男性80.4%、女性81.0%とほぼ同数です。

年齢別では、80代が95.8%“愛着を感じている”となっていますが、一方で30代では66.7%と低くなっています。

また、居住年数別の割合は、居住年数が長くなるにしたがって徐々に割合が高くなり、居住年数20年以上では88.3%の町民が“愛着を感じている”と回答しています。【図表3】

図表3 まちへの愛着度について（全体、性別、年齢、職業、居住地、居住年数）



(2) 今後の定住意向について

問3 あなたは、今後も中標津町に住み続けたいと思いますか。

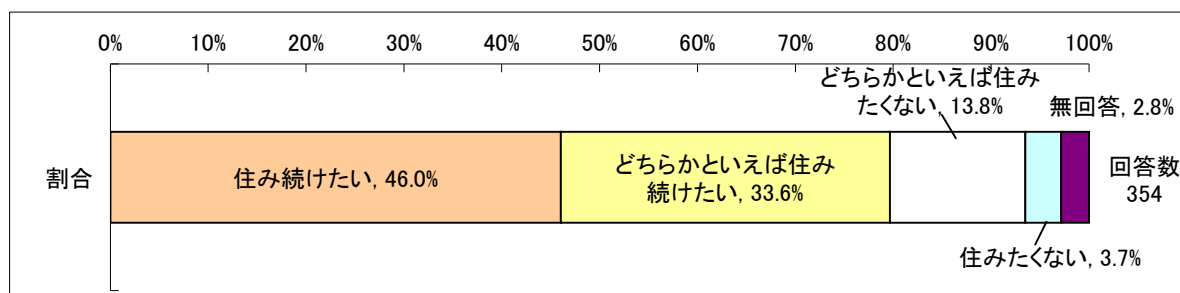
● “住み続けたい”が79.6%、“住みたくない”は17.5%。

住み続けたい 46.0%	住みたくない 3.7%
どちらかといえば住み続けたい 33.6%	どちらかといえば住みたくない 13.8%

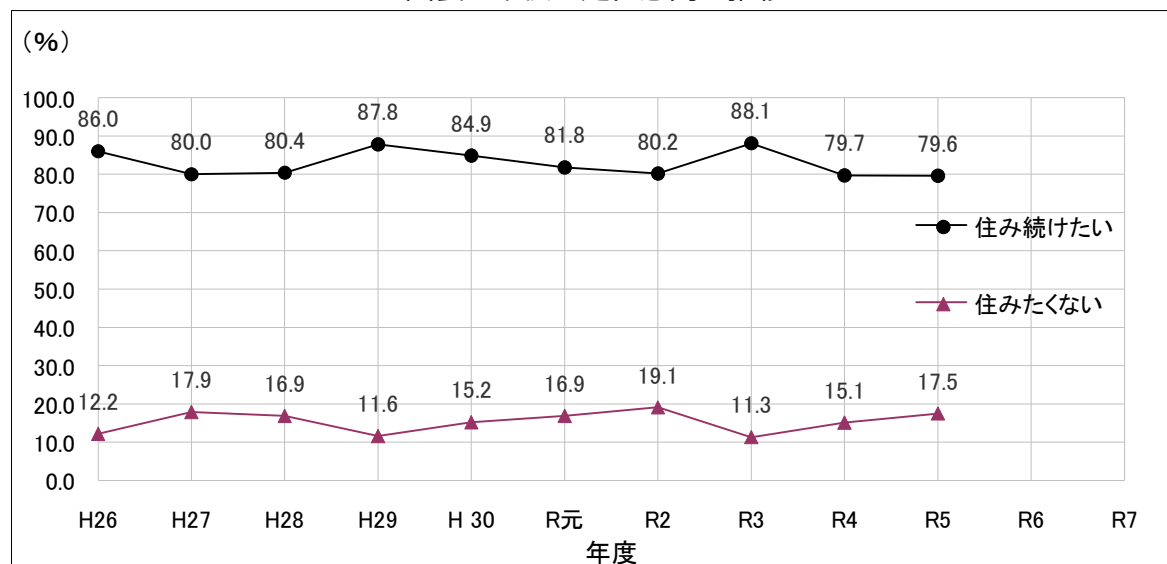
今後も町に住み続けたいかどうかをたずねたところ、「住み続けたい」と答えた人が163名・46.0%で最も多く、これに「どちらかといえば住み続けたい」（119名・33.6%）をあわせた282名・79.6%の人が“住み続けたい”という意向を示しています。

また、これまでの推移をみると“住み続けたい”人の割合は高い水準で横ばいとなっており、令和3年度は特に高い結果（88.1%）となっていました。【図表5】

図表4 今後の定住意向について（全体）



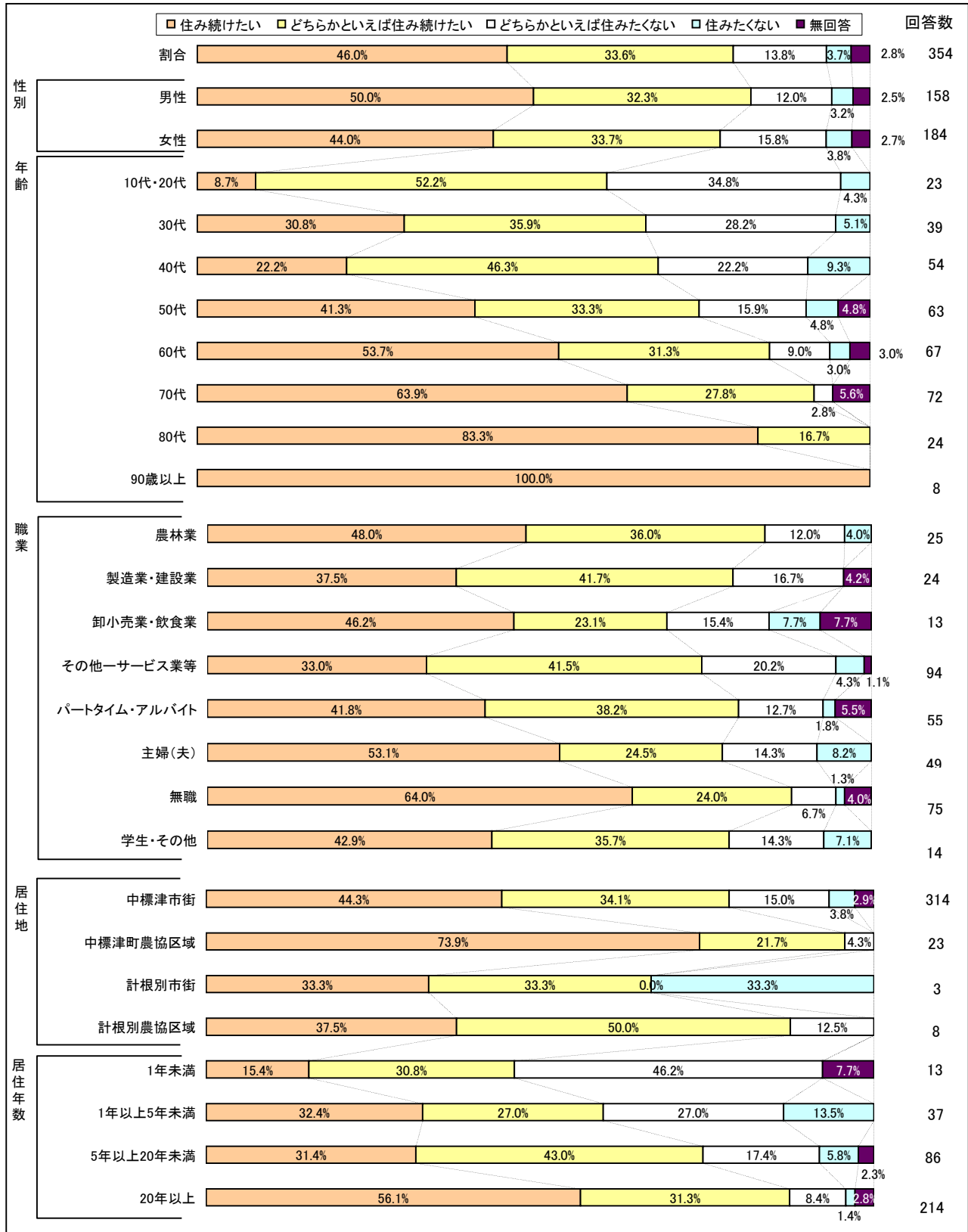
図表5 今後の定住意向の推移



男女別の“住み続けたい”割合は、男性が82.3%、女性が77.7%と男性の方が若干高い結果となりました。年齢別では、年齢が高くなるにしたがって徐々に割合が高くなる結果となりました。

また、居住年数別の割合は、居住年数が長くなるにしたがって徐々に割合が高くなり、居住年数20年以上では87.4%の町民が“住み続けたい”と回答しています。【図表6】

図表6 今後の定住意向について（全体、性別、年齢、職業、居住地、居住年数）



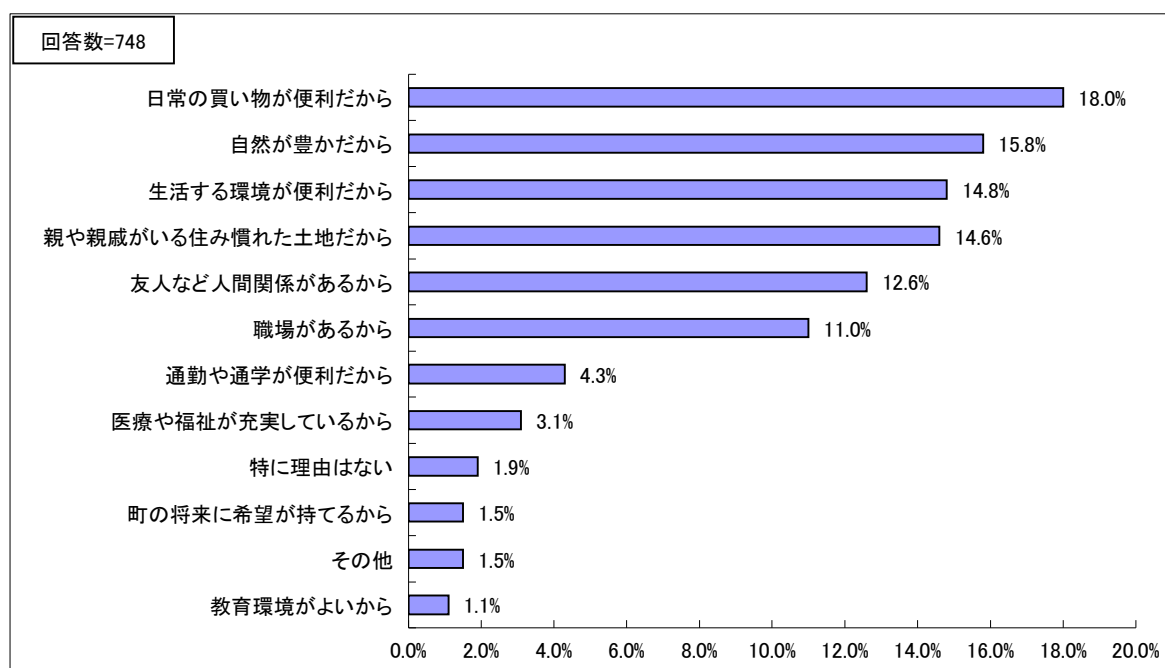
(3) 住み続けたい主な理由

問3-1 住み続けたい主な理由は何ですか。（問3で「住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」を選択した方のみ）【複数回答】

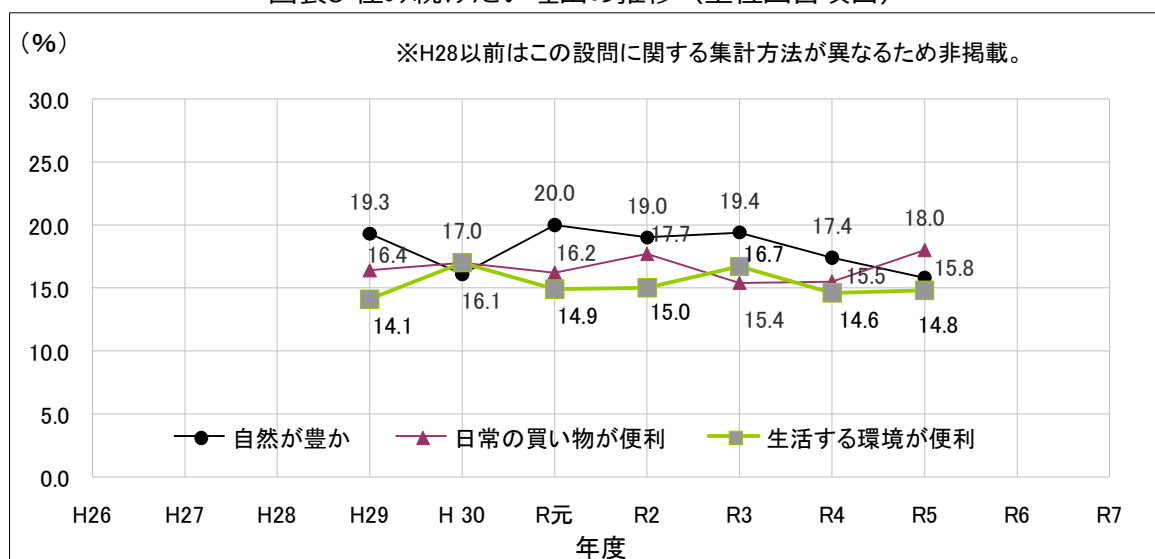
- 「日常の買い物が便利だから」が第1位。次いで「自然が豊かだから」、「生活する環境が便利だから」の順。

問3で“住み続けたい”と回答した人（全体の79.6%・282名）に理由をたずねたところ、図表7のとおりとなりました。【図表7】

図表7 住み続けたい主な理由（全体／複数回答）



図表8 住み続けたい理由の推移（上位回答項目）



(4) 住みたくない主な理由

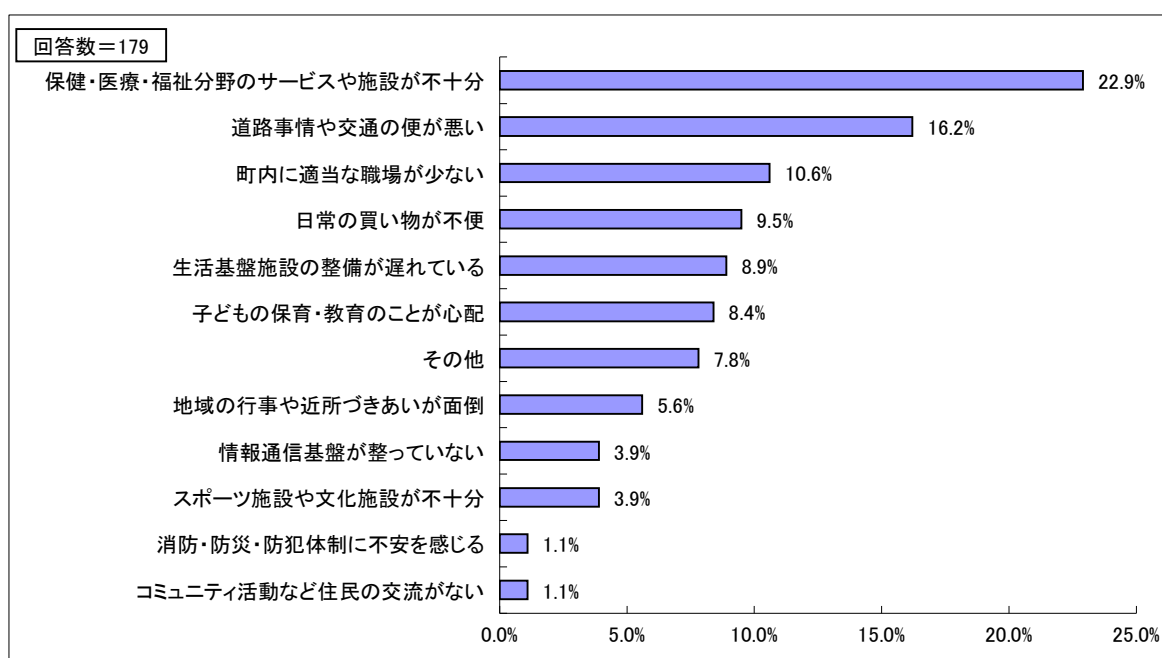
問3-2 住みたくない主な理由は何ですか。(問3で「住みたくない」「どちらかといえ
ば住みたくない」を選択した方のみ)【複数回答】

- 「保健・医療・福祉分野のサービスや施設が不十分」が第1位。次いで「道路事情や交通の便が悪い」、「町内に適当な職場が少ない」の順。

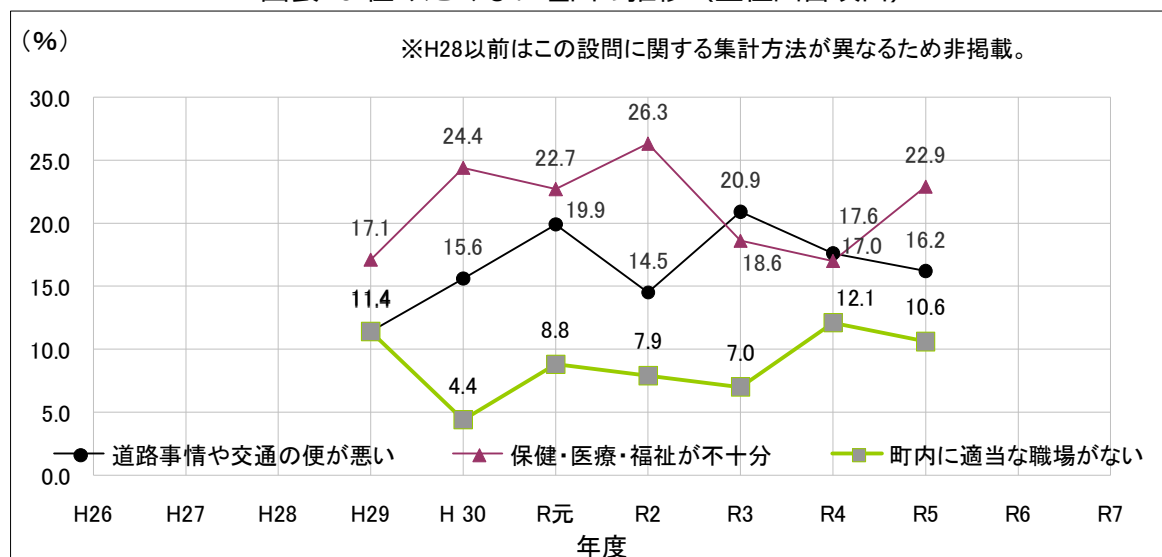
問3で“住みたくない”と回答した人(全体の17.5%・62名)に理由をたずねたところ、
図表9のとおりとなりました。【図表9】

また、上位項目のこれまでの推移をみると「道路事情や交通の便が悪い」「町内に適当な
職場がない」の割合が増加傾向にあります。

図表9 住みたくない主な理由(全体/複数回答)



図表10 住みたくない理由の推移(上位回答項目)



2 まちの取り組みについて

問4 まちの計画や取り組みに関心を持っていますか。

● “関心を持っている”が61.9%、“関心を持っていない”が28.2%。

関心を持っている 19.5%
 どちらかといえば関心を持っている 42.4%

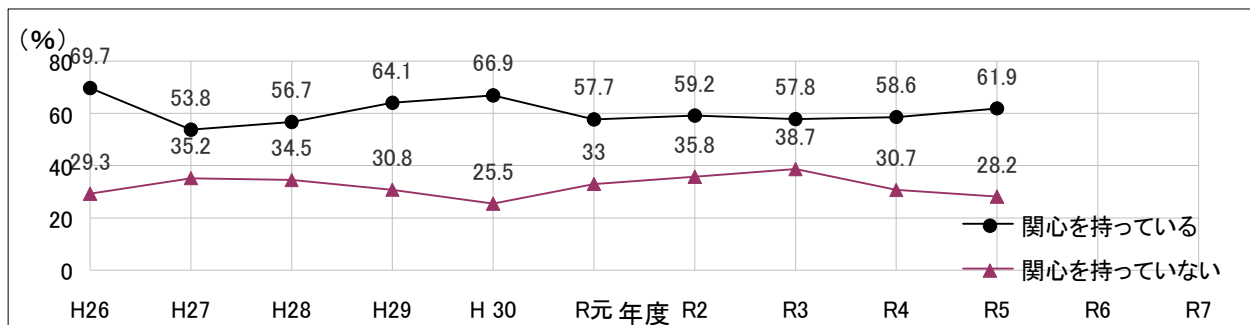
関心を持っていない 9.0%
 どちらかといえば関心を持っていない 19.2%

「どちらかといえば関心を持っている」と答えた人が42.4%で、これに「関心を持っている」(19.5%)を合わせた“関心を持っている”という人が61.9%となりました。

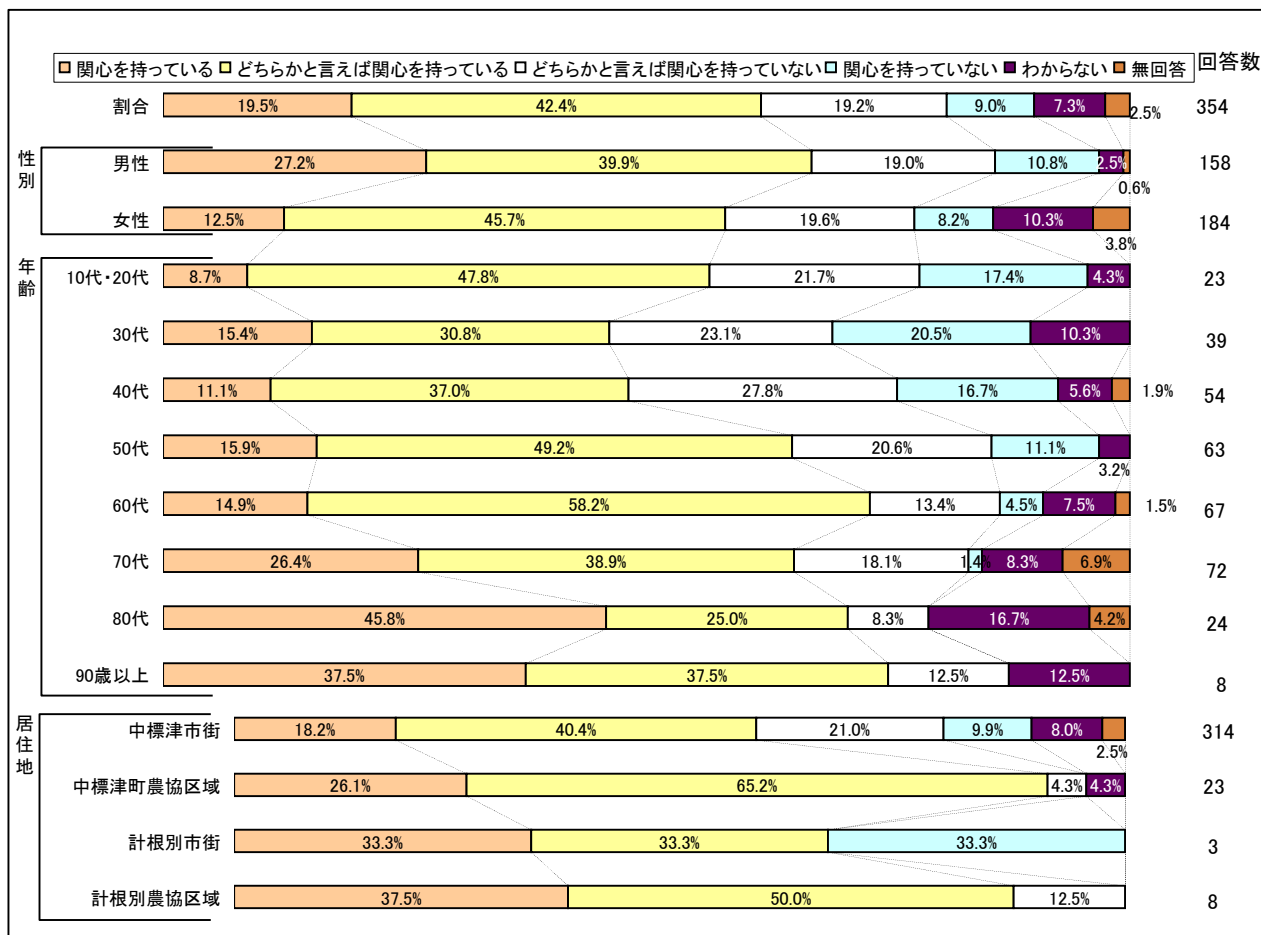
これまでの推移をみると概ね横ばいで推移していることが分かります。【図表11】

男女別では男性(67.1%)が女性(58.2%)よりも関心が高いことが伺えます。【図表12】

図表11 町の計画や取り組みへの関心度の推移



図表12 まちの計画や取り組みへの関心について（全体、性別、年齢、居住地）



問5 町の情報について、知りたい情報が得られていると感じますか。

● “そう感じる”が57.0%、“そう感じない”は30.8%。

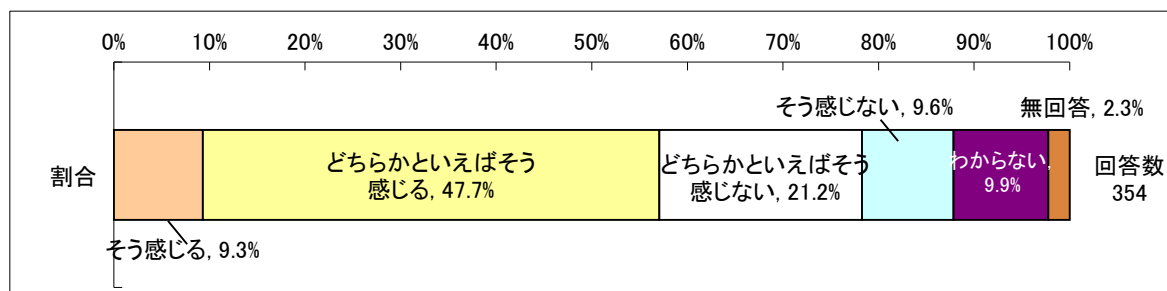
そう感じる 9.3% どちらかといえばそう感じる 47.7%	そう感じない 9.6% どちらかといえばそう感じない 21.2%
-----------------------------------	-------------------------------------

町の情報について知りたい情報が得られているかどうかについて「そう感じる」と答えた人が9.3%で、これに「どちらかといえばそう感じる」（47.7%）をあわせた“そう感じる”人は57.0%となりました。

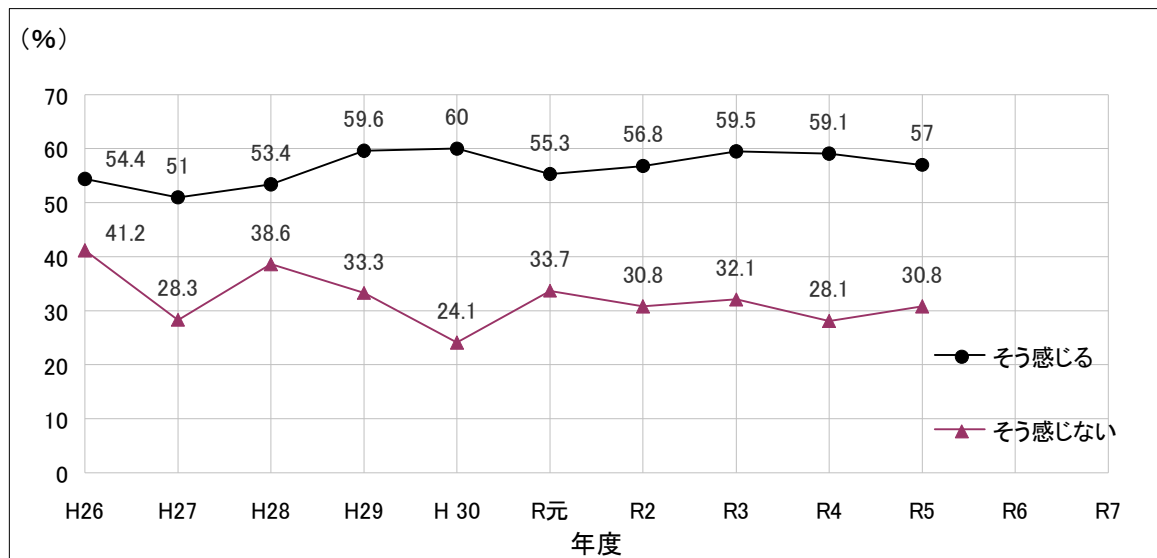
また、これまでの推移をみると“そう感じる”人の割合は概ね横ばいで推移しています。

【図表14】

図表13 知りたい情報が得られているか（全体）



図表14 知りたい情報が得られている町民割合の推移

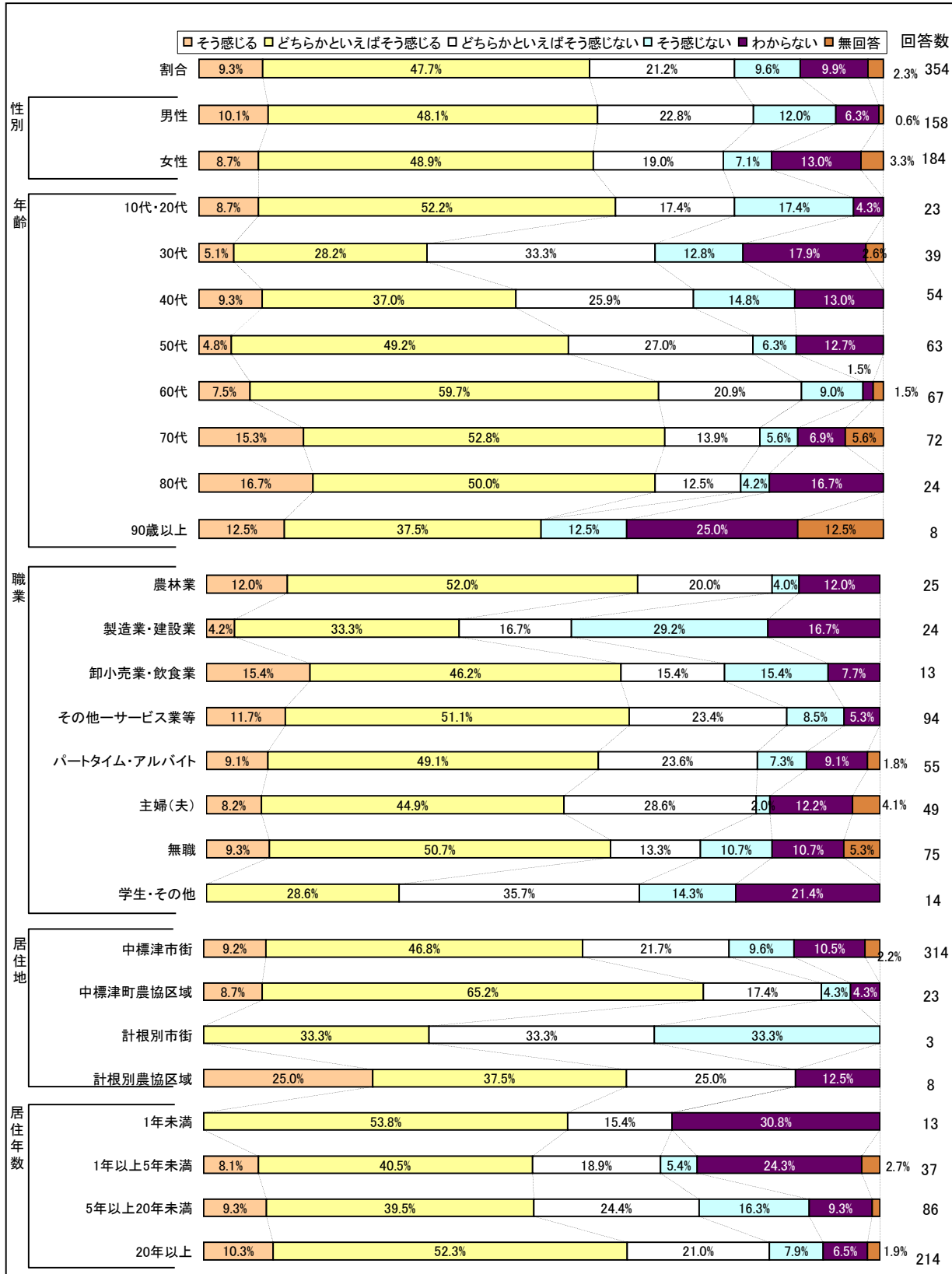


男女別の“そう感じる”割合は男性58.2%、女性57.6%とほぼ同数です。

年齢別では、60代～80代で“そう感じる”割合が比較的高い傾向にあり、一方で30代では33.3%と低くなっています。

また、居住地別では、中標津町農協区域及び計根別農協区域の方の“そう感じる”割合が高い結果となりました。【図表15】

図表15 知りたい情報が得られているか（全体、性別、年齢、職業、居住地、居住年数）

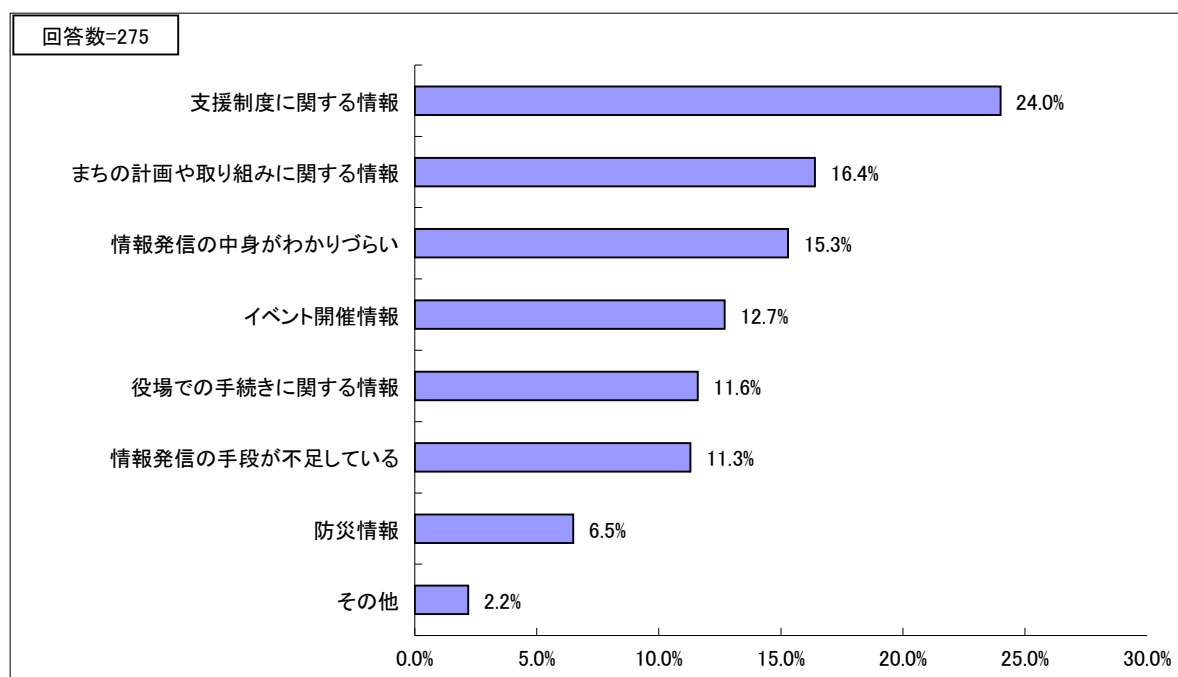


問5-1 特にどのような情報が不足していると感じますか（問5で「そう感じない」「どちらかといえばそう感じない」を選択した方のみ）【複数回答】

- 「支援制度に関する情報」が第1位。次いで「まちの計画や取り組みに関する情報」、「情報発信の中身がわかりづらい」の順。

問5で“そう感じない”と回答した人（30.8%・109名）に特にどのような情報が不足しているかたずねたところ「支援制度に関する情報」が最も高い結果となりました。【図表16】
年齢別では、10代～30代で「イベント開催情報」が高い結果となった他、「支援制度に関する情報」は全年代で高い結果となりました。【図表17】

図表16 特に不足している情報（全体／複数回答）



図表17 特に不足している情報（性別、年齢／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
性別	男性	支援制度に関する情報 20.6	まちの計画や取り組みに関する情報 17.6	情報発信の中身がわかりづらい 16.9
	女性	支援制度に関する情報 27.4	まちの計画や取り組みに関する情報 15.3	同率複数のため省略 -
年齢	10代・20代	イベント開催情報 27.3	支援制度に関する情報 22.7	情報発信の中身がわかりづらい 18.2
	30代	支援制度に関する情報 28.3	イベント開催情報 19.6	まちの計画や取り組みに関する情報 17.4
	40代	支援制度に関する情報 25.8	役場での手続きに関する情報 21.0	同率複数のため省略 -
	50代	支援制度に関する情報 22.4	まちの計画や取り組みに関する情報 20.7	同率複数のため省略 -
	60代	情報発信の中身がわかりづらい 20.8	まちの計画や取り組みに関する情報 18.8	支援制度に関する情報 (同率2位) 18.8
	70代	支援制度に関する情報 25.9	情報発信の中身がわかりづらい 14.8	情報発信の手段が不足している (同率2位) 14.8
	80代	まちの計画や取り組みに関する情報 37.5	支援制度に関する情報 25.0	情報発信の中身がわかりづらい (同率2位) 25.0
	90歳以上	役場での手続きに関する情報 100.0	回答なし -	回答なし -

問6 町民と行政が協力してまちづくりが進められていると感じますか。

● “そう感じる”が33.9%、“そう感じない”が40.1%。

そう感じる 4.5%	そう感じない 11.6%
どちらかといえばそう感じる 29.4%	どちらかといえばそう感じない 28.5%

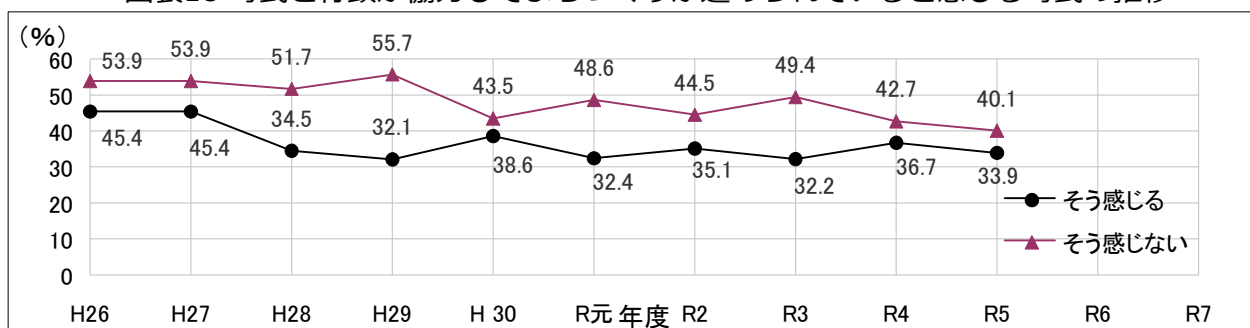
「そう感じる」（4.5%）と「どちらかといえばそう感じる」（29.4%）をあわせて“そう感じる”人は33.9%となりました。

近年の推移をみると、概ね横ばいで推移していることが分かります。【図表18】

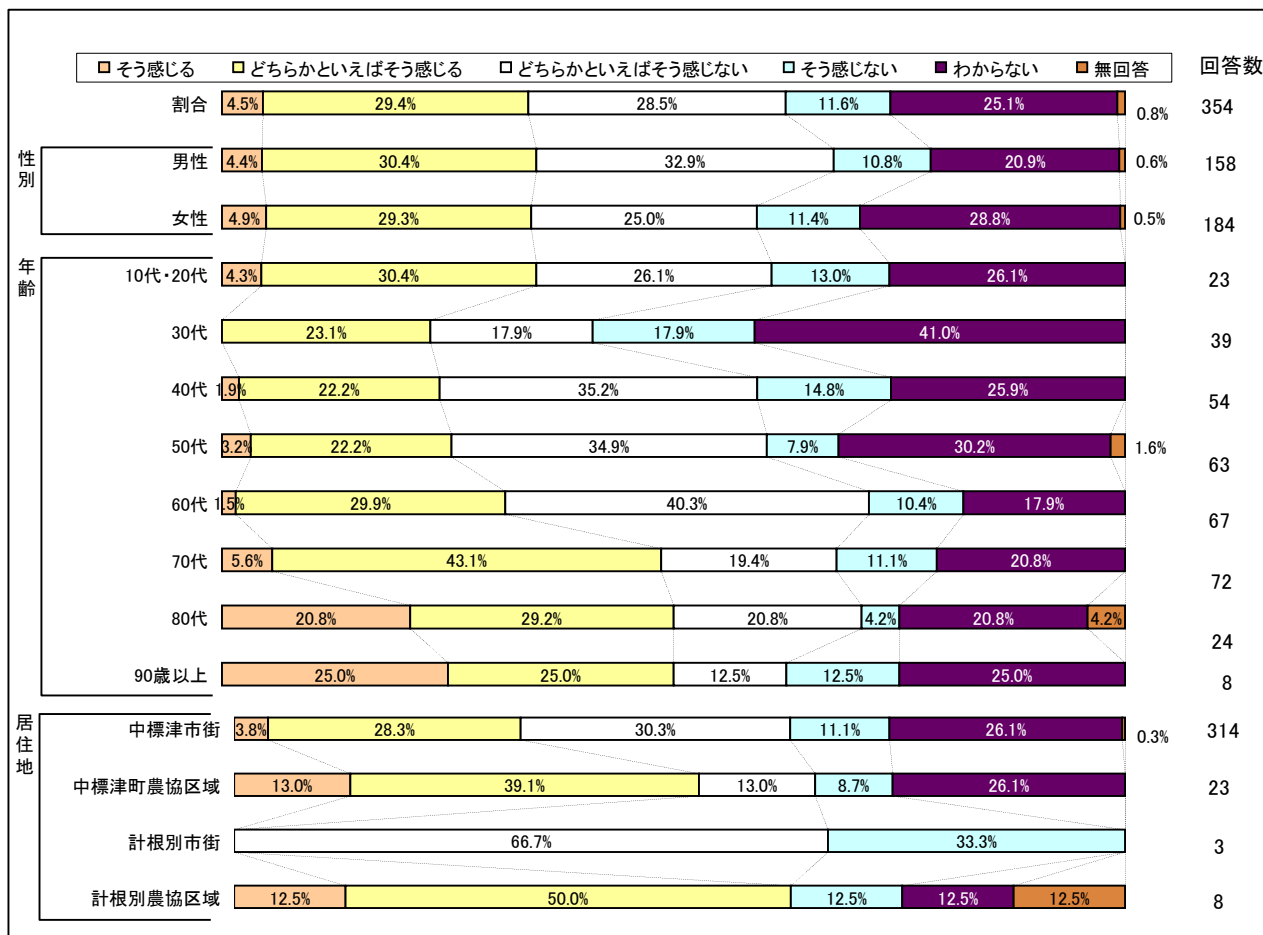
男女別では、男性（34.8%）と女性（34.2%）で“そう感じる”割合がほぼ同数となりました。

年齢別では、70代以上の年代で“そう感じる”割合が高い結果となりました。【図表19】

図表18 町民と行政が協力してまちづくりが進められていると感じる町民の推移



図表19 町民と行政が協力してまちづくりが進められているか（全体、性別、年齢、居住地）



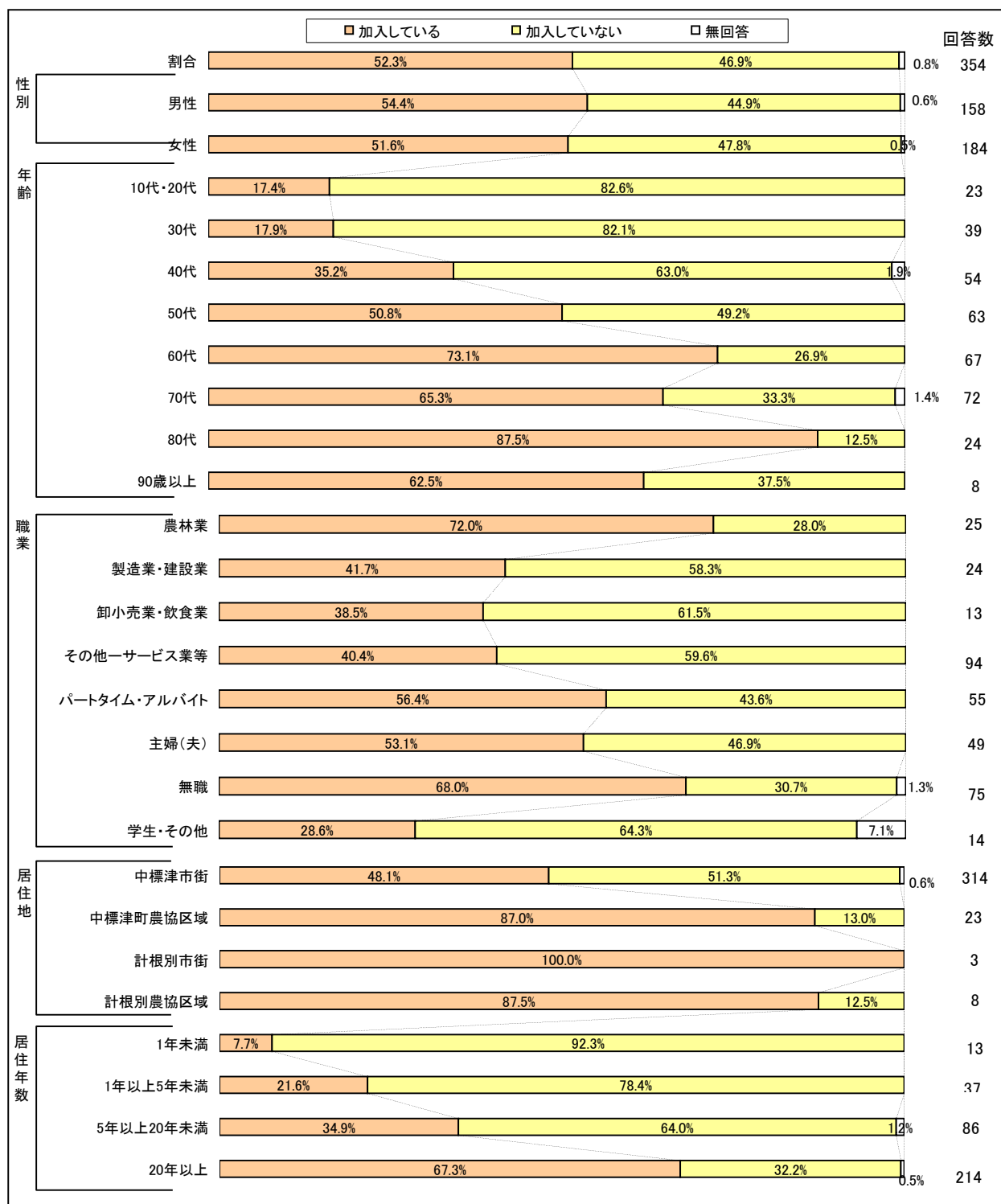
問7 あなたは町内会に加入していますか。

● “加入している”が52.3%、“加入していない”は46.9%。

町内会に“加入している”と回答した人は全体で52.3%、男性で54.4%、女性で51.6%と男性の方が若干高い結果となった他、年齢別では10代～30代で特に低く、60代以上で特に高い結果となりました。

また、居住年数別では居住年数5年未満の方が特に低い結果となりました。【図表20】

図表20 町内会に加入しているか（全体、性別、年齢、職業、居住地、居住年数）



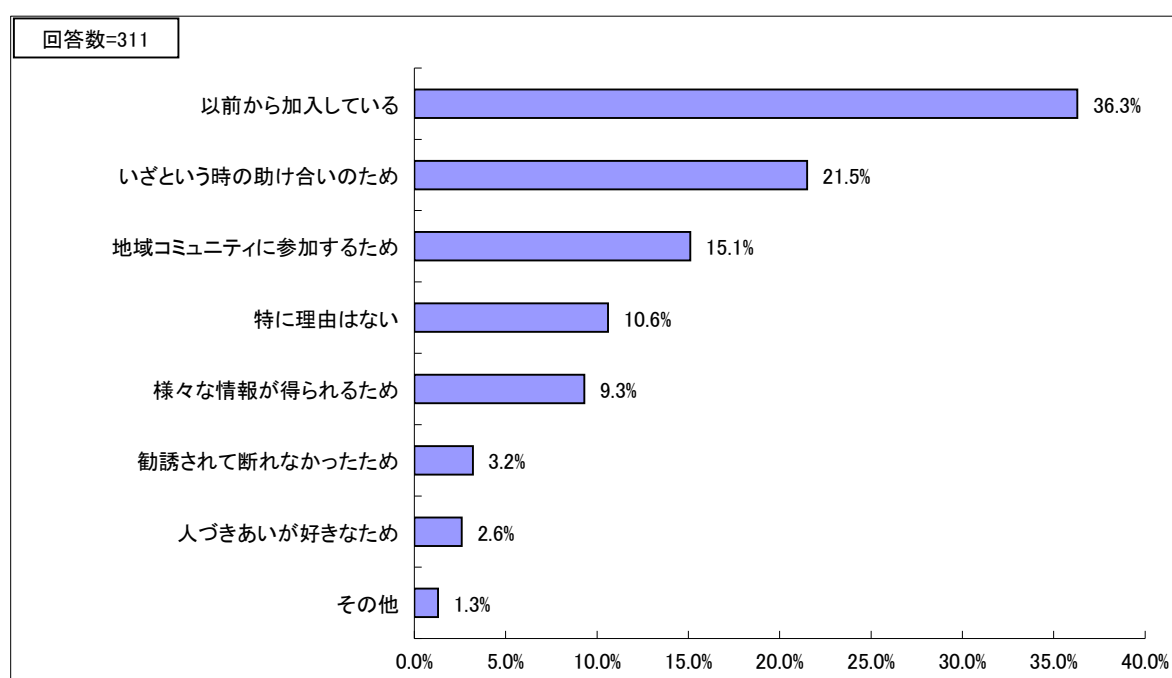
問7-1 町内会に加入している主な理由は何ですか。（問7で「加入している」を選択した方のみ）【複数回答】

- 「以前から加入している」が第1位。次いで「いざという時の助け合いのため」、
「地域コミュニティに参加するため」の順。

問7で“加入している”と回答した人（全体の52.3%・185名）に加入している主な理由をたずねたところ「以前から加入している」が最も高い結果となりました。【図表21】

次いで「いざという時の助け合いのため」が高く、特に50代以上の年代で高い結果となりました。【図表22】

図表21 町内会に加入している主な理由（全体／複数回答）



図表22 町内会に加入している主な理由（性別、年齢／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
性別	男性	以前から加入している 35.3	いざという時の助け合いのため 22.0	地域コミュニティに参加するため 16.0
	女性	以前から加入している 37.0	いざという時の助け合いのため 20.8	地域コミュニティに参加するため 13.6
年齢	10代・20代	同率複数のため省略 -	同率複数のため省略 -	同率複数のため省略 -
	30代	以前から加入している 37.5	地域コミュニティに参加するため 25.0	同率複数のため省略 -
	40代	地域コミュニティに参加するため 23.3	特に理由はない 20.0	同率複数のため省略 -
	50代	以前から加入している 35.4	いざという時の助け合いのため 20.8	地域コミュニティに参加するため 18.8
	60代	以前から加入している 40.7	いざという時の助け合いのため 25.6	地域コミュニティに参加するため 10.5
	70代	以前から加入している 39.0	いざという時の助け合いのため 20.7	地域コミュニティに参加するため 14.6
	80代	以前から加入している 35.6	いざという時の助け合いのため (同率2位) 17.8	地域コミュニティに参加するため (同率2位) 17.8
	90歳以上	以前から加入している 50.0	いざという時の助け合いのため 33.3	人づきあいが好きのため 16.7

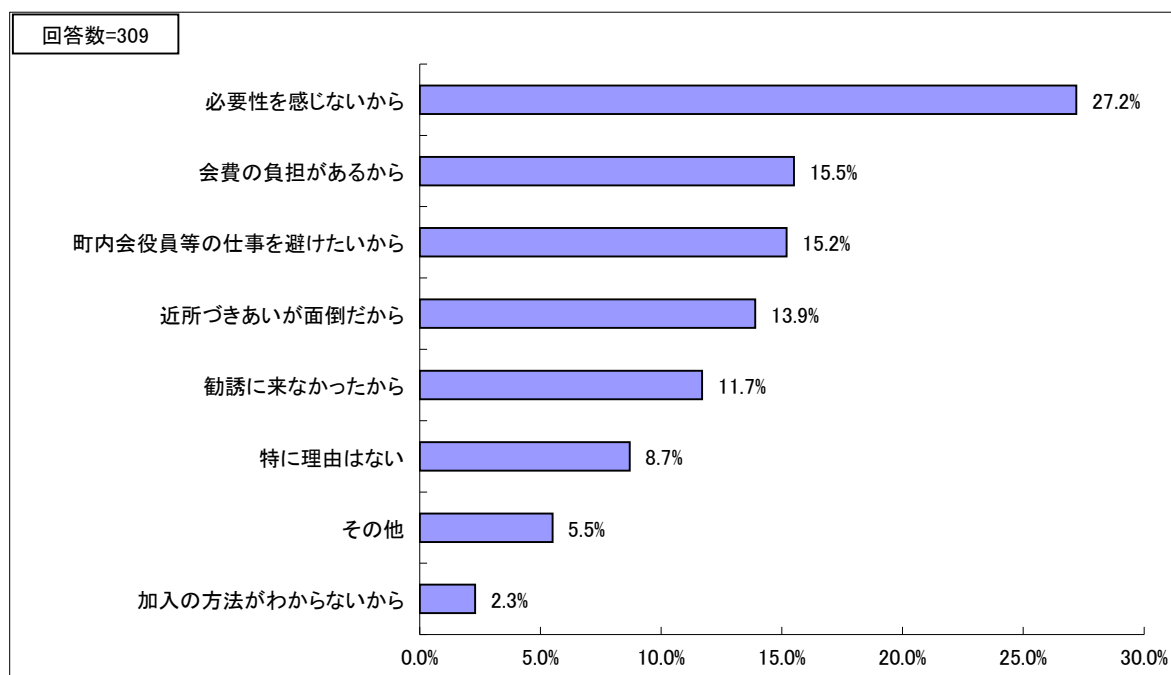
問7-2 町内会に加入していない主な理由は何ですか。（問7で「加入していない」を選択した方のみ）【複数回答】

- 「必要性を感じないから」が第1位。次いで「会費の負担があるから」、「町内会役員等の仕事を避けたいから」の順。

問7で“加入していない”と回答した人（全体の46.9%・166名）に加入していない主な理由をたずねたところ「必要性を感じないから」が最も高い結果となりました。【図表23】

「必要性を感じないから」は全ての年代で高い結果となった他、30代～50代では「町内会役員等の仕事を避けたいから」も比較的高い結果となりました。【図表24】

図表23 町内会に加入していない主な理由（全体／複数回答）



図表24 町内会に加入していない主な理由（性別、年齢／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
性別	男性	必要性を感じないから 30.2	同率複数のため省略	同率複数のため省略
	女性	必要性を感じないから 25.1	会費の負担があるから 15.8	町内会役員等の仕事を避けたいから (同率2位) 15.8
年齢	10代・20代	必要性を感じないから 28.6	近所づきあいが面倒だから 19.0	勧誘に来なかったから 14.3
	30代	必要性を感じないから 23.9	町内会役員等の仕事を避けたいから 17.9	勧誘に来なかったから 16.4
	40代	会費の負担があるから 22.2	町内会役員等の仕事を避けたいから 19.8	必要性を感じないから 18.5
	50代	必要性を感じないから 28.8	町内会役員等の仕事を避けたいから 15.4	同率複数のため省略
	60代	必要性を感じないから 34.8	特に理由はない 21.7	その他 13.0
	70代	必要性を感じないから 40.0	会費の負担があるから 14.3	同率複数のため省略
	80代	必要性を感じないから 50.0	会費の負担があるから 25.0	町内会役員等の仕事を避けたいから (同率2位) 25.0
	90歳以上	その他 66.7	必要性を感じないから 33.3	回答なし
				-

問8 国際交流、地域間交流（他の市町村との交流）が行われていると感じますか。

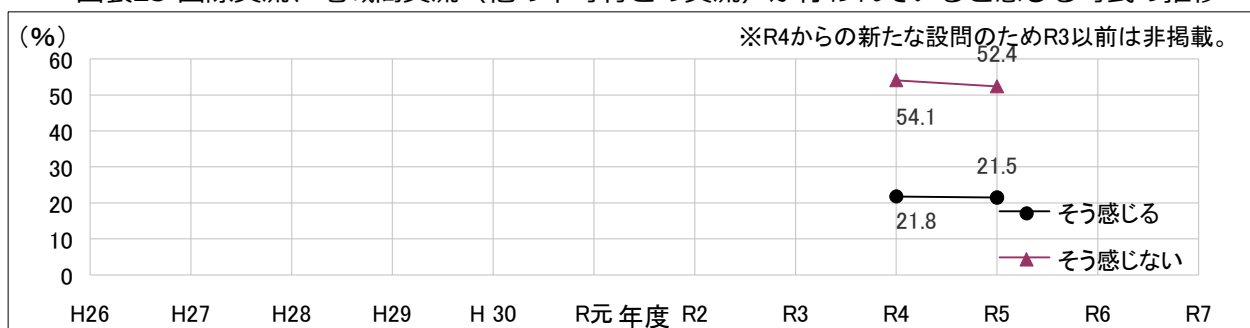
● “そう感じる”が21.5%、“そう感じない”が52.4%。

そう感じる 2.8% どちらかといえばそう感じる 18.7%	そう感じない 21.2% どちらかといえばそう感じない 31.2%
-----------------------------------	--------------------------------------

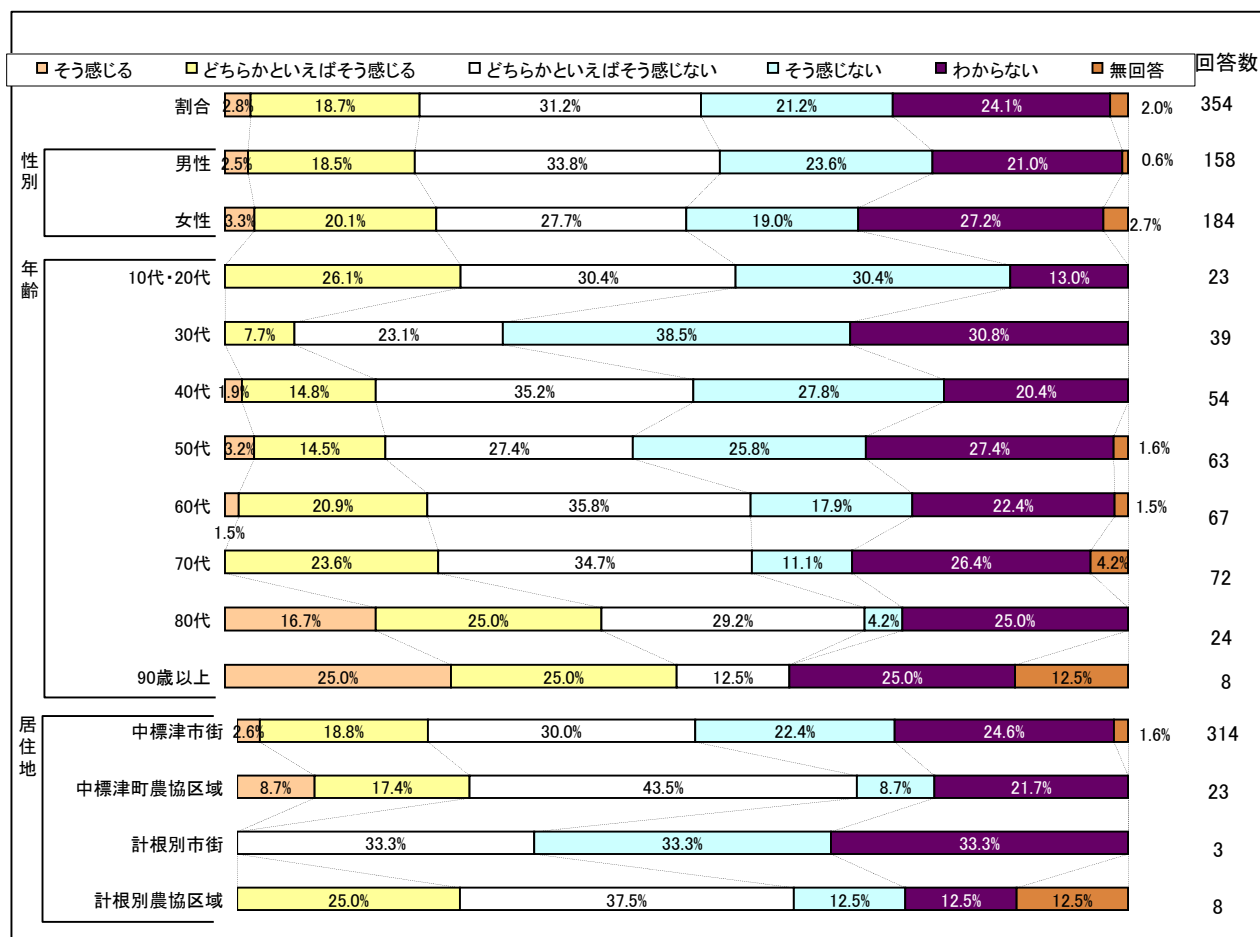
「そう感じる」（2.8%）と「どちらかといえばそう感じる」（18.7%）をあわせて“そう感じる”人は21.5%となり、「そう感じない」（21.2%）と「どちらかといえばそう感じない」（31.2%）をあわせた“そう感じない”人の52.4%よりも大幅に低い結果となりました。

男女別では、男性（21.0%）よりも女性（23.4%）の方が“そう感じる”割合が高く、年齢別では、10代・20代、80代以上で比較的高い結果となりました。【図表26】

図表25 国際交流、地域間交流（他の市町村との交流）が行われていると感じる町民の推移



図表26 国際交流、地域間交流（他の市町村との交流）が行われていると感じるか（全体、性別、年齢、居住地）



問9 北方領土問題を身近な問題として感じますか。

● “そう感じる”が55.7%、“そう感じない”が36.7%。

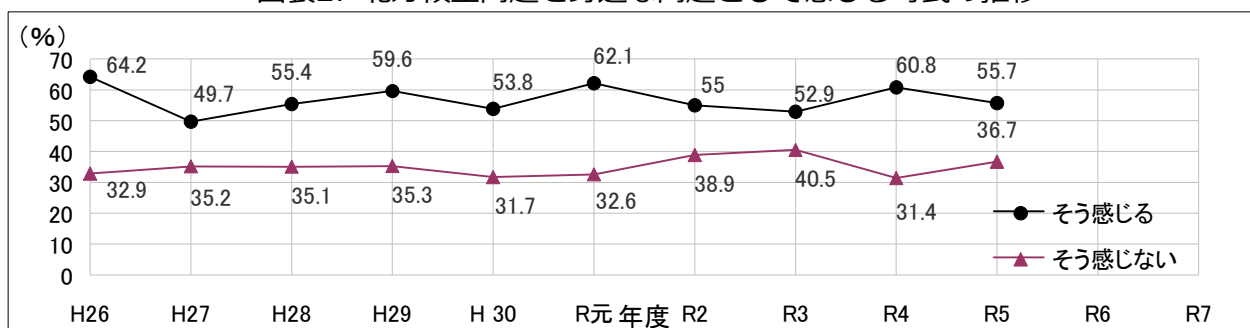
そう感じる 20.1% どちらかといえばそう感じる 35.6%	そう感じない 16.4% どちらかといえばそう感じない 20.3%
------------------------------------	--------------------------------------

「そう感じる」（20.1%）と「どちらかといえばそう感じる」（35.6%）をあわせて“そう感じる”人は55.7%となりました。

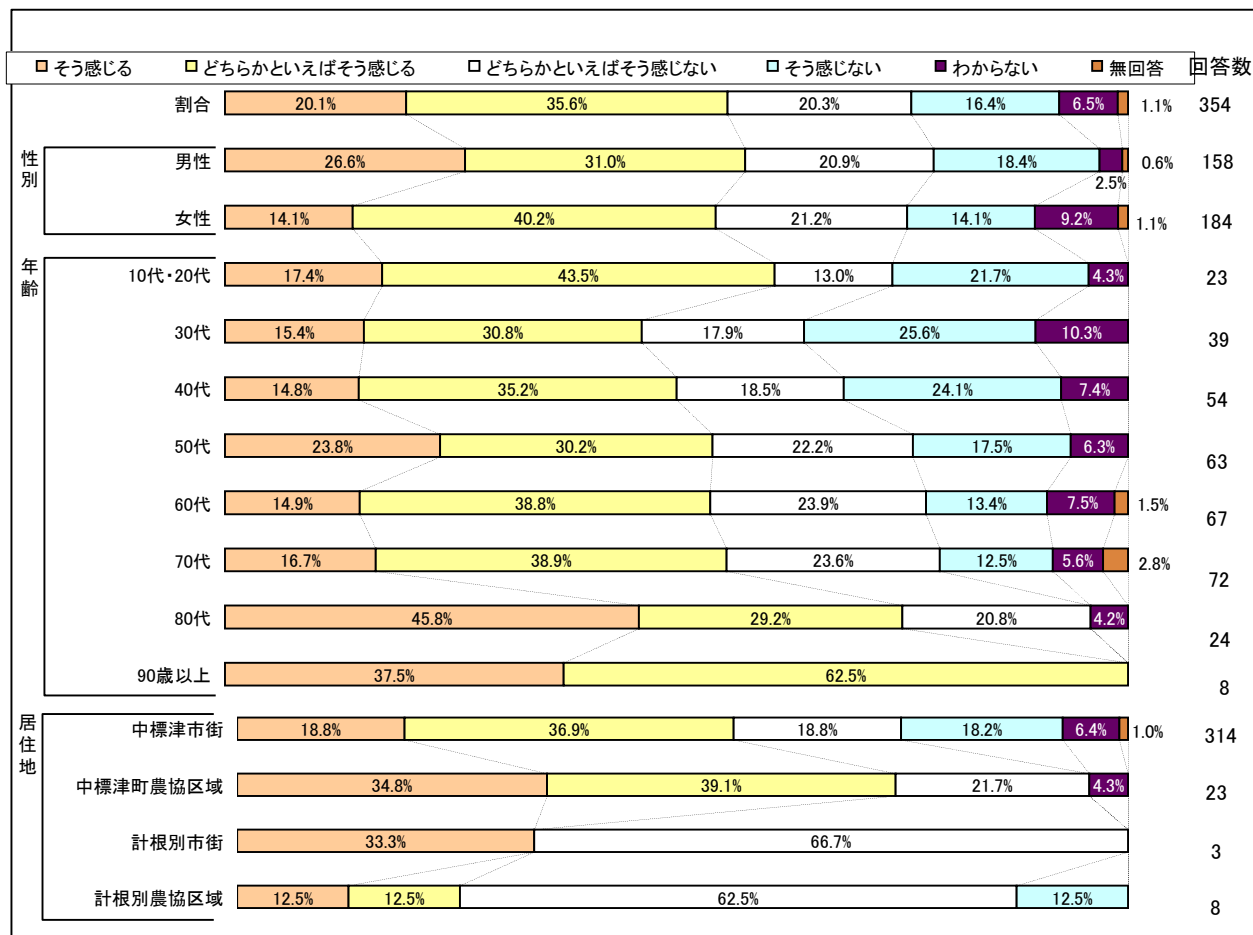
これまでの推移をみると概ね横ばいで推移していることが分かります。【図表27】

男女別では、男性（57.6%）が女性（54.3%）よりも“そう感じる”割合が高く、年齢別では10代・20代、80代以上で特に高い結果となりました。【図表28】

図表27 北方領土問題を身近な問題として感じる町民の推移



図表28 北方領土問題を身近な問題として感じるか（全体、性別、年齢、居住地）



問10 男女が対等な立場で、家庭、職場、地域など社会のあらゆる分野の活動に参画できていると感じますか。

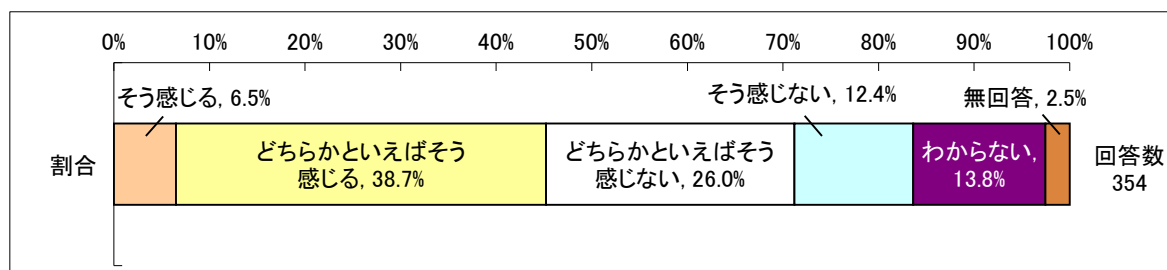
● “そう感じる”が45.2%、“そう感じない”は38.4%。

そう感じる 6.5% どちらかといえばそう感じる 38.7%	そう感じない 12.4% どちらかといえばそう感じない 26.0%
-----------------------------------	--------------------------------------

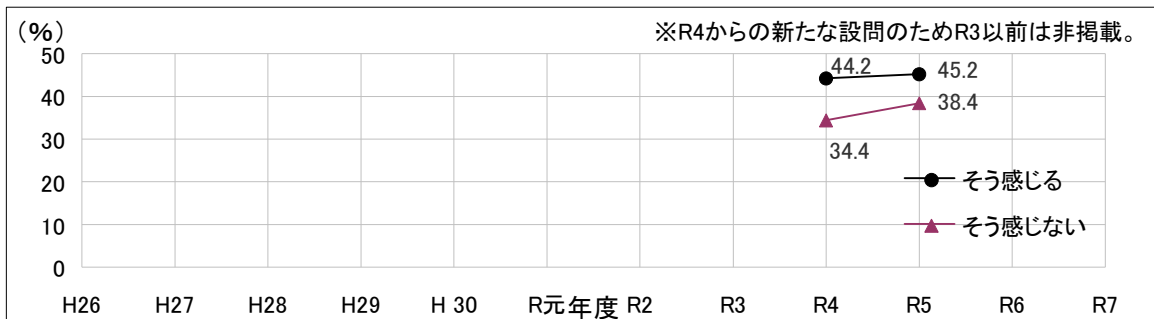
「そう感じる」（6.5%）と「どちらかといえばそう感じる」（38.7%）をあわせて“そう感じる”人は45.2%となり、「そう感じない」（12.4%）と「どちらかといえばそう感じない」（26.0%）をあわせた“そう感じない”人の38.4%よりも高い結果となりました。

また、「わからない」と回答した人が13.8%と比較的多い結果となりました。【図表29】

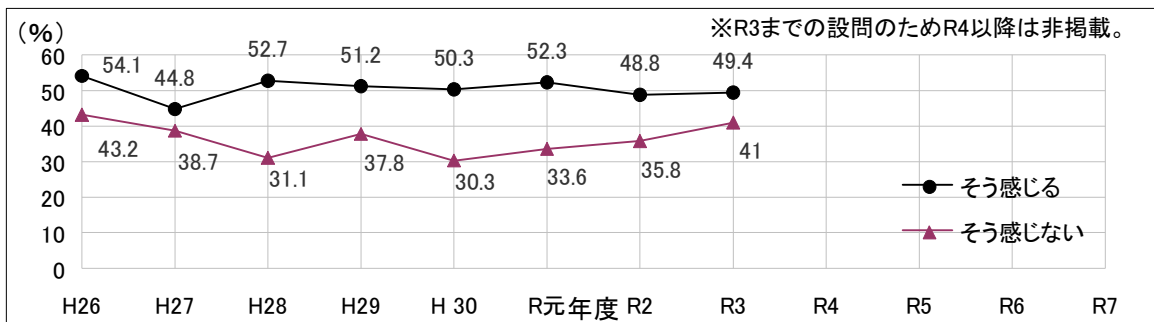
図表29 男女が対等な立場で、家庭、職場、地域など社会のあらゆる分野の活動に参画できていると感じるか（全体）



図表30 男女が対等な立場で、家庭、職場、地域など社会のあらゆる分野の活動に参画できていると感じる町民割合の推移



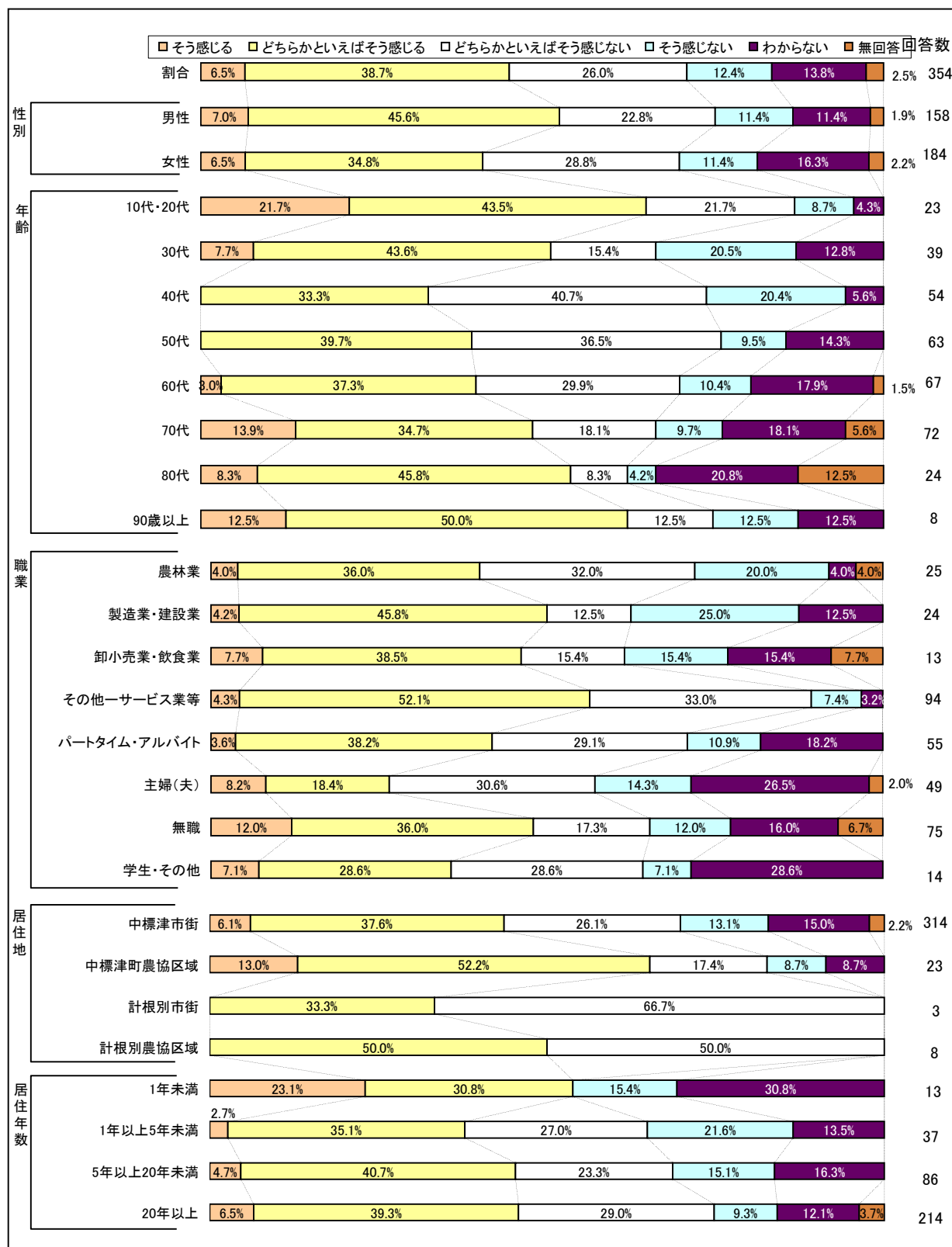
図表31 【参考】男女が平等に参加できる社会の仕組みになってきていると感じる町民割合の推移



男女別の“そう感じる”割合は男性52.6%、女性41.3%と男女で認識に差がある結果となりました。年齢別では、40代（33.3%）・50代（39.7%）・60代（40.3%）で比較的低い結果となりました。

職業別では、主婦（夫）（26.6%）が特に低い結果となっています。【図表32】

図表32 男女が対等な立場で、家庭、職場、地域など社会のあらゆる分野の活動に参画できていると感じるか（全体、性別、年齢、職業、居住地、居住年数）

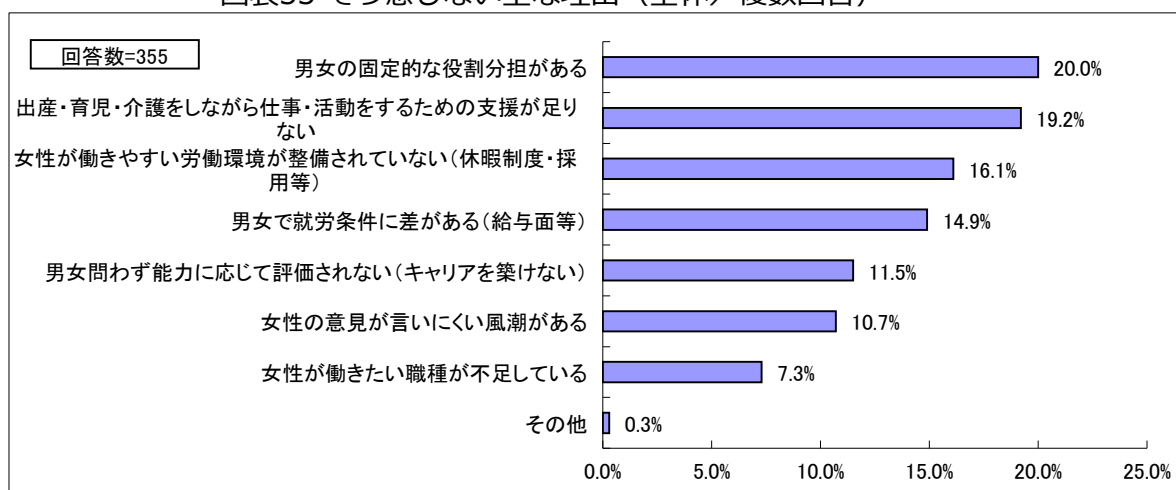


問10-1 そう感じない主な理由は何ですか。（問10で「そう感じない」「どちらかといえばそう感じない」を選択した方のみ）【複数回答】

- 「男女の固定的な役割分担がある」が第1位。次いで「出産・育児・介護をしながら仕事・活動をするための支援が足りない」の順。

問10で“そう感じない”と回答した人（全体の38.4%・136名）にそう感じない主な理由をたずねたところ「男女の固定的な役割分担がある」が最も高い結果となりました。【図表33】性別では、男女共に「男女の固定的な役割分担がある」が最も高い結果となりました。

図表33 そう感じない主な理由（全体／複数回答）



図表34 そう感じない主な理由（性別、年齢、職業／複数回答）（上位3位 %）

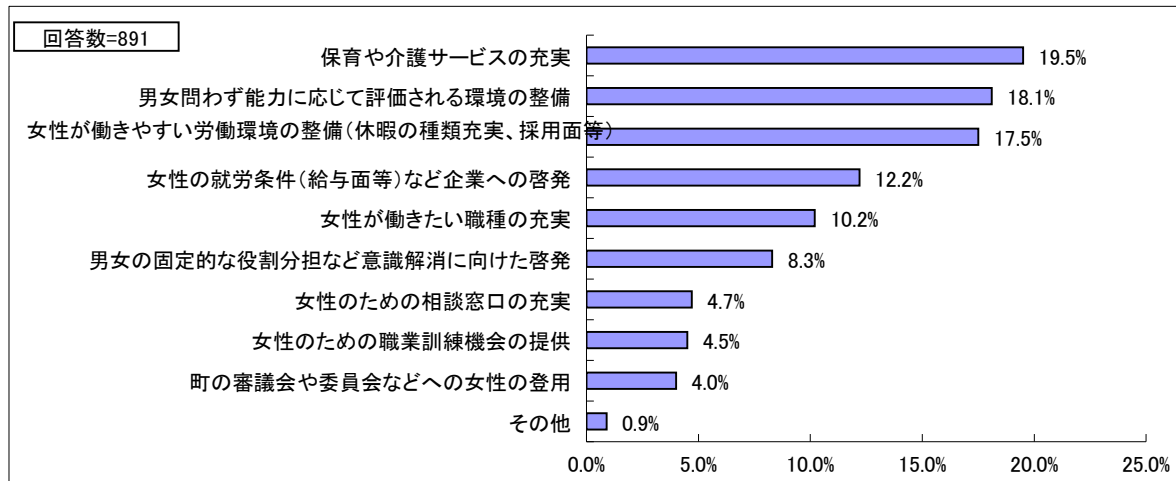
		第1位	第2位	第3位
性別	男性	男女の固定的な役割分担 20.4	出産・育児・介護しながら仕事をする支援 20.4	同率複数のため省略 -
	女性	男女の固定的な役割分担 20.2	出産・育児・介護しながら仕事をする支援 18.1	同率複数のため省略 -
年齢	10代・20代	出産・育児・介護しながら仕事をする支援 33.3	男女の固定的な役割分担 26.7	女性が働きやすい労働環境 13.3
	30代	男女の固定的な役割分担 21.6	女性が働きやすい労働環境 (同率1位) 21.6	出産・育児・介護しながら仕事をする支援 (同率1位) 21.6
	40代	男女の固定的な役割分担 19.2	女性が働きやすい労働環境 18.2	出産・育児・介護しながら仕事をする支援 18.2
	50代	出産・育児・介護しながら仕事をする支援 21.0	男女の固定的な役割分担 19.8	同率複数のため省略 -
	60代	男女の固定的な役割分担 26.4	女性の意見が言いにくい風潮がある 16.7	同率複数のため省略 -
	70代	男女で就労条件に差がある 21.6	出産・育児・介護しながら仕事をする支援 (同率1位) 21.6	女性の意見が言いにくい風潮がある 18.9
	80代	男女の固定的な役割分担 25.0	女性の意見が言いにくい風潮がある (同率1位) 25.0	同率複数のため省略 -
	90歳以上	(同率1位4件25.0%)「女性が働きたい職種が不足している」「男女で就労条件に差がある」「出産・育児・介護をしながら仕事をする支援」「女性の意見が言いにくい風潮がある」		
職業	農林業	男女の固定的な役割分担 23.7	男女問わず能力に応じて評価されない 15.8	出産・育児・介護しながら仕事をする支援 (同率2位) 15.8
	製造業・建設業	男女で就労条件に差がある 23.1	男女の固定的な役割分担 19.2	同率複数のため省略 -
	卸小売業・飲食業	男女で就労条件に差がある 28.6	出産・育児・介護しながら仕事をする支援 (同率1位) 28.6	同率複数のため省略 -
	その他-サービス業等	出産・育児・介護しながら仕事をする支援 21.2	男女の固定的な役割分担 19.2	女性が働きやすい労働環境 15.4
	パートタイム・アルバイト	男女の固定的な役割分担 20.7	女性が働きやすい労働環境 17.2	出産・育児・介護しながら仕事をする支援 (同率2位) 17.2
	主婦（夫）	男女の固定的な役割分担 23.3	女性が働きやすい労働環境 21.7	出産・育児・介護しながら仕事をする支援 15.0
	無職	出産・育児・介護しながら仕事をする支援 25.5	男女で就労条件に差がある 19.1	同率複数のため省略 -
	学生・その他	男女の固定的な役割分担 23.1	女性が働きやすい労働環境 (同率1位) 23.1	出産・育児・介護しながら仕事をする支援 (同率1位) 23.1

問11 男女が平等に参加できる社会を形成するために、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。【複数回答】

- 「保育や介護サービスの充実」が第1位。次いで「男女問わず能力に応じて評価される環境の整備」、「女性が働きやすい労働環境の整備」の順。

男女が平等に参加できる社会を形成するために必要な取り組みをたずねたところ、「保育や介護サービスの充実」「男女問わず能力に応じて評価される環境の整備」「女性が働きやすい労働環境整備」の3項目がほとんどの年代・職種で高い結果となりました。【図表35・36】

図表35 男女が平等に参加できる社会を形成するために必要な取り組み（全体／複数回答）



図表36 男女が平等に参加できる社会を形成するために必要な取り組み（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
性別	男性	男女問わず能力に応じて評価 21.1	保育や介護サービスの充実 19.8	女性が働きやすい労働環境整備 18.0
	女性	保育や介護サービスの充実 19.3	女性が働きやすい労働環境整備 17.8	男女問わず能力に応じて評価 15.4
年齢	10代・20代	女性が働きやすい労働環境整備 18.0	男女問わず能力に応じて評価 (同率1位) 18.0	同率複数のため省略 -
	30代	女性が働きやすい労働環境整備 23.4	保育や介護サービスの充実 20.6	女性が働きたい職種の充実 16.8
	40代	女性が働きやすい労働環境整備 18.9	保育や介護サービスの充実 15.3	同率複数のため省略 -
	50代	保育や介護サービスの充実 21.1	女性が働きやすい労働環境整備 18.1	男女問わず能力に応じて評価 15.8
	60代	男女問わず能力に応じて評価 21.3	保育や介護サービスの充実 20.1	女性が働きやすい労働環境整備 17.2
	70代	保育や介護サービスの充実 24.7	男女問わず能力に応じて評価 19.3	女性が働きやすい労働環境整備 14.7
	80代	男女問わず能力に応じて評価 34.0	同率複数のため省略 -	同率複数のため省略 -
	90歳以上	女性の就労条件など企業への啓発 25.0	保育や介護サービスの充実 (同率1位) 25.0	同率複数のため省略 -
職業	農林業	女性が働きやすい労働環境整備 20.3	男女問わず能力に応じて評価 16.2	保育や介護サービスの充実 (同率2位) 16.2
	製造業・建設業	女性の就労条件など企業への啓発 19.7	男女問わず能力に応じて評価 18.2	保育や介護サービスの充実 15.2
	卸小売業・飲食業	保育や介護サービスの充実 26.7	女性が働きたい職種の充実 23.3	同率複数のため省略 -
	その他・サービス業等	男女問わず能力に応じて評価 19.4	女性が働きやすい労働環境整備 19.1	保育や介護サービスの充実 16.9
	パートタイム・アルバイト	保育や介護サービスの充実 22.6	女性が働きやすい労働環境整備 19.0	男女問わず能力に応じて評価 15.3
	主婦（夫）	保育や介護サービスの充実 21.9	男女問わず能力に応じて評価 16.7	女性が働きやすい労働環境整備 15.8
	無職	保育や介護サービスの充実 21.6	男女問わず能力に応じて評価 20.3	女性が働きやすい労働環境整備 14.2
	学生・その他	女性が働きやすい労働環境整備 22.6	女性が働きたい職種の充実 19.4	保育や介護サービスの充実 (同率2位) 19.4

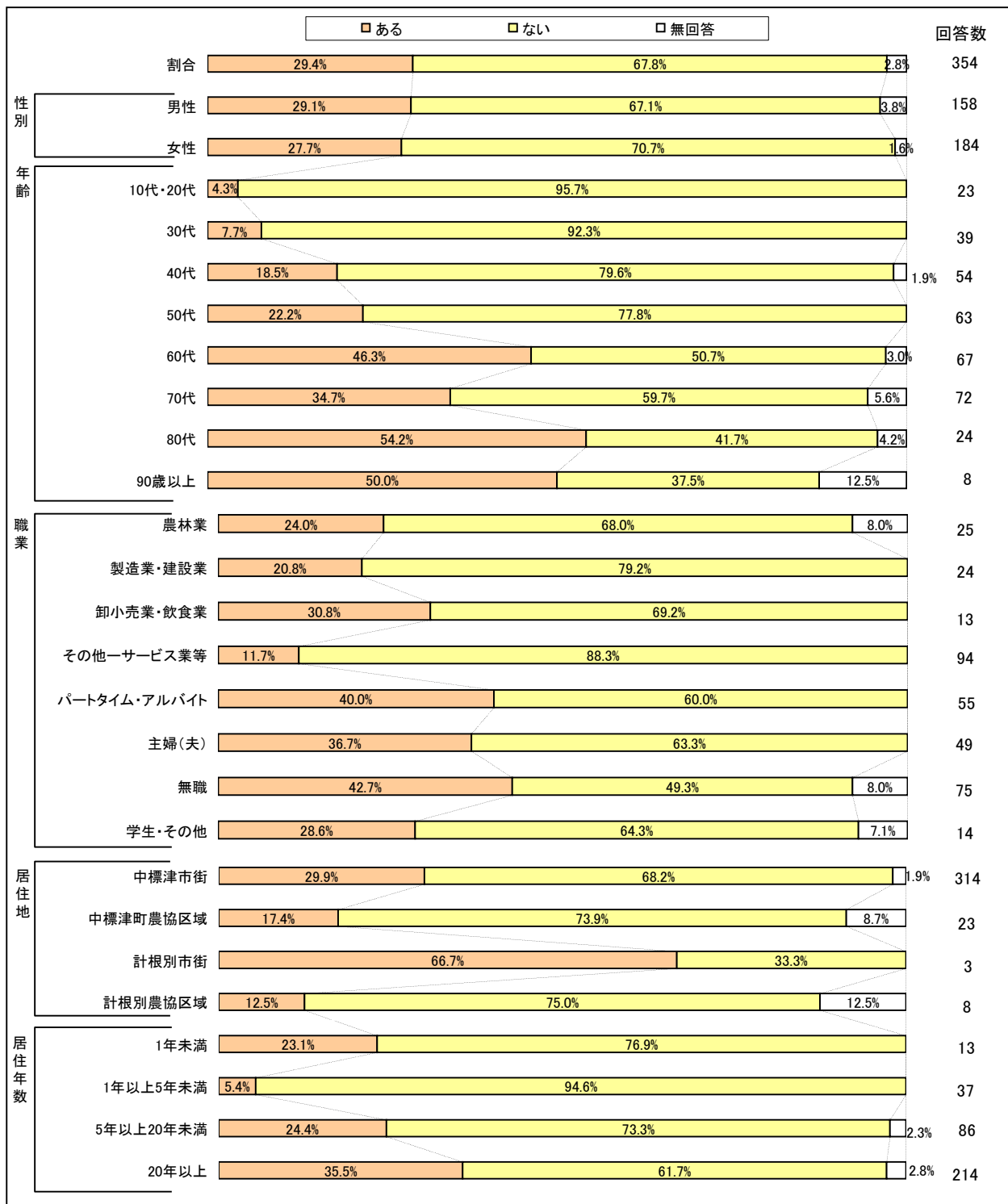
問12 情報通信機器（スマートフォンやパソコン等）を持っていない又は操作が苦手なため、町の情報が得られず困ったことや申請ができず困ったことがありますか。

● “ある”が29.4%、“ない”は67.8%。

“ある”と回答した人は全体で29.4%、“ない”と回答した人は全体で67.8%となりました。
年齢別では60代以降で“ある”人が3割以上となっており、80代では54.2%と最も高い結果となりました。

また、居住地別では計根別農協区域で12.5%と特に低い結果となりました。【図表37】

図表37 情報通信機器を持っていない又は操作が苦手で困ったことがあるか。（全体、性別、年齢、職業、居住地、居住年数）



問12-1 主に何からまちの情報を取得しますか。（問12で「ある」を選択した方のみ）
【複数回答】

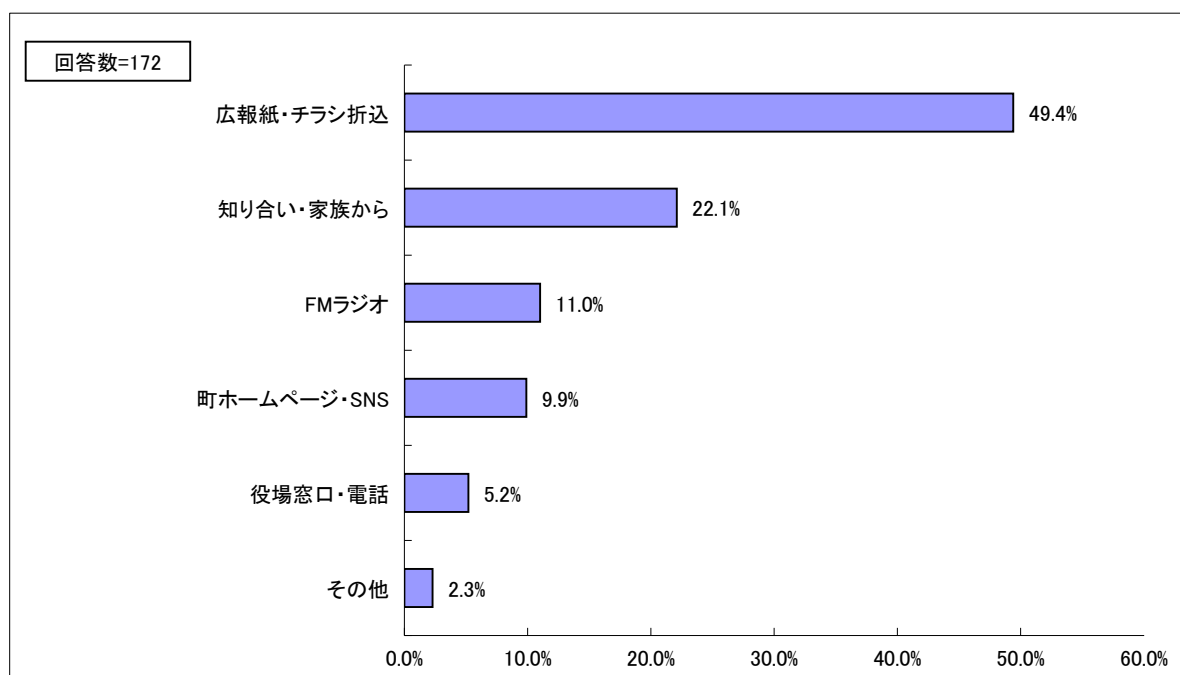
- 「広報紙・チラシ折込」が第1位。次いで「知り合い・家族から」、「FMラジオ」の順。

問12で“ある”と回答した人（全体の29.4%・104名）に主に何からまちの情報を取得しているかたずねたところ「広報紙・チラシ」が最も高く、次いで「知り合い・家族から」が高い結果となりました。【図表38】

年齢別では、ほとんどの年代で「広報紙・チラシ」が最も高い結果となりました。

【図表39】

図表38 主に何からまちの情報を取得しているか（全体／複数回答）



図表39 主に何からまちの情報を取得しているか（性別、年齢／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
性別	男性	広報紙・チラシ折込 53.5	知り合い・家族から 19.7	FMラジオ 12.7
	女性	広報紙・チラシ折込 47.2	知り合い・家族から 24.7	町ホームページ・SNS 11.0
年齢	10代・20代	FMラジオ 100.0	回答なし -	回答なし -
	30代	広報紙・チラシ折込 50.0	FMラジオ (同率1位) 50.0	回答なし -
	40代	広報紙・チラシ折込 47.4	知り合い・家族から 26.3	町ホームページ・SNS 21.1
	50代	広報紙・チラシ折込 50.0	FMラジオ 20.8	知り合い・家族から (同率2位) 20.8
	60代	広報紙・チラシ折込 53.1	知り合い・家族から 18.4	町ホームページ・SNS 10.2
	70代	広報紙・チラシ折込 50.0	知り合い・家族から 26.2	町ホームページ・SNS 9.5
	80代	広報紙・チラシ折込 43.5	FMラジオ 17.4	知り合い・家族から (同率2位) 17.4
	90歳以上	広報紙・チラシ折込 57.1	知り合い・家族から 28.6	FMラジオ 14.3

問13 地域や家庭で子どもが安心して育てられていると感じますか。

● “そう感じる”が60.7%、“そう感じない”が17.5%。

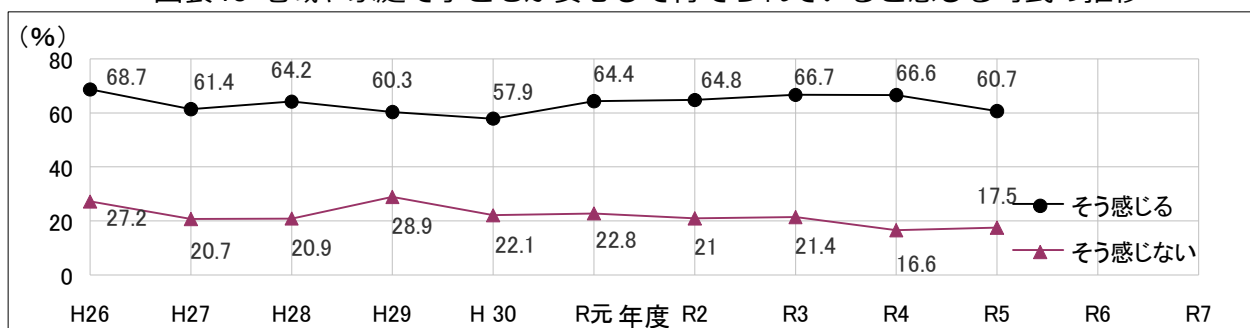
そう感じる 12.1% どちらかといえばそう感じる 48.6%	そう感じない 4.8% どちらかといえばそう感じない 12.7%
------------------------------------	-------------------------------------

「そう感じる」（12.1%）と「どちらかといえばそう感じる」（48.6%）をあわせて“そう感じる”人は60.7%となりました。

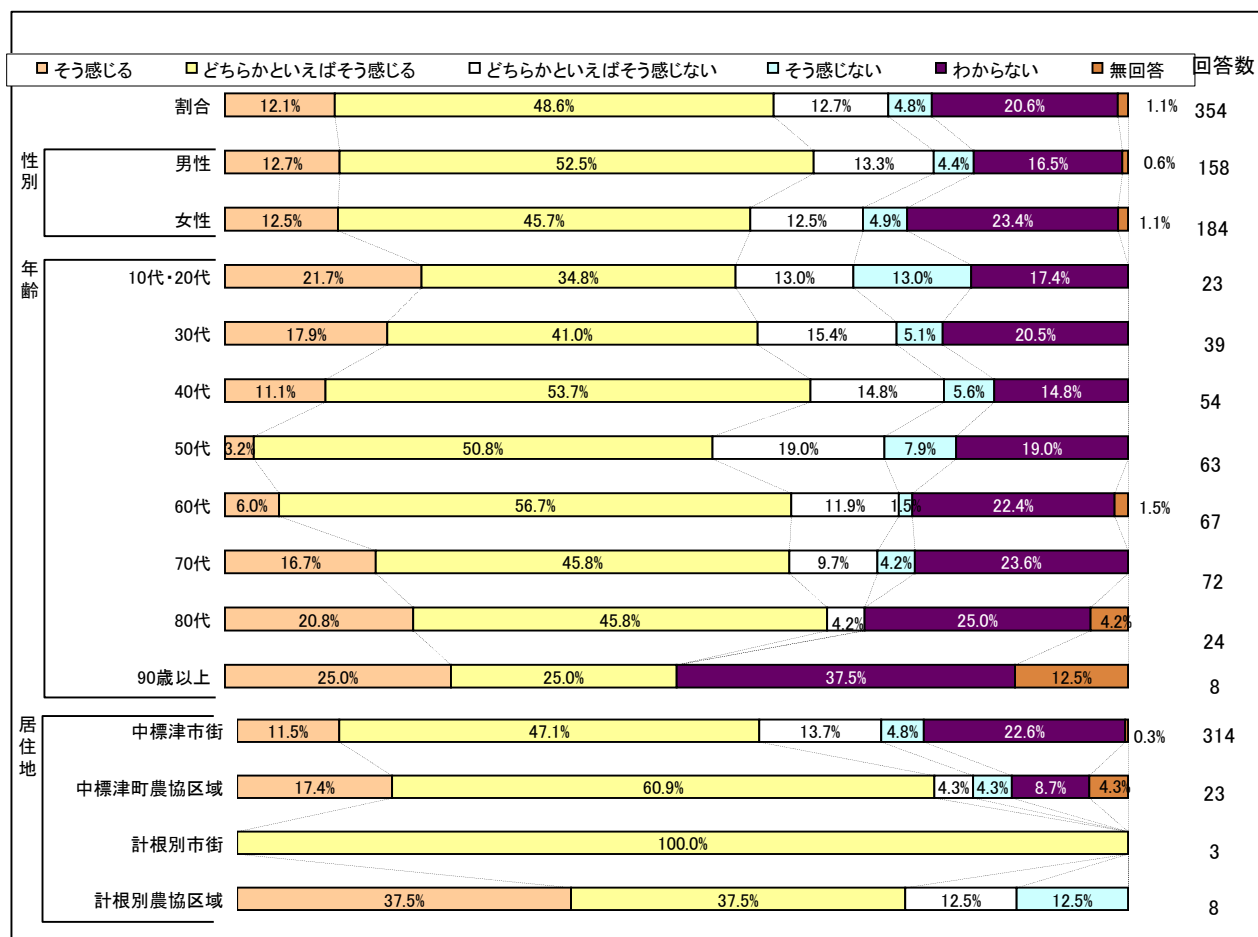
これまでの推移を見ると“そう感じない”人が若干の減少傾向にあります。【図表40】

年齢別では“そう感じる”人が50代（54.0%）、90歳以上（50.0%）で若干低く、居住地別では中標津市街（58.6%）が比較的低い結果となりました。【図表41】

図表40 地域や家庭で子どもが安心して育てられていると感じる市民の推移



図表41 地域や家庭で子どもが安心して育てられていると感じるか（全体、性別、年齢、居住地）



問14 高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らしていると感じますか。

● “そう感じる”が41.8%、“そう感じない”が36.8%。

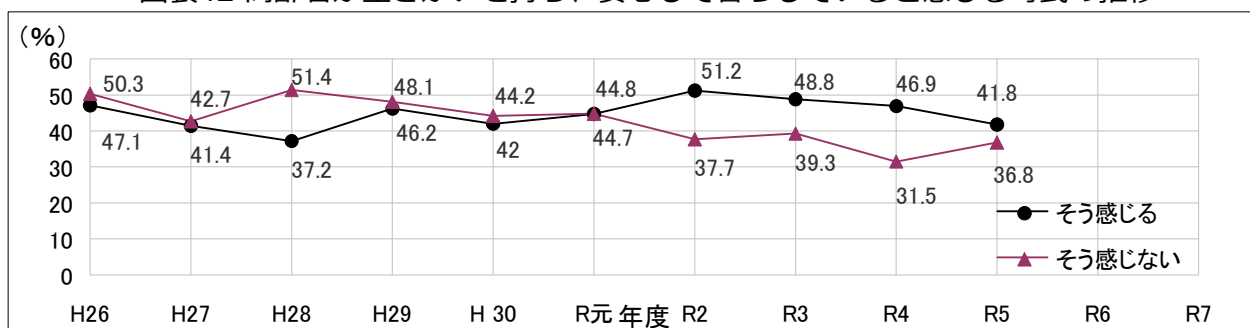
そう感じる 6.5% どちらかといえばそう感じる 35.3%	そう感じない 11.9% どちらかといえばそう感じない 24.9%
-----------------------------------	--------------------------------------

「そう感じる」（6.5%）と「どちらかといえばそう感じる」（35.3%）をあわせて“そう感じる”人は41.8%となりました。

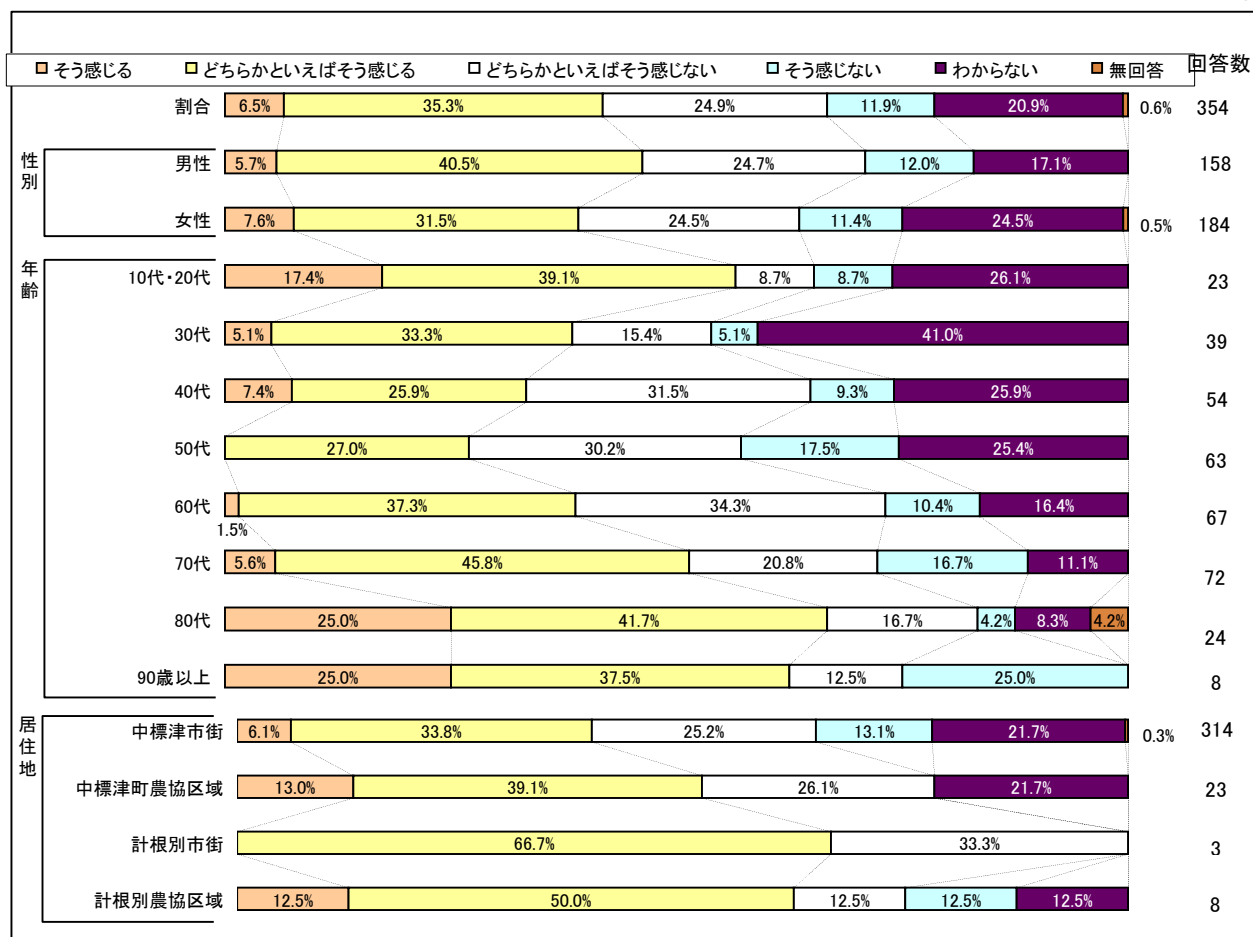
これまでの推移を見ると“そう感じない”人が減少傾向にあります。【図表42】

年齢別では30～60代で“そう感じる”人が比較的少なく、10・20代、70代以上で高い結果となりました。【図表43】

図表42 高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らしていると感じる市民の推移



図表43 高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らしていると感じるか（全体、性別、年齢、居住地）



問15 障がい福祉サービスが整っていると感じますか。



● “そう感じる”が33.3%、“そう感じない”が32.5%。

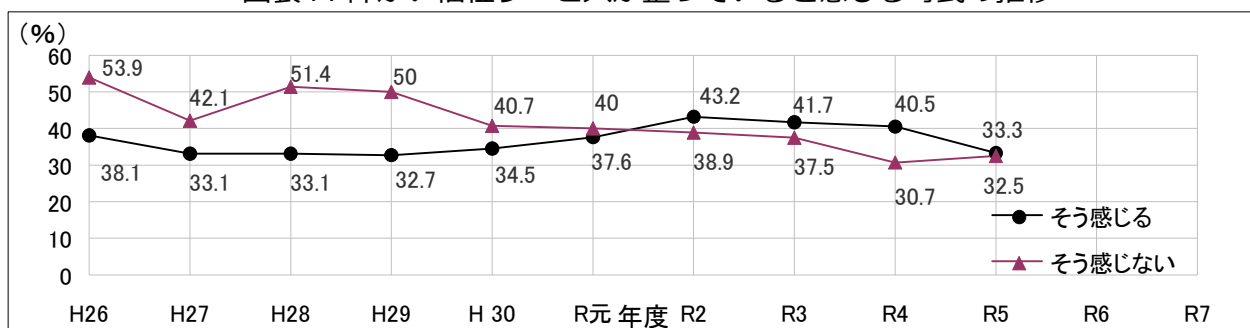
そう感じる 4.5% どちらかといえばそう感じる 28.8%	そう感じない 11.6% どちらかといえばそう感じない 20.9%
-----------------------------------	--------------------------------------

「そう感じる」（4.5%）と「どちらかといえばそう感じる」（28.8%）をあわせた“そう感じる”人は33.3%となりました。

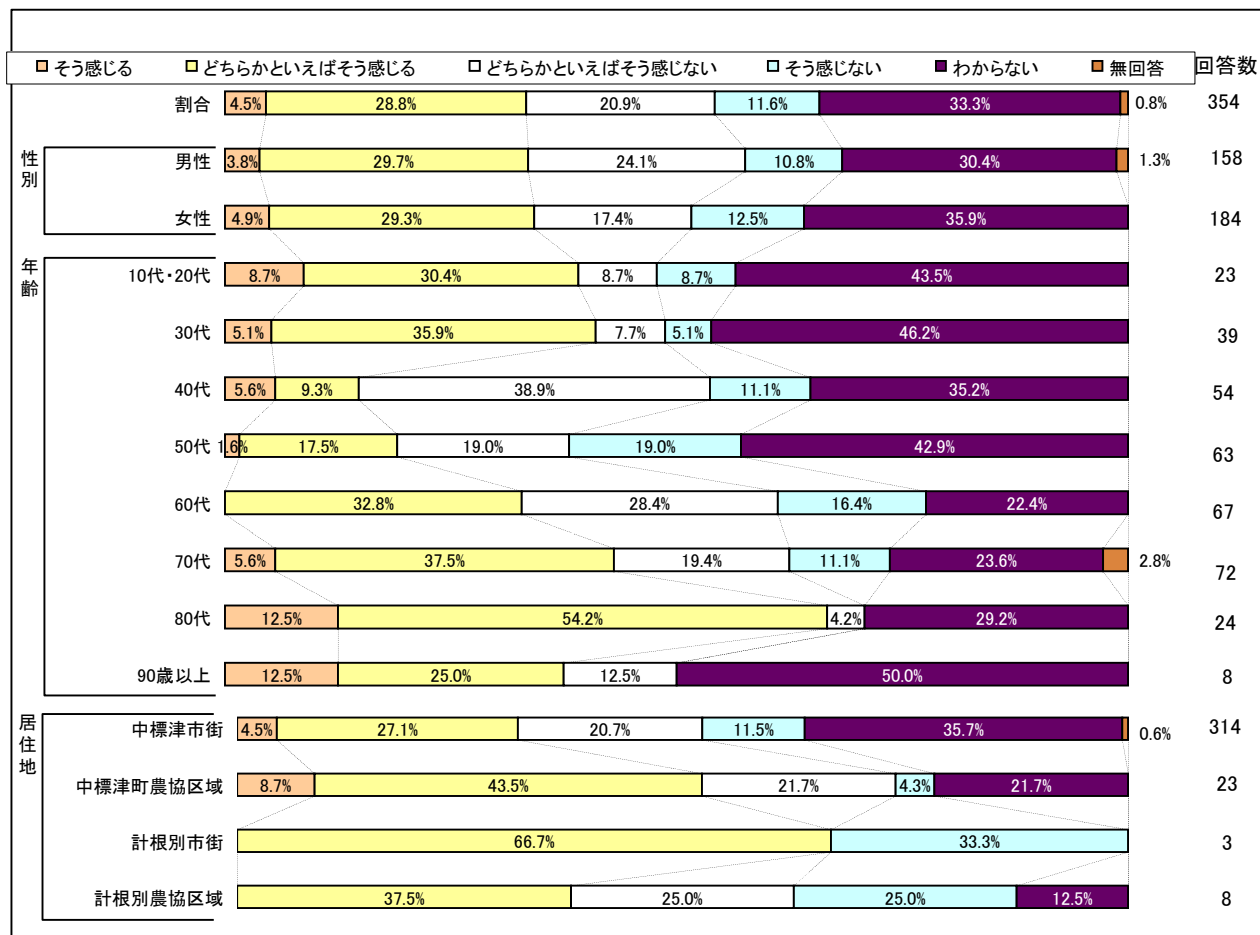
これまでの推移を見ると“そう感じない”人は減少傾向にあります。【図表44】

年齢別では、40～50代で低い結果となりました。一方で、80代では特に高い結果となりました。【図表45】

図表44 障がい福祉サービスが整っていると感じる町民の推移



図表45 障がい福祉サービスが整っていると感じるか（全体、性別、年齢、居住地）



問16 あなたの地域活動・ボランティア活動への参加状況と今後の参加意向についてお尋ねします。



- “参加している”が19.8%、“参加していない”が74.8%。
“参加したい”が40.1%、“参加したくない”が54.5%。

地域活動・ボランティア活動への参加状況と今後の意向について確認したところ次のとおりとなりました。

- | | |
|---------------------------|---------------------------------|
| ①現在参加しているし今後も参加したい 16.1% | ③現在参加しているが、今後は参加するつもりはない 3.7% |
| ②現在参加していないが今後は参加したい 24.0% | ④現在参加していないし、今後も参加するつもりはない 50.8% |

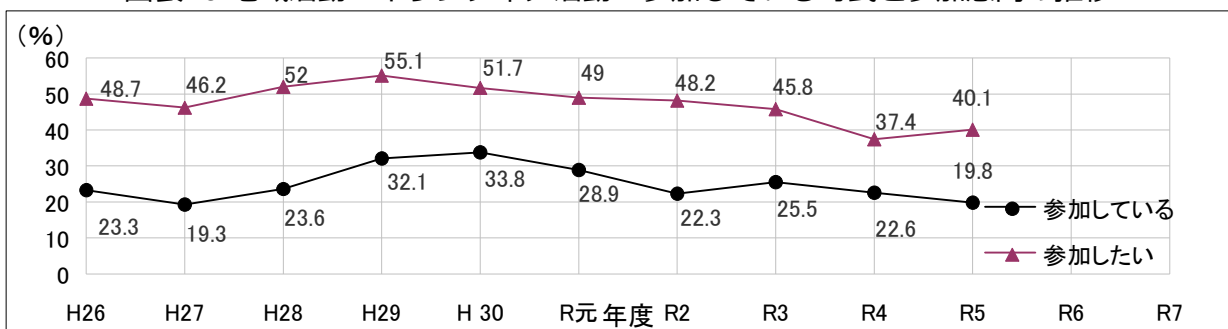
現在“参加している”人は①と③を合わせた19.8%、“参加していない”人は②と④を合わせた74.8%となり、今後“参加したい”人は①と②をあわせた40.1%、“参加したくない”人は③と④をあわせた54.5%となります。

これまでの推移を見ると“参加したい”人が減少傾向である他、“参加している”人はH29～R元年度をピークにそれ以前の水準まで減少していることがわかります。【図表46】

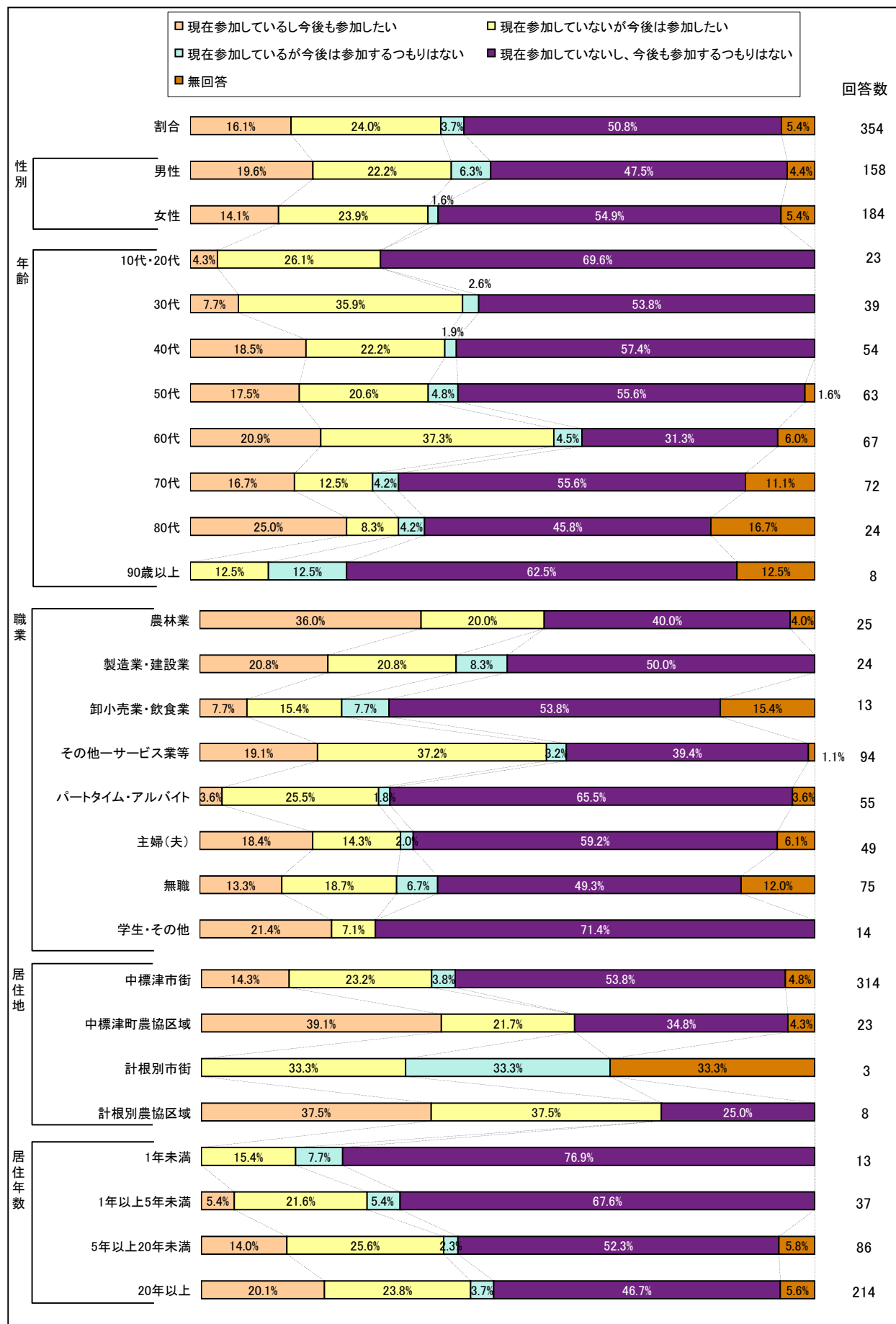
①について見ると、性別では男性（19.6%）の方が女性（14.1%）よりも高く、年齢別では10～30代が特に低い結果となっているほか、居住地別では、中標津町農協区域及び計根別農協区域が特に高い結果となりました。

居住年数別では、居住年数が長くなるに連れて割合が高くなる傾向が伺えます。

図表46 地域活動・ボランティア活動へ参加している町民と参加意向の推移



図表47 地域活動・ボランティア活動への参加状況と今後の意向（全体、性別、年齢、職業、居住地、居住年数）



問16-1 あなたは、今後（今後とも）どのような地域活動・ボランティア活動に参加したいと思いますか。（問16で“参加したい”を選択した方のみ）【複数回答】

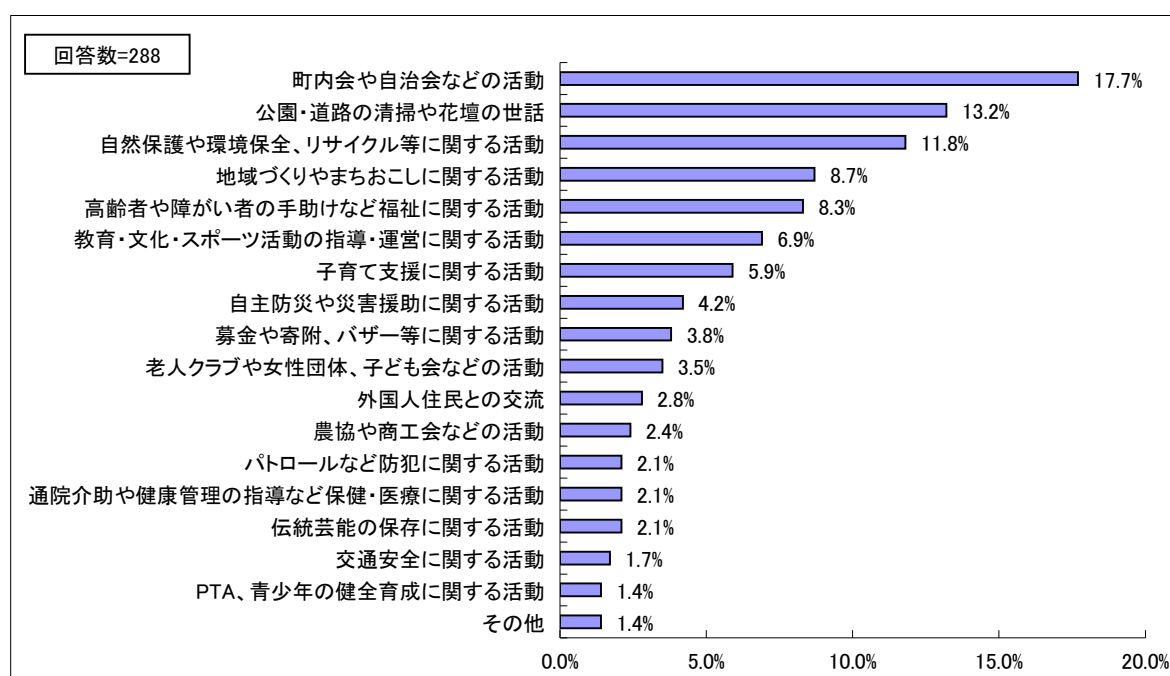
- 「町内会や自治会などの活動」が第1位。次いで「公園・道路の清掃や花壇の世話」、「自然保護や環境保全、リサイクル等に関する活動」の順。

問16で“参加したい”と回答した人（全体の40.1%・142名）に参加したい地域活動等についてたずねたところ「町内会や自治会などの活動」が最も高く、次いで「公園・道路の清掃や花壇の世話」が高くなりました。【図表48】

年齢別では50代～80代で「町内会や自治会などの活動」が最も高い結果となった一方、10代～20代では「公園・道路の清掃や花壇の世話」も高い結果となりました。

【図表49】

図表48 参加したい地域活動等について（全体／複数回答）



図表49 参加したい地域活動等について（性別、年齢／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
性別	男性	町内会や自治会活動 17.2	公園・道路清掃、花壇の世話 14.6	自然保護や環境保全、リサイクル等 13.9
	女性	町内会や自治会活動 18.9	高齢者や障がい者の手助け 14.8	公園・道路清掃、花壇の世話 12.3
年齢	10代・20代	公園・道路清掃、花壇の世話 33.3	自主防災や災害援助 16.7	同率複数のため省略 -
	30代	子育て支援活動 14.6	教育・文化・スポーツの指導・運営 (同率1位) 14.6	自然保護や環境保全、リサイクル等 12.2
	40代	自然保護や環境保全、リサイクル等 14.0	地域づくりやまちおこし (同率1位) 14.0	同率複数のため省略 -
	50代	町内会や自治会活動 22.0	高齢者や障がい者の手助け 18.0	自然保護や環境保全、リサイクル等 12.0
	60代	町内会や自治会活動 17.6	自然保護や環境保全、リサイクル等 16.2	公園・道路清掃、花壇の世話 13.5
	70代	町内会や自治会活動 26.3	公園・道路清掃、花壇の世話 13.2	同率複数のため省略 -
	80代	町内会や自治会活動 35.7	公園・道路清掃、花壇の世話 21.4	老人クラブや女性団体、子ども会 (同率2位) 21.4
	90歳以上	公園・道路清掃、花壇の世話 50.0	パトロールなど防犯に関する活動 (同率1位) 50.0	回答なし -

問17 町立病院の医療体制に満足していますか。

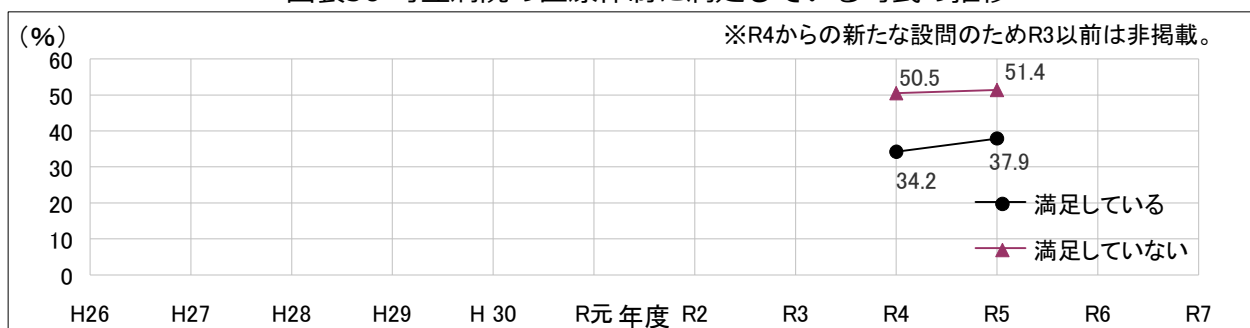
● “満足している”が37.9%、“満足していない”が51.4%。

満足している 5.4%	満足していない 22.9%
どちらかといえば満足している 32.5%	どちらかといえば満足していない 28.5%

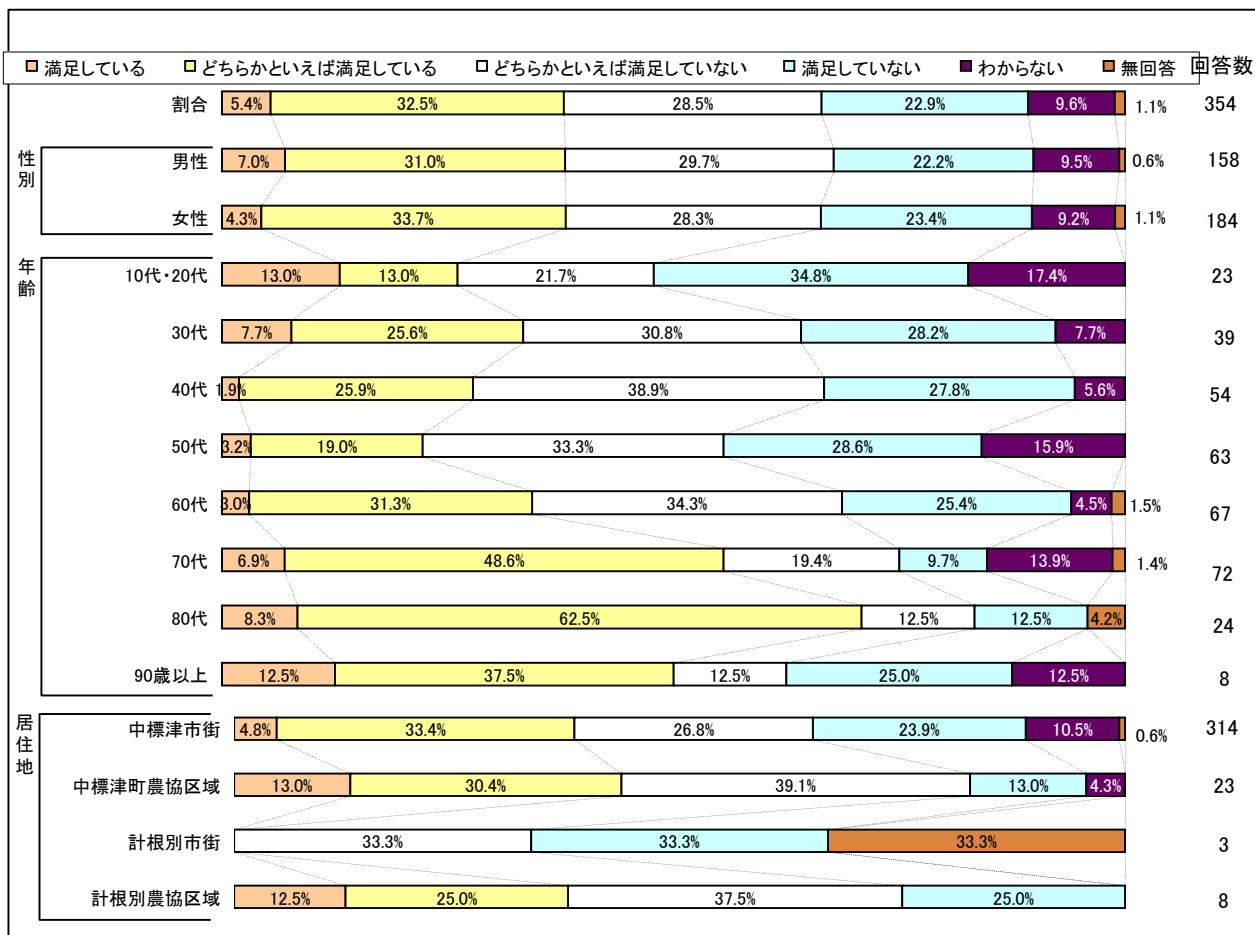
「満足している」（5.4%）と「どちらかといえば満足している」（32.5%）をあわせた“満足している”人は37.9%となり、「満足していない」（22.9%）と「どちらかといえば満足していない」（28.5%）をあわせた“満足していない”人の51.4%を下回る結果となりました。

年齢別では“満足している”人は50代（22.2%）で最も低く、80代（70.8%）で特に高い結果となりました。【図表51】

図表50 町立病院の医療体制に満足している町民の推移



図表51 町立病院の医療体制に満足しているか（全体、性別、年齢、居住地）



問18 健康保険や年金の制度に関して、知りたい情報が得られていると感じますか。

● “そう感じる”が39.0%、“そう感じない”が40.9%。

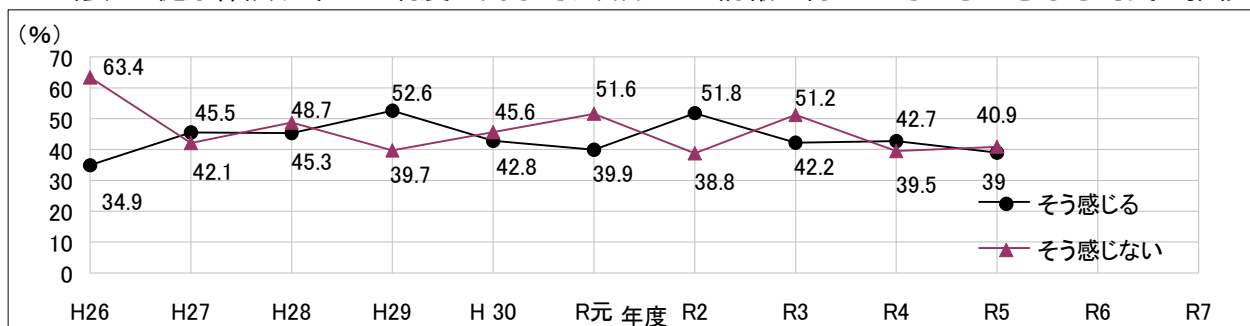
そう感じる 6.2% どちらかといえばそう感じる 32.8%	そう感じない 15.5% どちらかといえばそう感じない 25.4%
-----------------------------------	--------------------------------------

「そう感じる」（6.2%）と「どちらかといえばそう感じる」（32.8%）をあわせた“そう感じる”人は39.0%となりました。

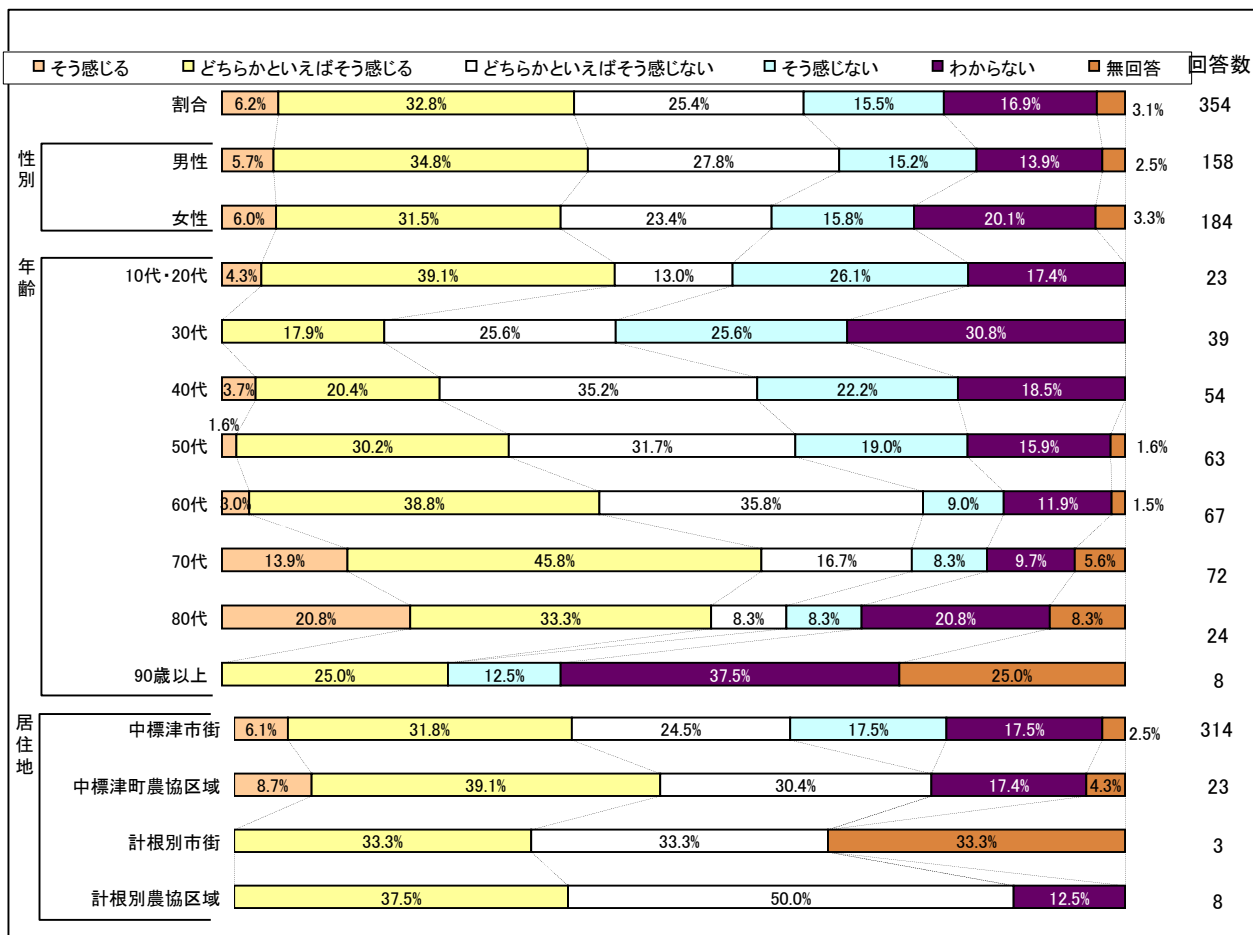
これまでの推移を見ると概ね横ばいで推移していることが分かります。【図表52】

性別では男性（40.5%）が女性（37.5%）よりも高く、年齢別では、30代の“そう感じる”割合が特に低い結果となりました。【図表53】

図表52 健康保険や年金の制度に関して、知りたい情報が得られていると感じる町民の推移



図表53 健康保険や年金の制度に関して、知りたい情報が得られているか（全体、性別、年齢、居住地）



問19 地元の農畜産物（乳製品、肉、野菜、加工品等）を身近に感じますか。

● “そう感じる”が70.9%、“そう感じない”が24.0%。

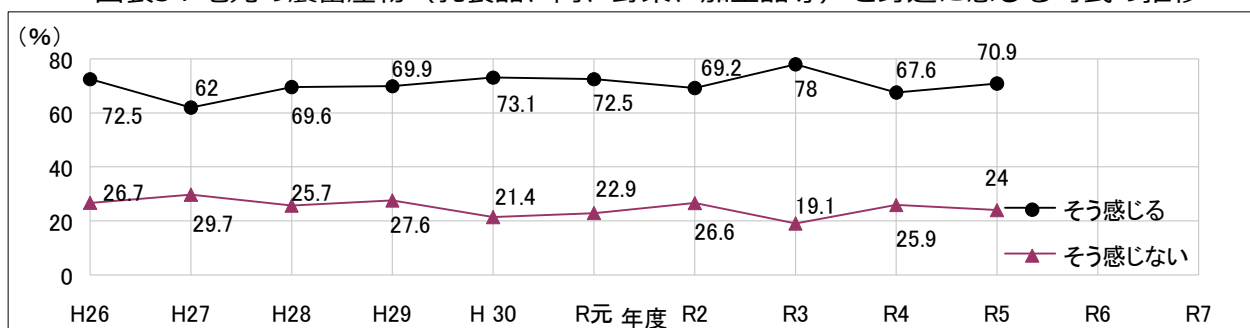
そう感じる 26.3% どちらかといえばそう感じる 44.6%	そう感じない 10.7% どちらかといえばそう感じない 13.3%
------------------------------------	--------------------------------------

「そう感じる」（26.3%）と「どちらかといえばそう感じる」（44.6%）をあわせた“そう感じる”人は70.9%となりました。

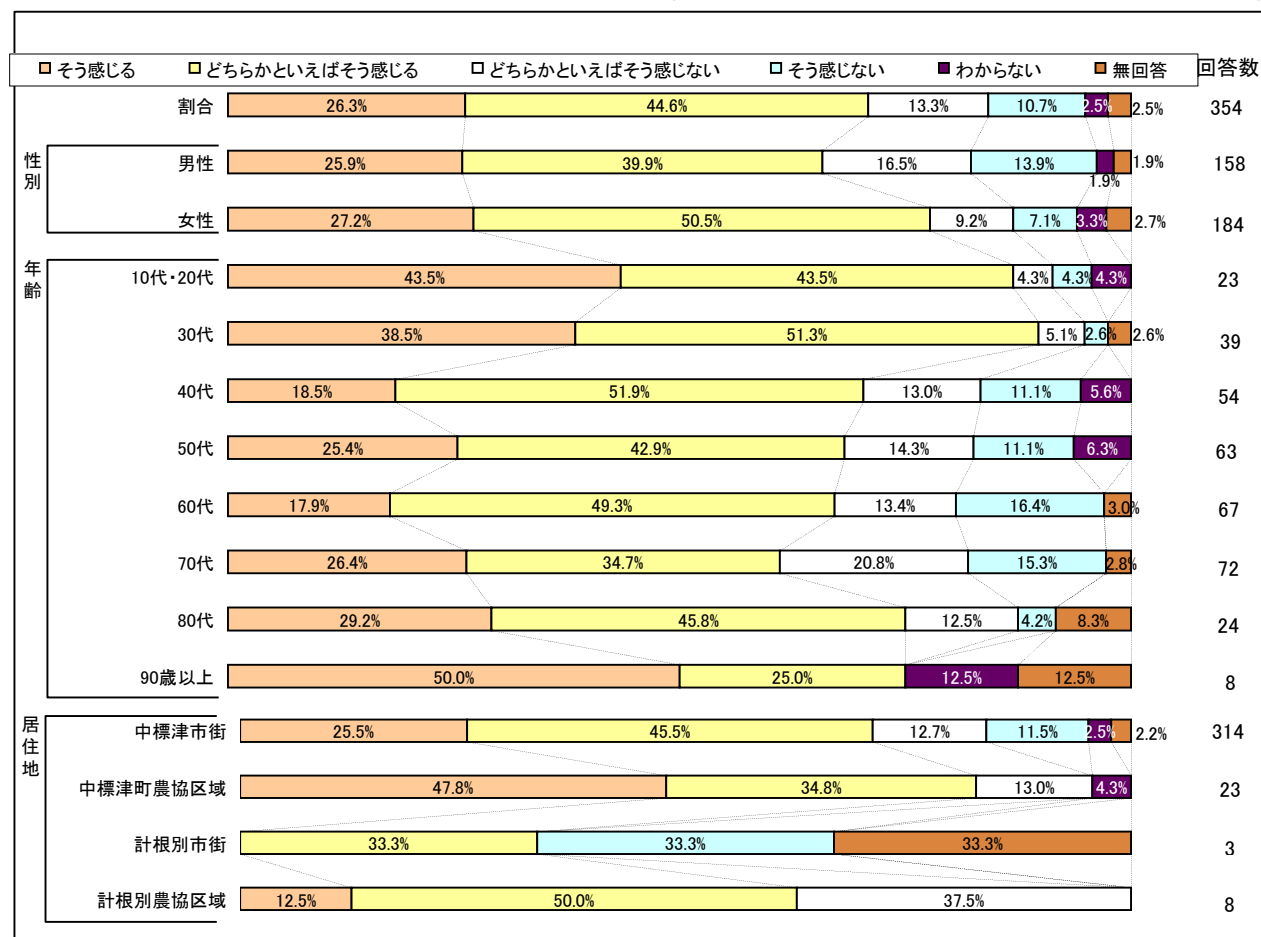
これまでの推移を見ると概ね横ばいで推移していることが分かります。【図表54】

年齢別では、10代～30代で“そう感じる”割合が特に高く、一方で70代は比較的低い結果となりました。【図表53】

図表54 地元の農畜産物（乳製品、肉、野菜、加工品等）を身近に感じる町民の推移



図表55 地元の農畜産物（乳製品、肉、野菜、加工品等）を身近に感じるか（全体、性別、年齢、居住地）



問20 町が行う植樹などの森林づくり活動に参加したいと思いますか。

● “参加したいと思う”が32.2%、“参加したくない”が49.1%。

参加したいと思う 7.9%	参加したくない 23.7%
どちらかといえば参加したいと思う 24.3%	どちらかといえば参加したくない 25.4%

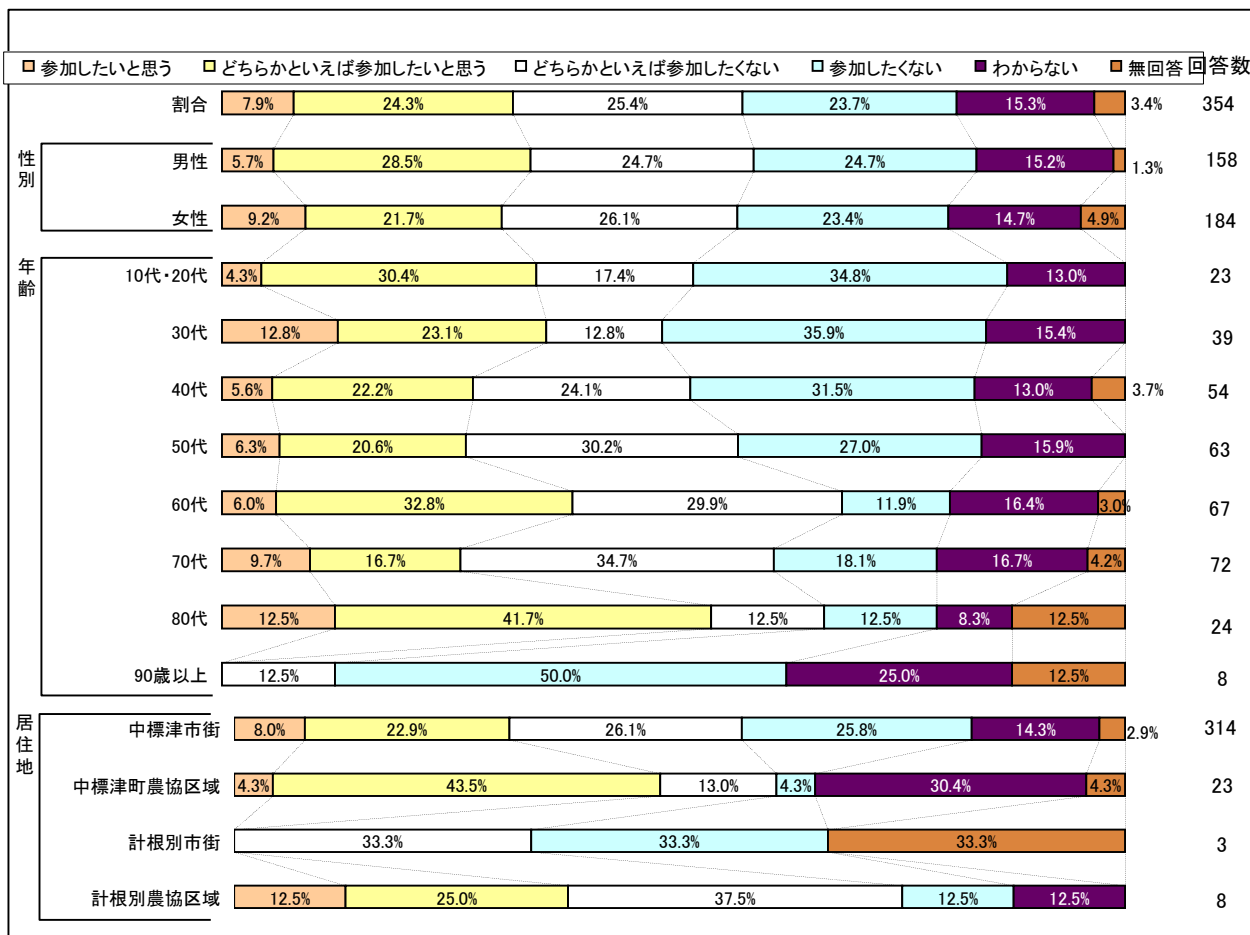
「参加したいと思う」（7.9%）と「どちらかといえば参加したいと思う」（24.3%）をあわせた“参加したいと思う”人は32.2%となりました。

性別では、男性（34.2%）が女性（30.9%）よりも高い結果となり、年齢別では80代（54.2%）が最も高く、居住地別では中標津農協区域（47.8%）が最も高い結果となりました。【図表57】

図表56 町が行う植樹などの森林づくり活動に参加したいと思う町民の推移

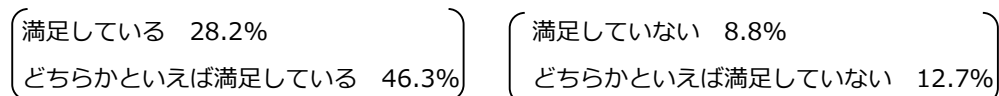


図表57 町が行う植樹などの森林づくり活動に参加したいか（全体、性別、年齢、居住地）



問21 町内での飲食や買い物に満足していますか。

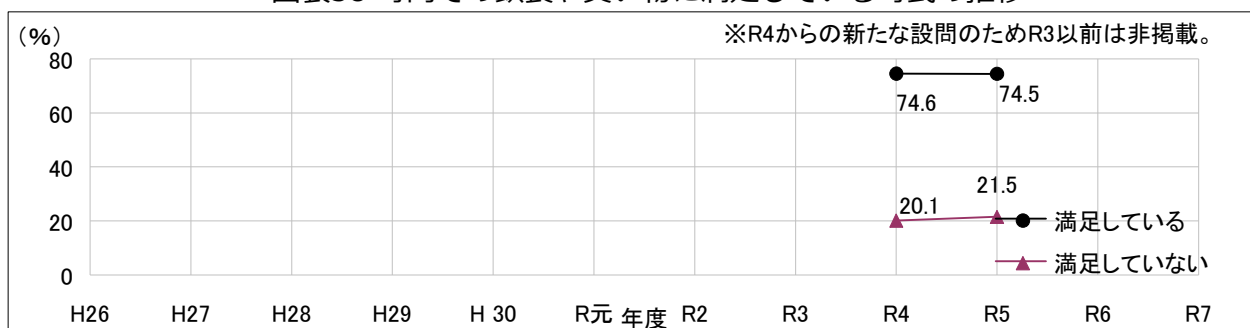
● “満足している”が74.5%、“満足していない”が21.5%。



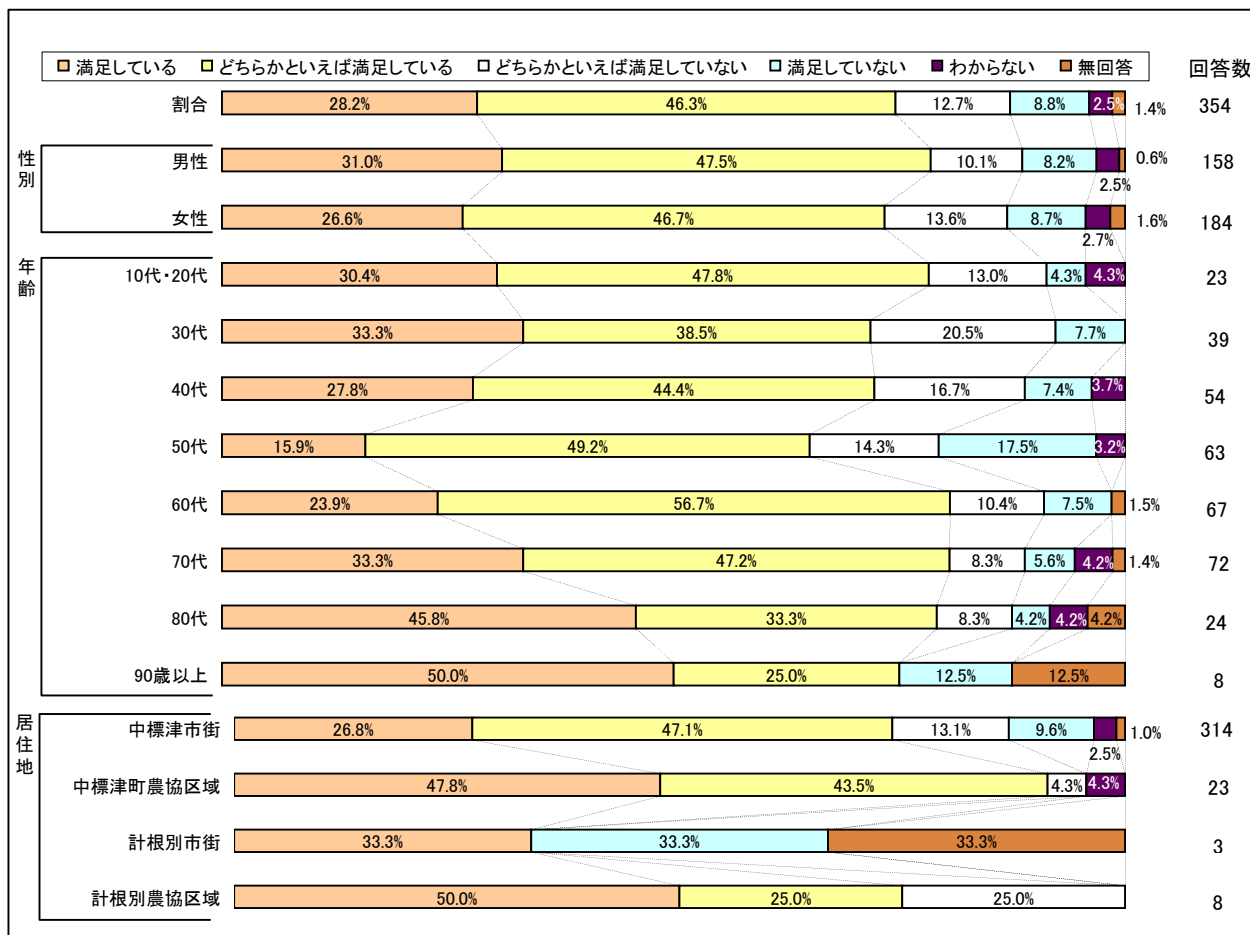
「満足している」（28.2%）と「どちらかといえば満足している」（46.3%）をあわせた“満足している”人は74.5%となりました。

性別では男性（78.5%）が女性（73.3%）よりも高い結果となった他、年齢別では50代の“満足している”人は65.1%で最も低い結果となりました。居住地別では中標津農協区域（91.3%）が最も高く、計根別市街（33.3%）が最も低い結果となりました。【図表59】

図表58 町内での飲食や買い物に満足している町民の推移



図表59 町内での飲食や買い物に満足しているか（全体、性別、年齢、居住地）



問22 あなたは観光客に対して「おもてなし」の気持ちを持っていますか。



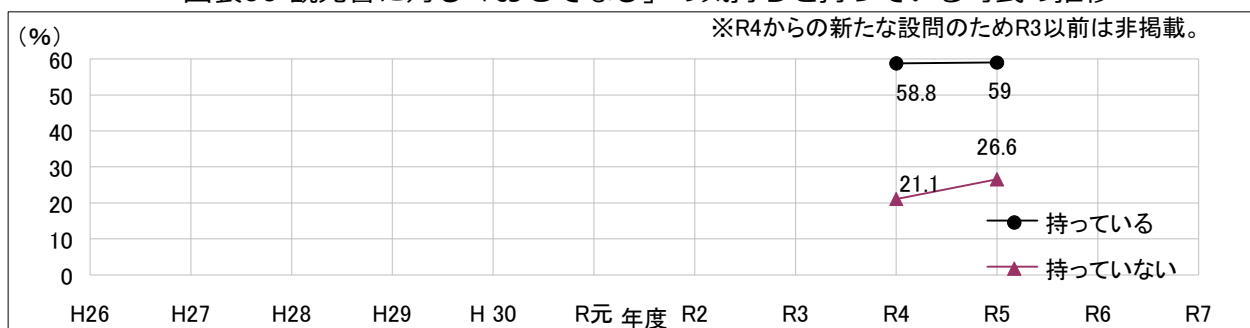
● “持っている”が59.0%、“持っていない”が26.6%。



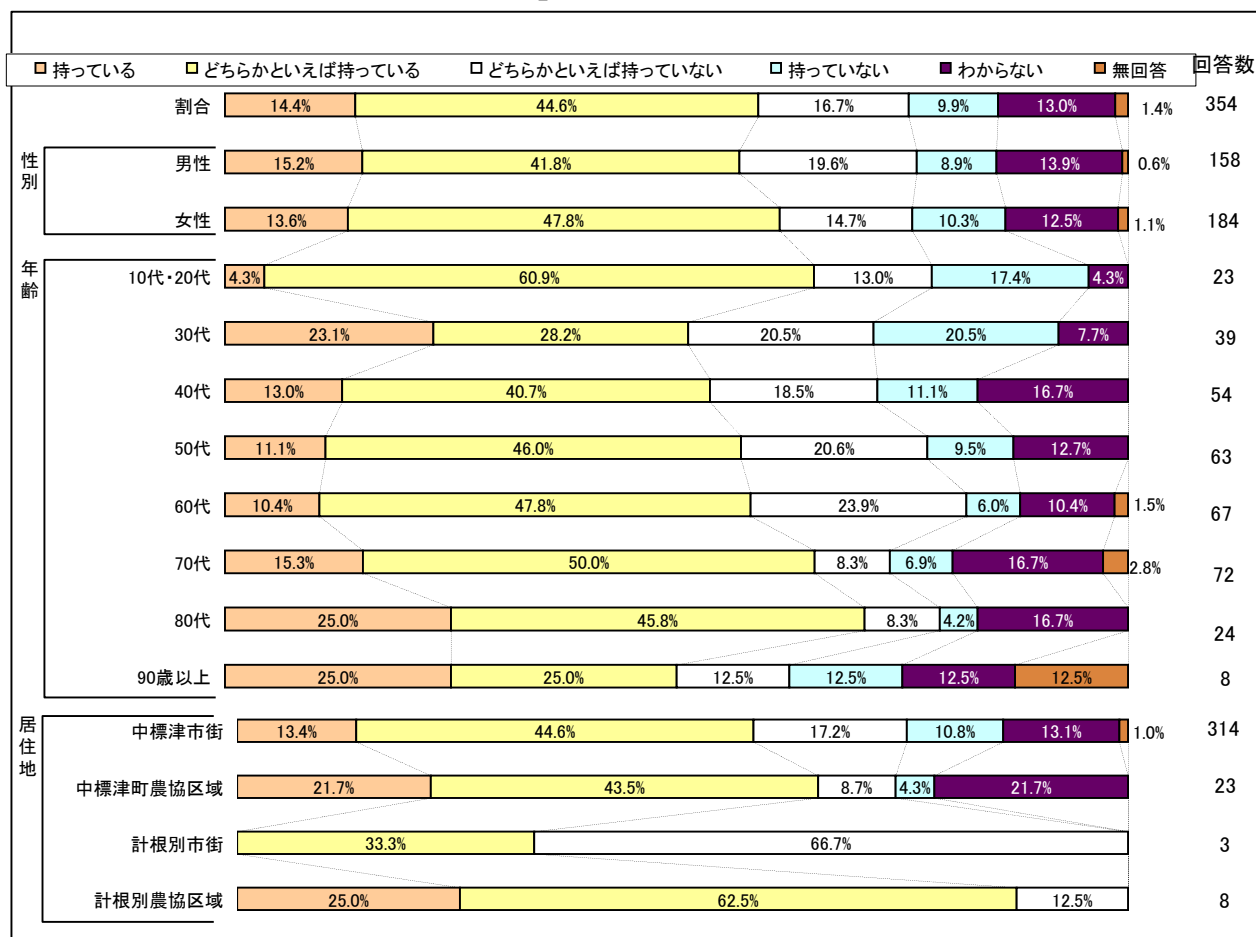
「持っている」（14.4%）と「どちらかといえば持っている」（44.6%）をあわせた“持っている”人は59.0%となりました。

性別では、男性（57.0%）よりも女性（61.4%）の方が高い結果となった他、年齢別では90歳以上（50.0%）で最も低く、10代・20代（65.2%）と80代（70.8%）で比較的高い結果となりました。【図表61】

図表60 観光客に対し「おもてなし」の気持ちを持っている町民の推移



図表61 観光客に対し「おもてなし」の気持ちを持っているか（全体、性別、年齢、居住地）



問23 雇用対策（通年雇用、雇用の創出・確保等）に満足していますか。

● “満足している”が27.7%、“満足していない”が31.3%。

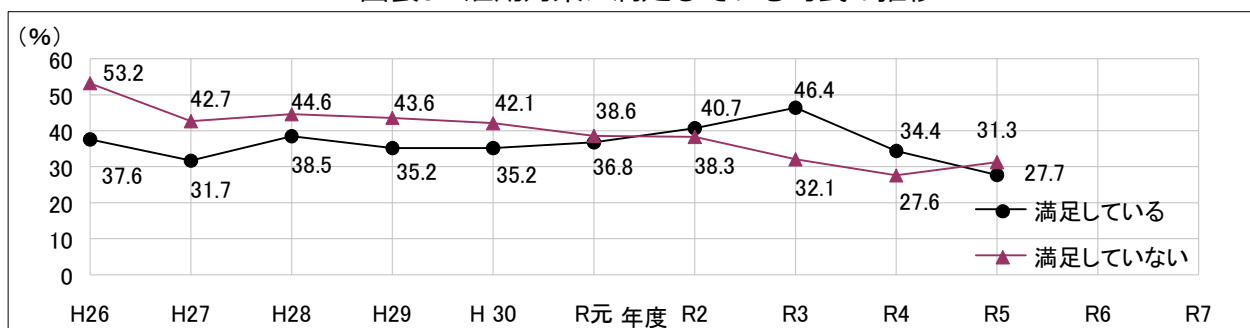
満足している 4.0%	満足していない 10.7%
どちらかといえば満足している 23.7%	どちらかといえば満足していない 20.6%

「満足している」（4.0%）と「どちらかといえば満足している」（23.7%）をあわせた“満足している”人は27.7%となりました。

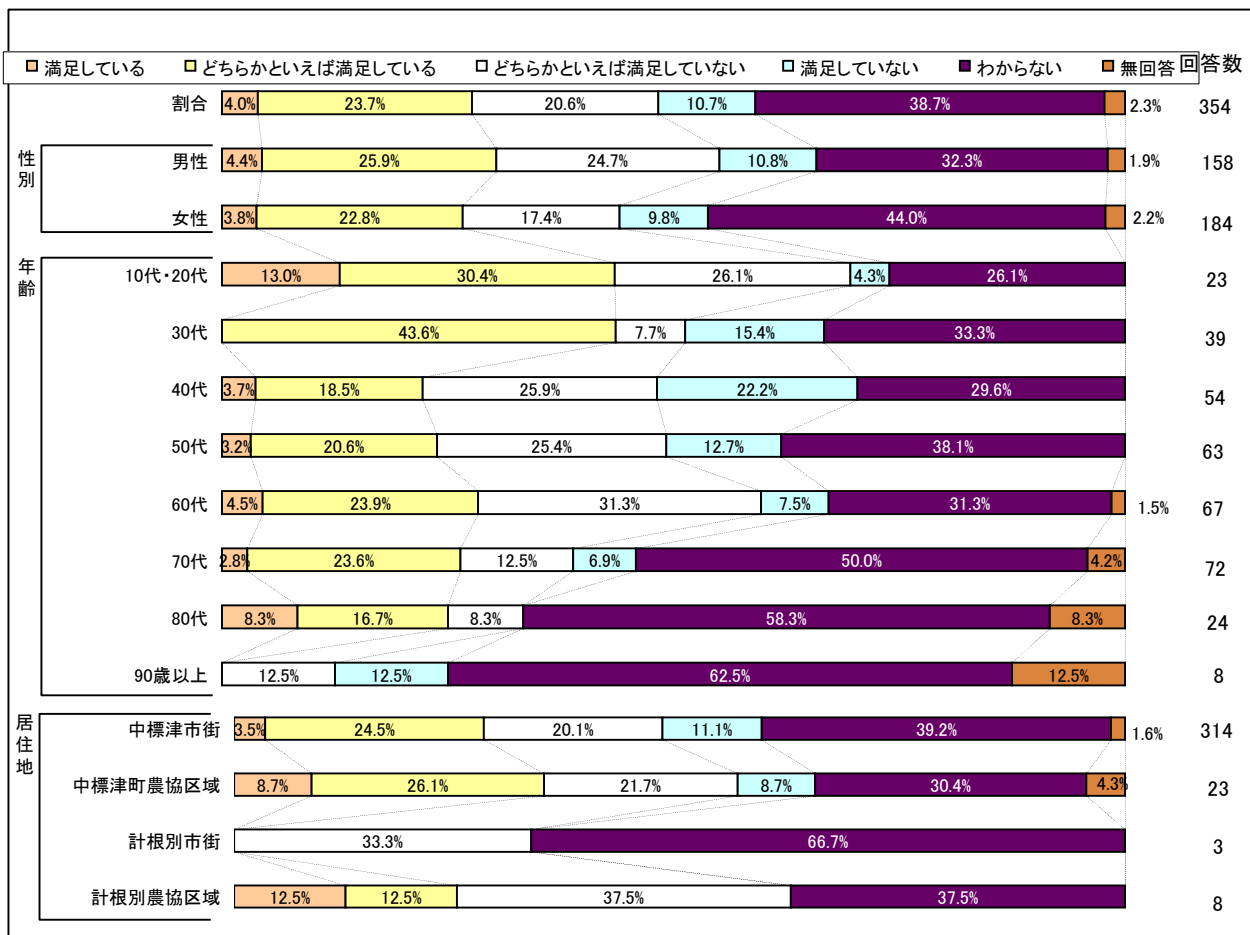
これまでの推移をみるとR3からR5にかけて大きく減少していますが、R4から追加した「わからない」の選択肢を選ぶ方が多いことから、その影響も大きいと思われます。【図表62】

性別では、男性（30.3%）が女性（26.6%）より高く、年齢別では10代～30代が高い結果となりました。【図表63】

図表62 雇用対策に満足している町民の推移



図表63 雇用対策に満足しているか（全体、性別、年齢、居住地）



問24 住んでいる地域が「良好なまちなみ（住環境）である」と感じていますか。

● “そう感じる”が67.0%、“そう感じない”が25.7%。

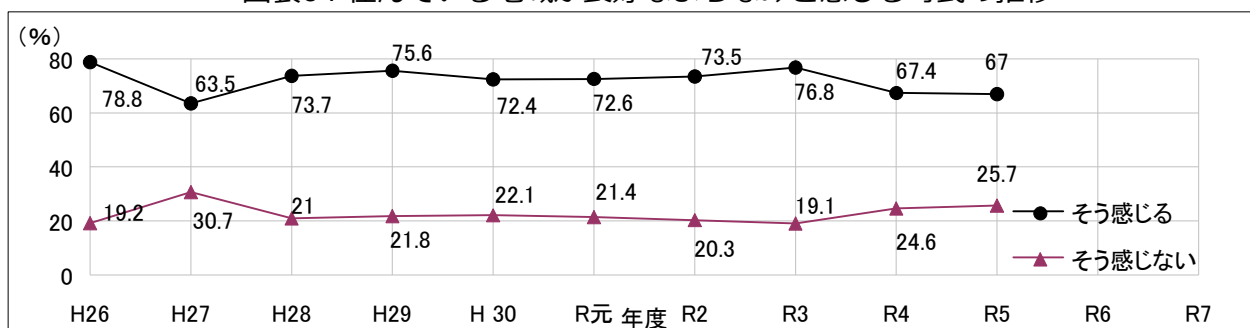
そう感じる 13.6% どちらかといえばそう感じる 53.4%	そう感じない 9.0% どちらかといえばそう感じない 16.7%
------------------------------------	-------------------------------------

「そう感じる」（13.6%）と「どちらかといえばそう感じる」（53.4%）をあわせた“そう感じる”人は67.0%となりました。

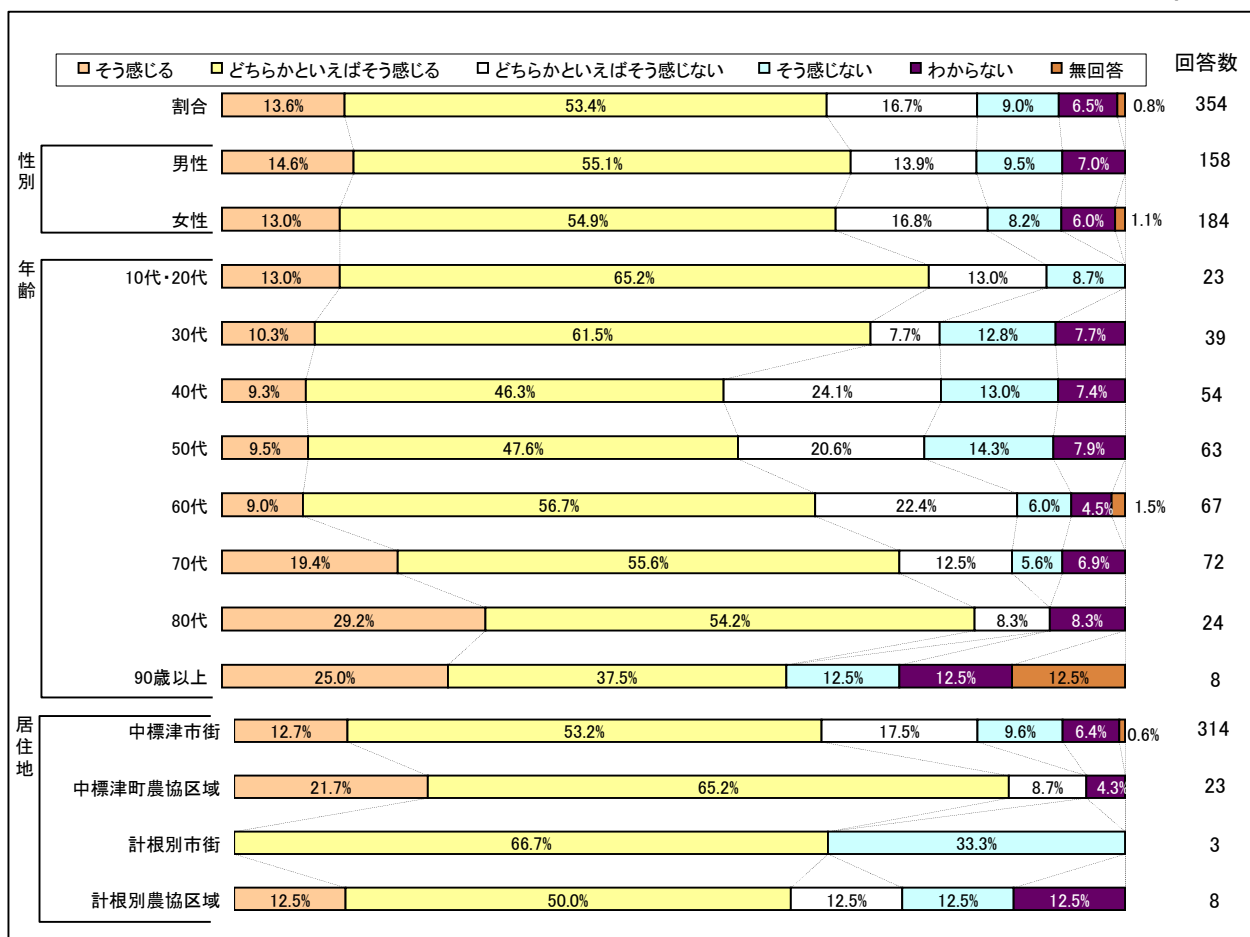
これまでの推移を見ると概ね横ばいで推移していることが分かります。【図表64】

年齢別では、80代（83.4%）で最も高く、40代（55.6%）と50代（57.1%）が比較的低い結果となりました。【図表65】

図表64 住んでいる地域が良好なまちなみと感じる町民の推移



図表65 住んでいる地域が良好なまちなみと感じるか（全体、性別、年齢、居住地）



問25 日々の生活の中で景観を意識していますか。

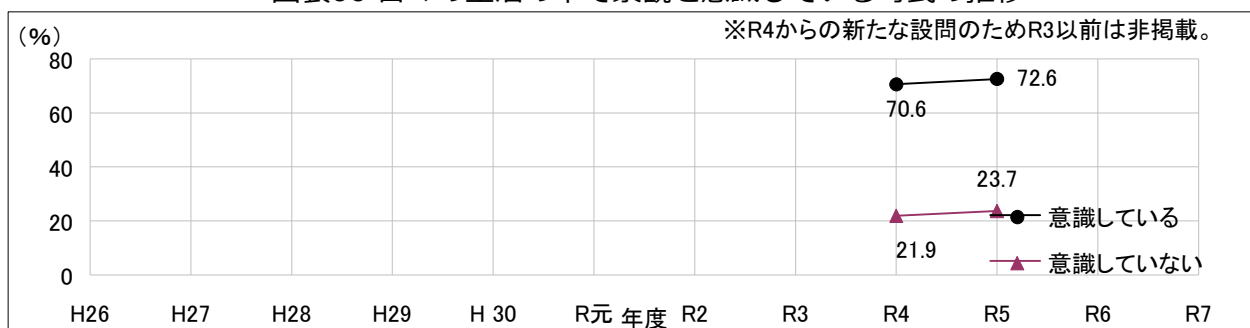
● “意識している”が72.6%、“意識していない”が23.7%。

意識している 26.0%	意識していない 9.3%
どちらかといえば意識している 46.6%	どちらかといえば意識していない 14.4%

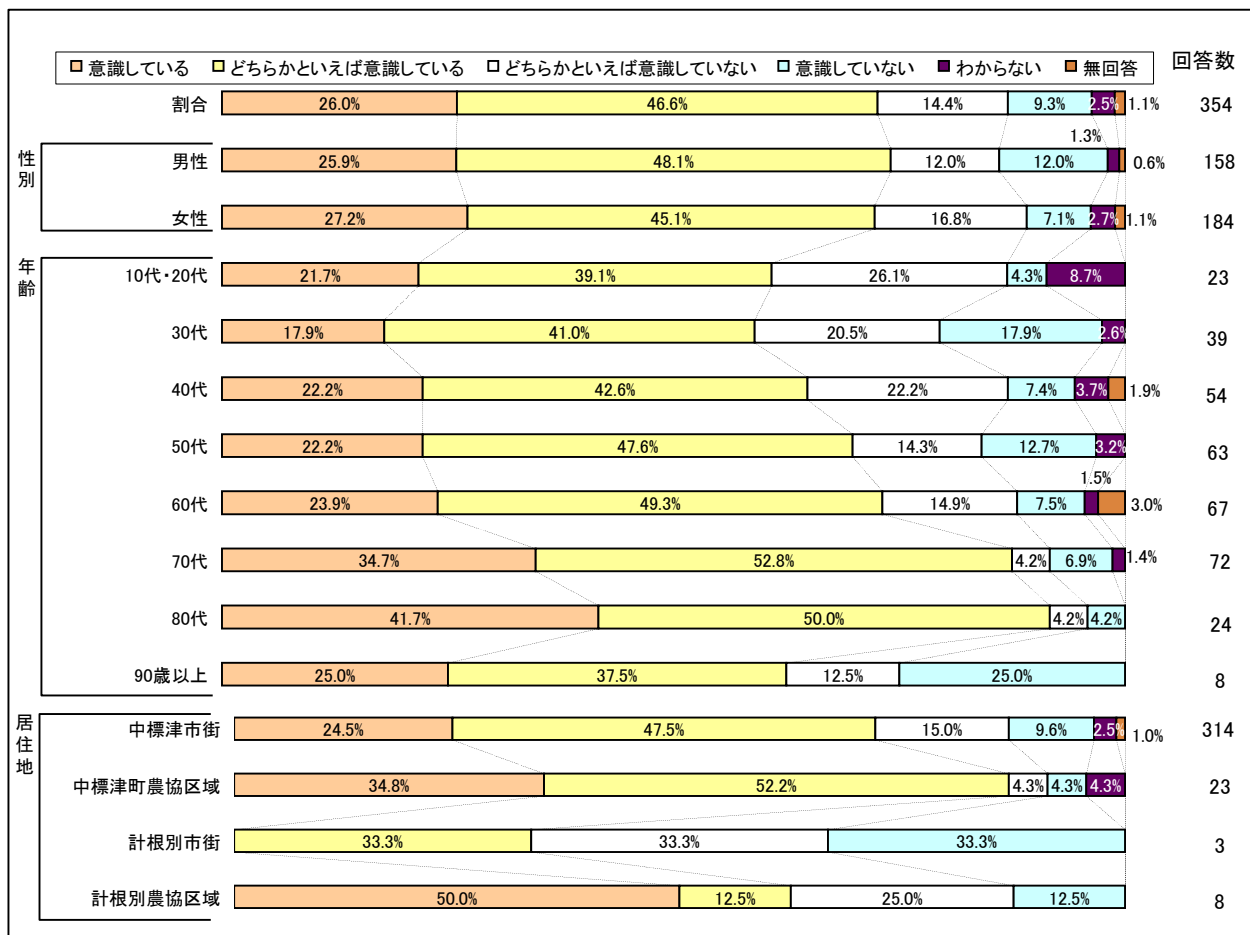
「意識している」（26.0%）と「どちらかといえば意識している」（46.6%）をあわせた“意識している”人は72.6%となりました。

性別では男性（74.0%）が女性（72.3%）よりも高く、年齢別では70代～80代の“意識している”人の割合が特に高い結果となりました。居住地別では、中標津町農協区域（87.0%）で非常に高い結果となりました。【図表67】

図表66 日々の生活の中で景観を意識している町民の推移



図表67 日々の生活の中で景観を意識しているか（全体、性別、年齢、居住地）



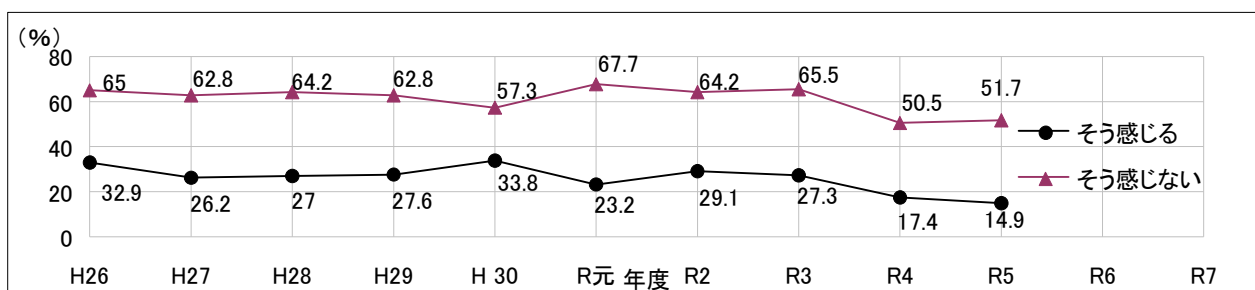
問26 公共交通（バス）を利用して、便利に暮らすことができていると感じますか。

● “そう感じる”が14.9%、“そう感じない”が51.7%。

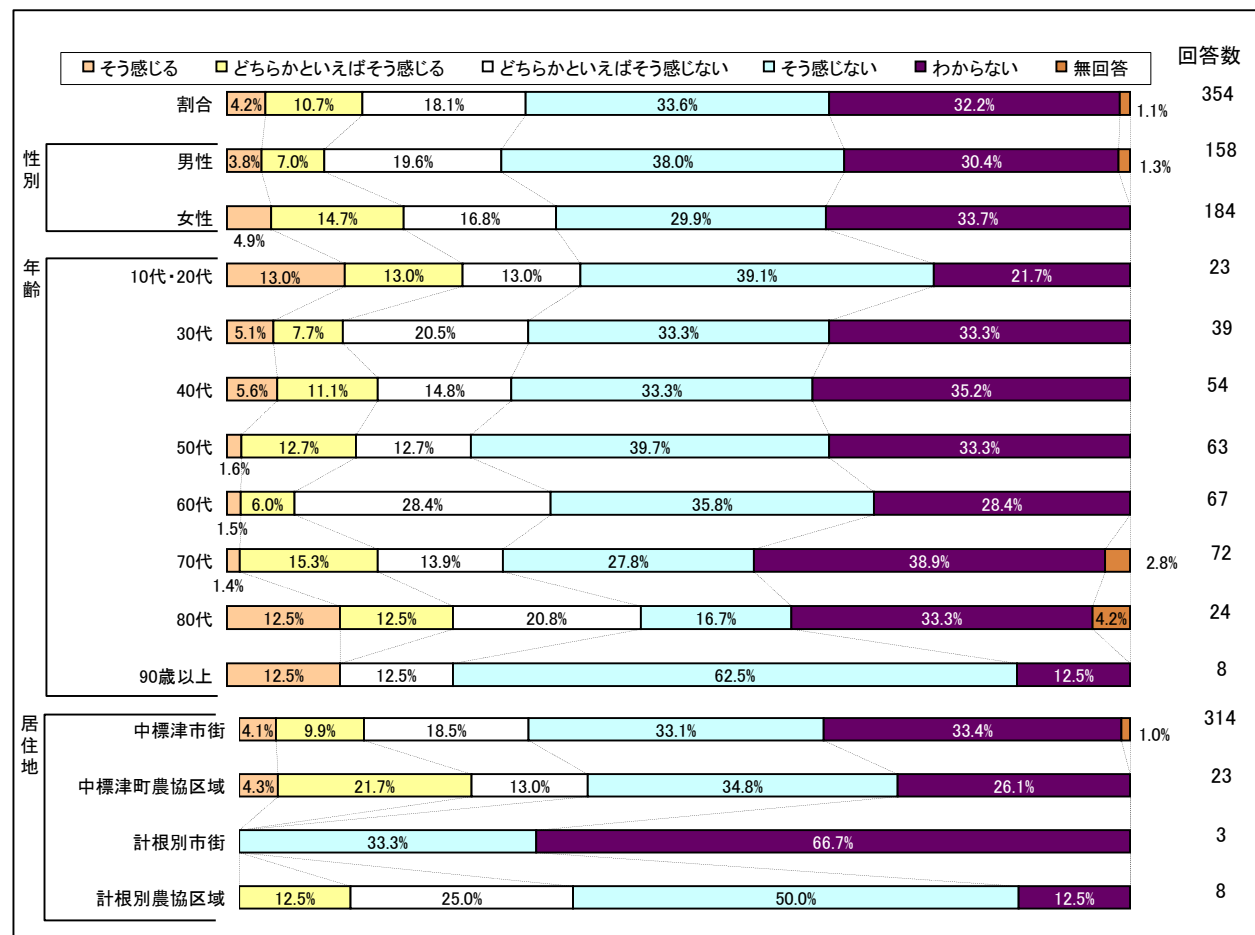
そう感じる 4.2%	そう感じない 33.6%
どちらかといえばそう感じる 10.7%	どちらかといえばそう感じない 18.1%

“そう感じる”人が14.9%に対し、“そう感じない”人は51.7%と大きく下回っています。これまでの推移をみると、両方の方がR3から大きく減少していますが、R4から追加した「わからない」の選択肢を選ぶ方が多く、その影響が大きいと思われます。【図表68】性別では“そう感じる”人は男性（10.8%）よりも女性（19.6%）の方が高く、年齢別では10代・20代（26.0%）が最も高く、次いで80代（25.0%）が高い結果となっています。【図表69】

図表68 公共交通（バス）を利用して、便利に暮らすことができていると感じる町民の推移



図表69 公共交通（バス）を利用して、便利に暮らすことができていると感じるか（全体、性別、年齢、居住地）



問27 中標津空港利用の利便性に満足していますか。

● “満足している”が63.8%、“満足していない”が20.9%。

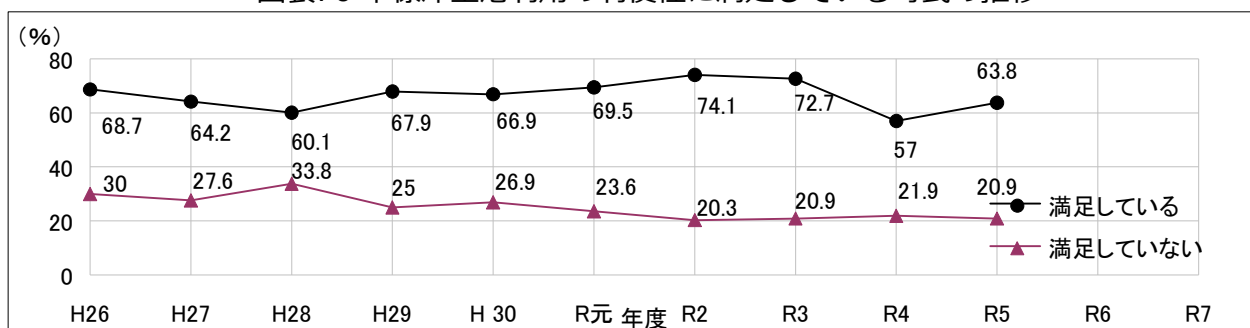
満足している 23.4%	満足していない 6.8%
どちらかといえば満足している 40.4%	どちらかといえば満足していない 14.1%

「満足している」（23.4%）と「どちらかといえば満足している」（40.4%）をあわせた“満足している”人は63.8%となりました。

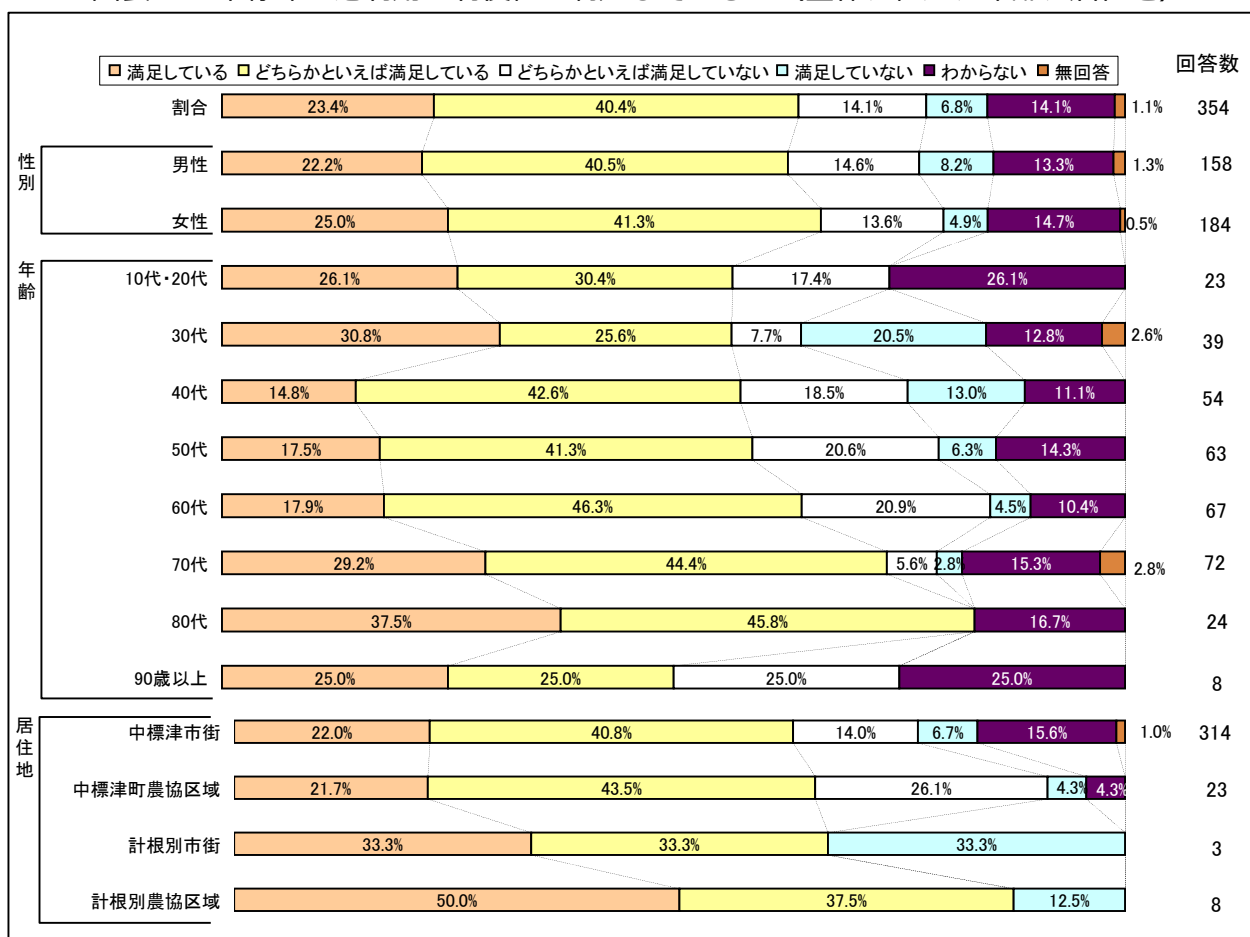
これまでの推移をみるとR3からR4にかけて大きく減少していますが、R4から追加した「わからない」の選択肢を選ぶ方が多く、その影響が大きいと思われます。【図表70】

年齢別では、80代（83.3%）で最も高く、90歳以上（50.0%）で最も低い結果となり、居住地別では計根別農協区域（87.5%）で最も高い結果となりました。【図表71】

図表70 中標津空港利用の利便性に満足している町民の推移



図表71 中標津空港利用の利便性に満足しているか（全体、性別、年齢、居住地）



問28 日頃から家庭で災害（地震や風雪災害など）への備えをしていますか。

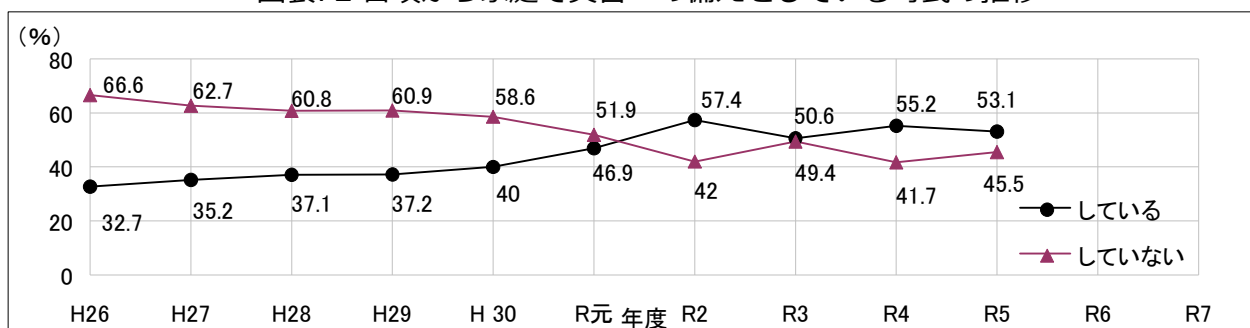
● “している”が53.1%、“していない”が45.5%。

（している 16.7%	（していない 12.7%
どちらかといえばしている 36.4%	どちらかといえばしていない 32.8%

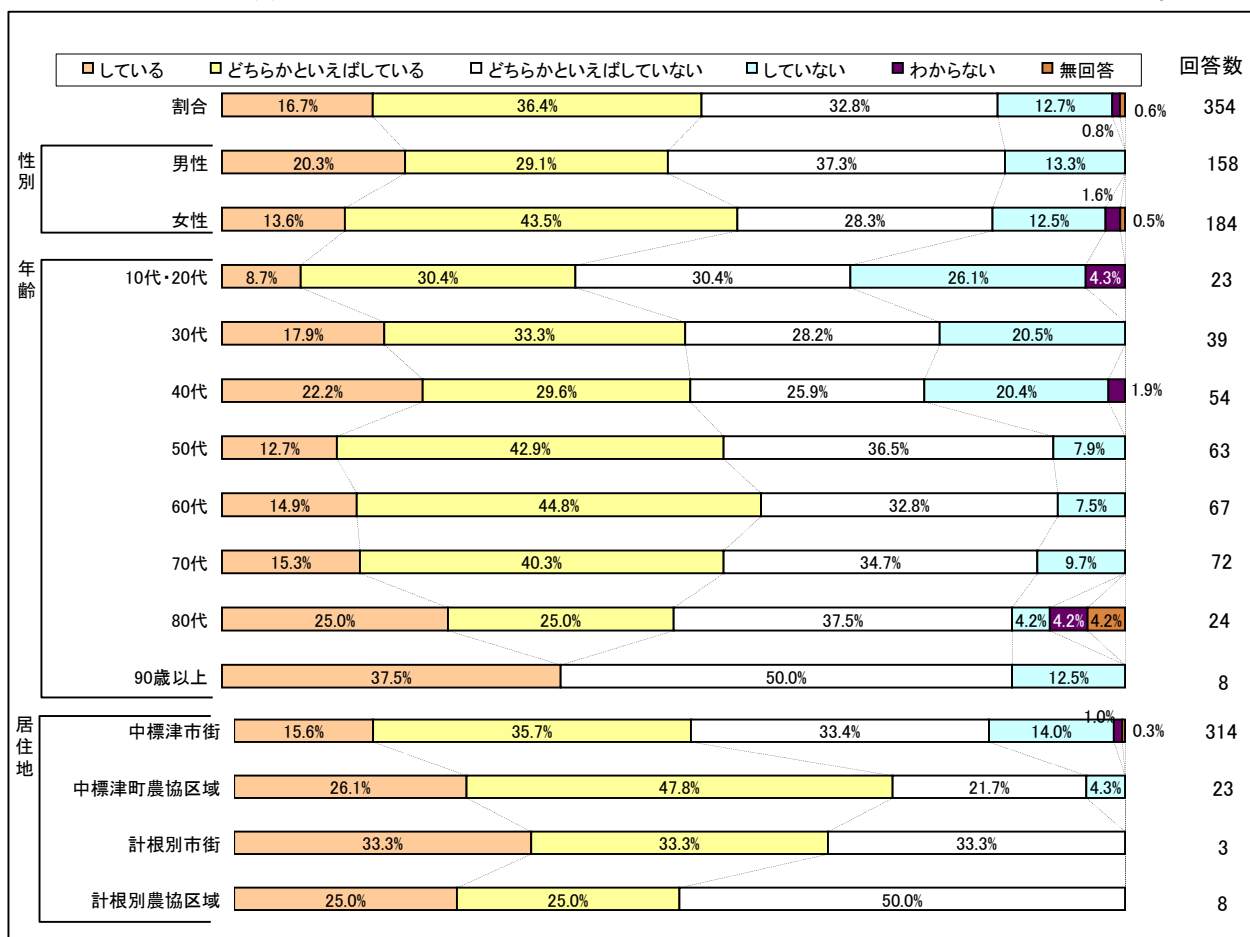
「している」（16.7%）と「どちらかといえばしている」（36.4%）をあわせた“している”人は53.1%となりました。

これまでの推移を見ると“している”人はR2以降横ばいであることがわかります。【図表72】年齢別では60代（59.7%）が最も高く、次いで50代と70代が同数で55.6%となりました。居住地別では中標津町農協区域（73.9%）が最も高い結果となりました。【図表73】

図表72 日頃から家庭で災害への備えをしている町民の推移



図表73 日頃から家庭で災害への備えをしているか（全体、性別、年齢、居住地）

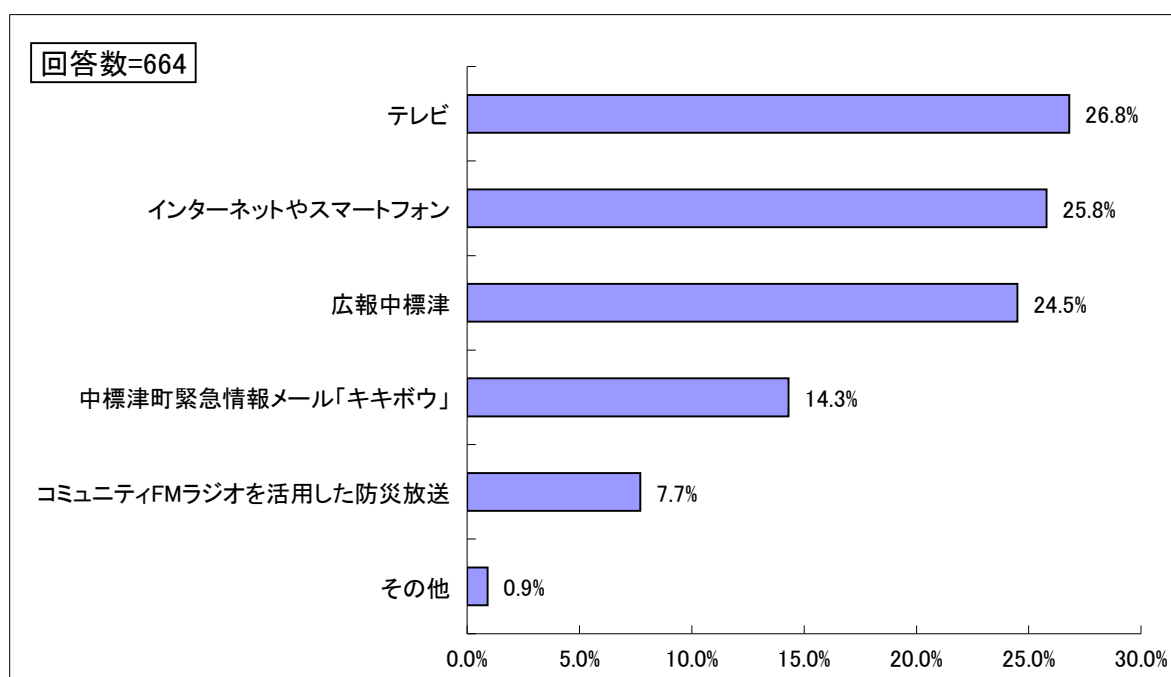


問29 あなたは、防災のための情報をどこから得ていますか。【複数回答】

- 「テレビ」が第1位。次いで「インターネットやスマートフォン」、「広報中標津」の順。

防災のための情報をどこから得ているかたずねたところ「テレビ」が最も多く、次いで「インターネットやスマートフォン」、「広報中標津」の順となりました。【図表74】
年齢別では10～50代で「インターネットやスマートフォン」が最も多くなった一方、70代以上では上位3項目に入りませんでした。「テレビ」「広報中標津」はすべての年代において高い回答割合となっています。【図表75】

図表74 防災のための情報をどこから得ているか（全体／複数回答）



図表75 防災のための情報をどこから得ているか（性別、年齢／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
性別	男性	テレビ 29.5	インターネット・スマートフォン 26.7	広報中標津 22.6
	女性	広報中標津 25.9	インターネット・スマートフォン 25.0	テレビ 24.4
年齢	10代・20代	インターネット・スマートフォン 48.6	テレビ 31.4	同率複数のため省略 -
	30代	インターネット・スマートフォン 38.2	テレビ 23.5	同率複数のため省略 -
	40代	インターネット・スマートフォン 33.3	広報中標津 24.5	テレビ 20.6
	50代	インターネット・スマートフォン 34.1	テレビ 25.2	広報中標津 17.0
	60代	広報中標津 28.2	テレビ 25.2	インターネット・スマートフォン 19.1
	70代	広報中標津 31.9	テレビ 31.1	同率複数のため省略 -
	80代	広報中標津 39.5	テレビ 32.6	コミュニティFMの防災放送 11.6
	90歳以上	テレビ 45.5	広報中標津 36.4	同率複数のため省略 -

問30 地域や企業などでの防犯活動に参加していますか。

● “参加している”が9.9%、“参加していない”が83.9%。

参加している 4.8%
たまに参加している 5.1%

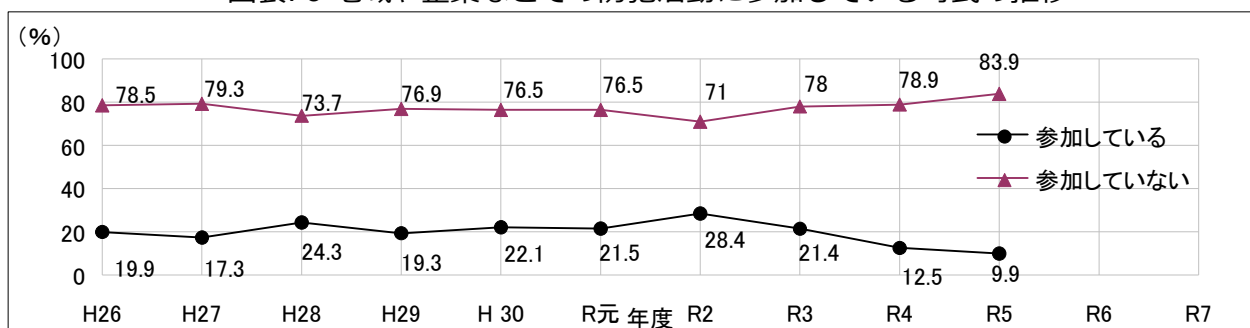
参加していない 65.0%
あまり参加していない 18.9%

「参加している」（4.8%）と「たまに参加している」（5.1%）をあわせた“参加している”人は9.9%となりました。

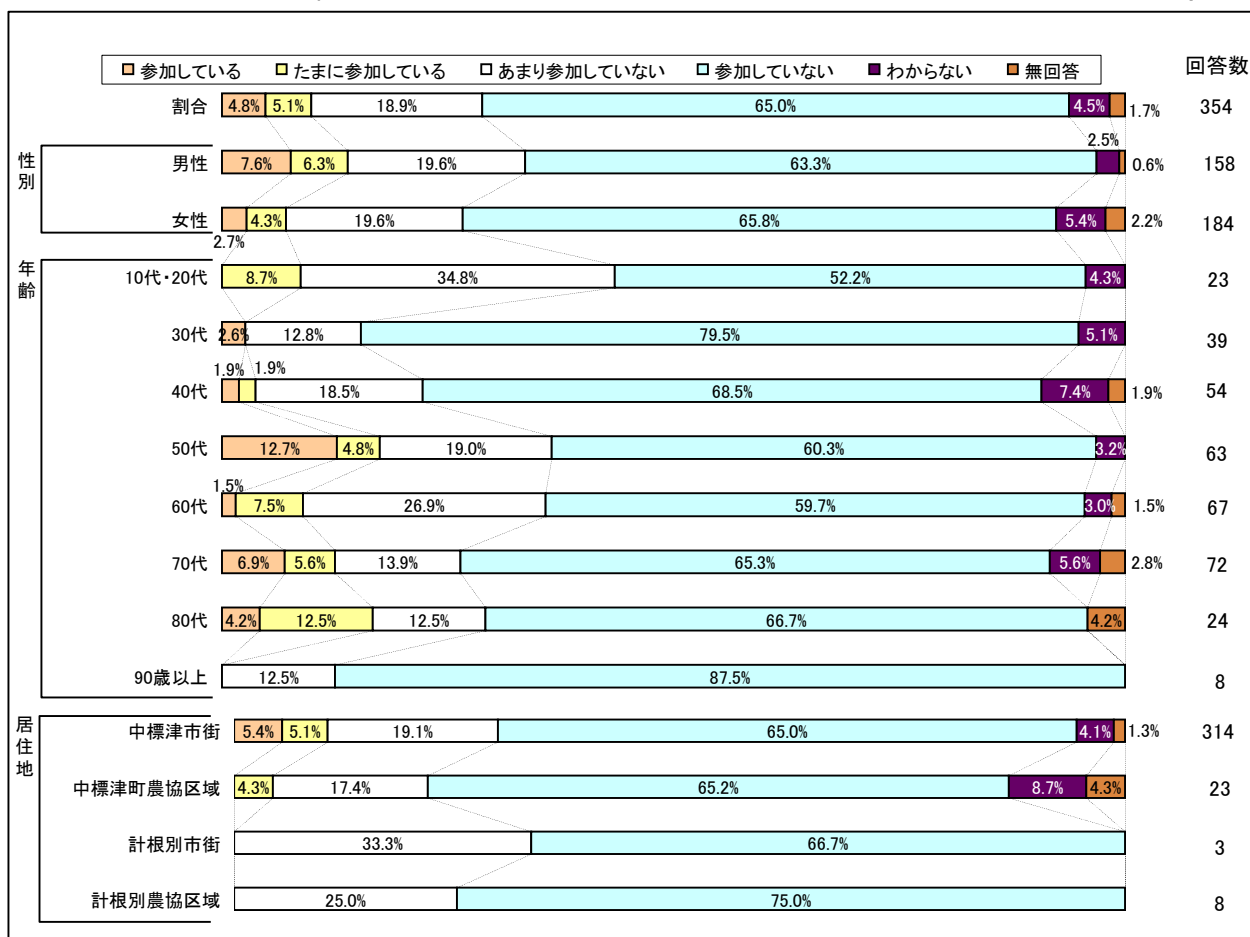
これまでの推移を見るとR2をピークに減少傾向であることがわかります。【図表76】

性別では男性（13.9%）が女性（7.0%）よりも高く、年齢別では50代（17.5%）が最も高く、居住地別では中標津市街（10.5%）が最も高い結果となりました。【図表77】

図表76 地域や企業などでの防犯活動に参加している町民の推移



図表77 地域や企業などでの防犯活動に参加しているか（全体、性別、年齢、居住地）



問31 消費生活に関する正しい情報を得られていると感じますか。

● “そう感じる”が31.0%、“そう感じない”が45.5%。

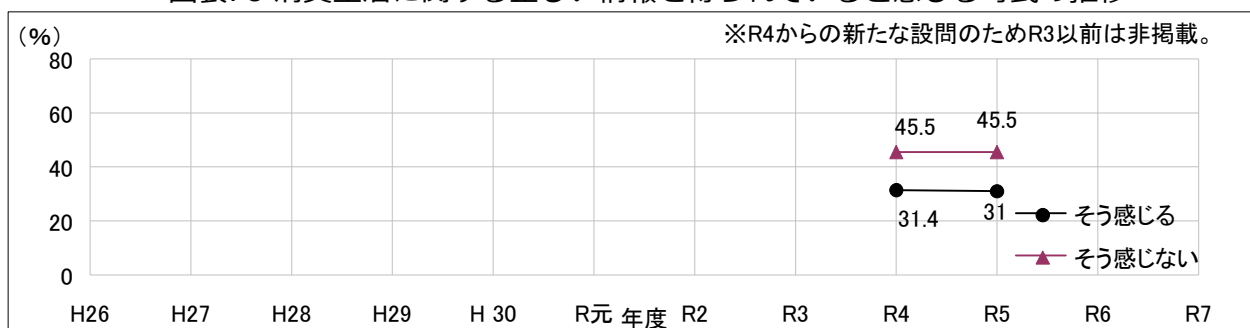
そう感じる 2.8% どちらかといえばそう感じる 28.2%	そう感じない 12.4% どちらかといえばそう感じない 33.1%
-----------------------------------	--------------------------------------

“そう感じる”（31.0%）よりも、“そう感じない”（45.5%）が高い結果となりました。

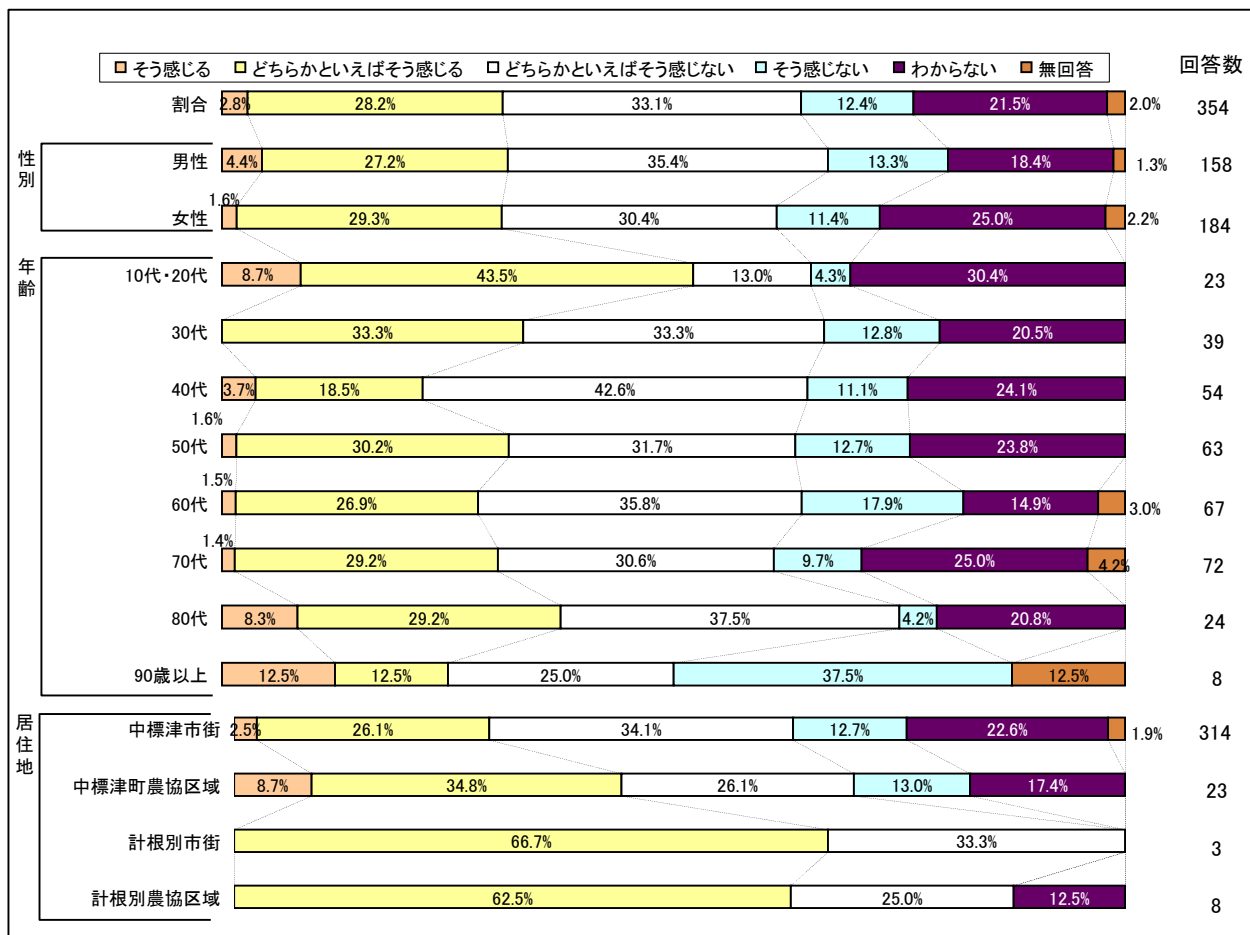
性別では、男性（31.6%）と女性（30.9%）の“そう感じる”割合は同水準の結果となり、年齢別では10代・20代（52.2%）が最も高く、40代（22.2%）が最も低い結果となりました。

居住地別では、計根別市街と計根別農協区域の“そう感じる”割合が比較的高い結果となりました。【図表79】

図表78 消費生活に関する正しい情報を得られていると感じる町民の推移



図表79 消費生活に関する正しい情報を得られているか（全体、性別、年齢、居住地）



問32 日頃から環境問題（温暖化、省エネルギー、ごみ減量等）について意識していますか。

● “意識している”が77.4%、“意識していない”が19.2%。

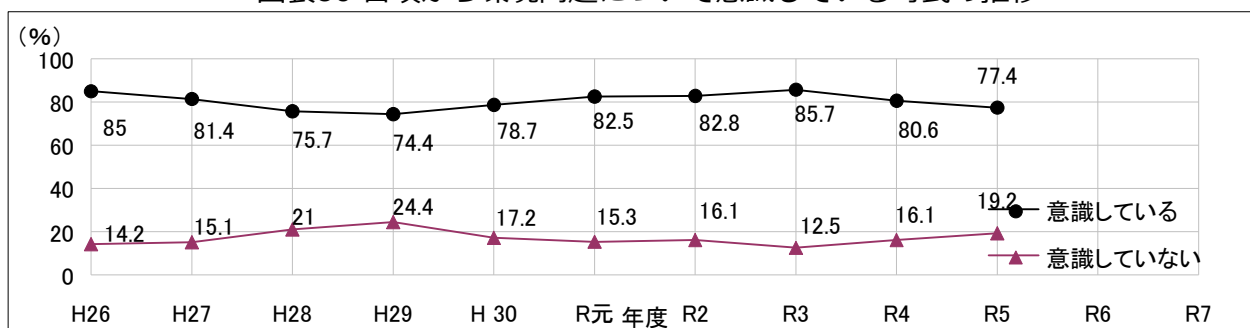
意識している 31.9%	意識していない 6.5%
どちらかといえば意識している 45.5%	どちらかといえば意識していない 12.7%

「意識している」（31.9%）と「どちらかといえば意識している」（45.5%）をあわせた“意識している”人は77.4%となりました。

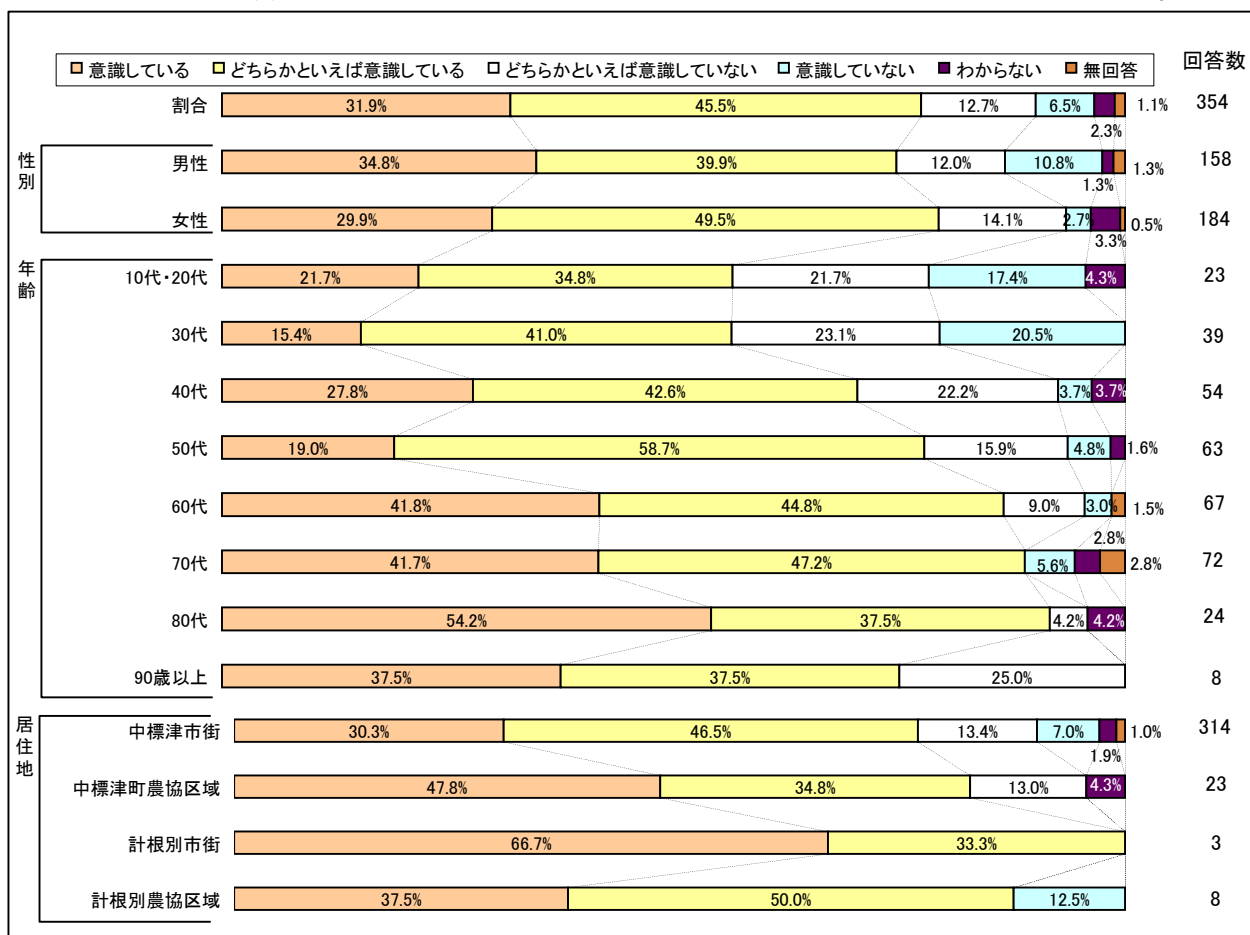
これまでの推移を見ると概ね横ばいで推移していることが分かります。【図表80】

年齢別では、80代（91.7%）が特に高い結果となり、一方で10代・20代（56.5%）、30代（56.4%）では、低い結果となりました。【図表81】

図表80 日頃から環境問題について意識している町民の推移



図表81 日頃から環境問題について意識しているか（全体、性別、年齢、居住地）



問33 3R運動（リデュース：発生抑制、リユース：再使用、リサイクル：再生使用）をしていますか。

● “している”が71.2%、“していない”が18.9%。

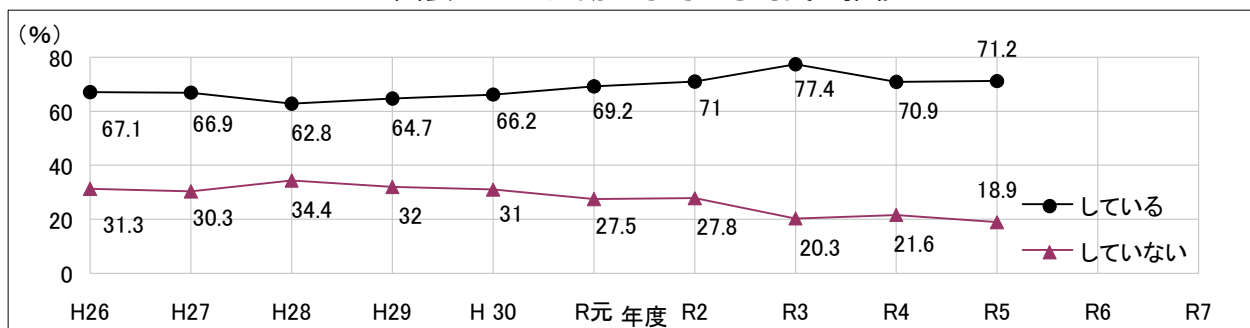
（している 26.3%	（していない 5.6%
どちらかといえばしている 44.9%	どちらかといえばしていない 13.3%

「している」（26.3%）と「どちらかといえばしている」（44.9%）をあわせた“している”人は71.2%となりました。

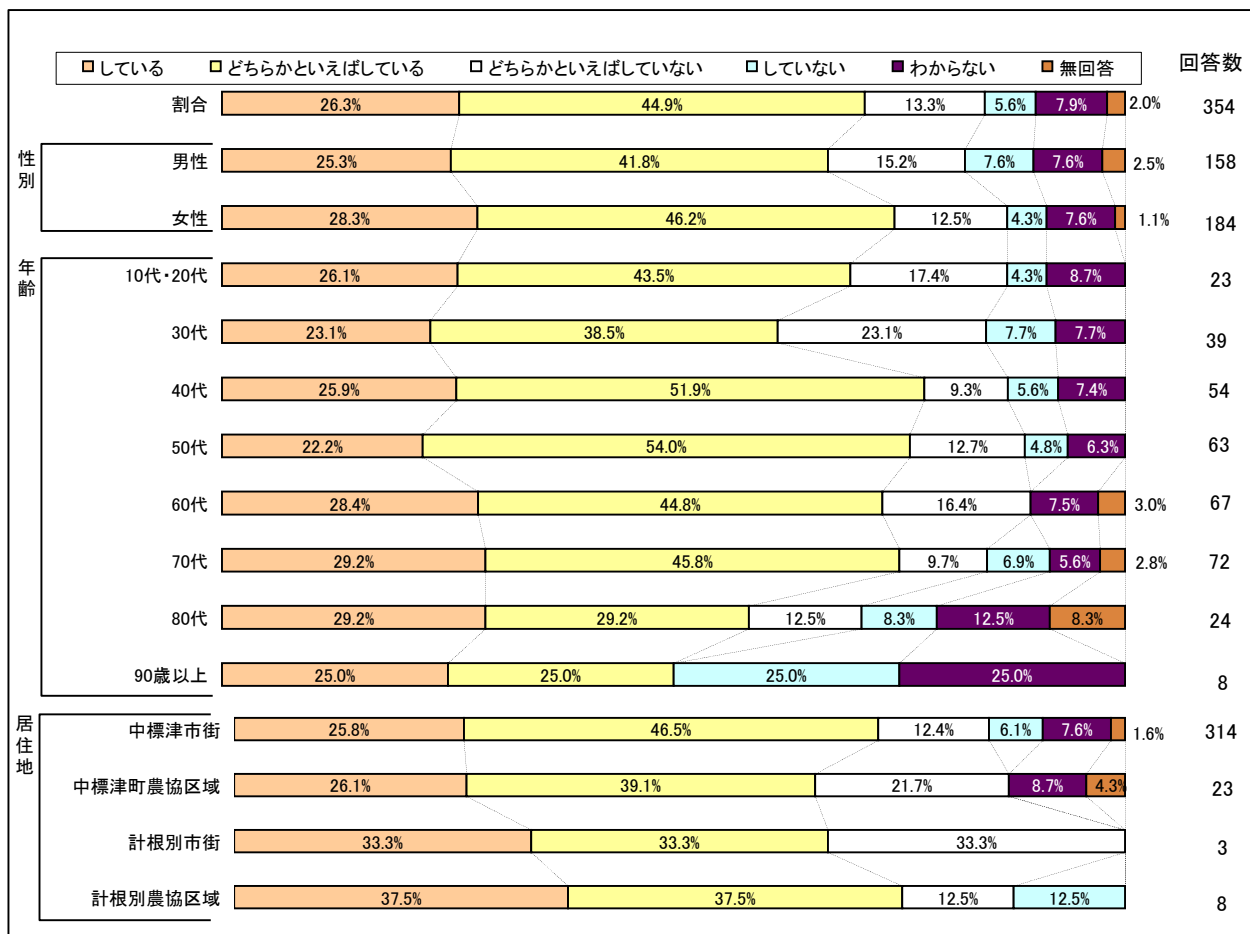
これまでの推移を見ると徐々に増加傾向であることが分かります。【図表82】

年齢別では、40代～70代が他の年代と比較すると“している”割合が高く、居住地別では計根別農協区域（75.0%）で最も高い結果となりました。【図表83】

図表82 3R運動をしている町民の推移



図表83 3R運動をしているか（全体、性別、年齢、居住地）



問34 学校、家庭、地域が一体となって教育活動を進めていると感じますか。

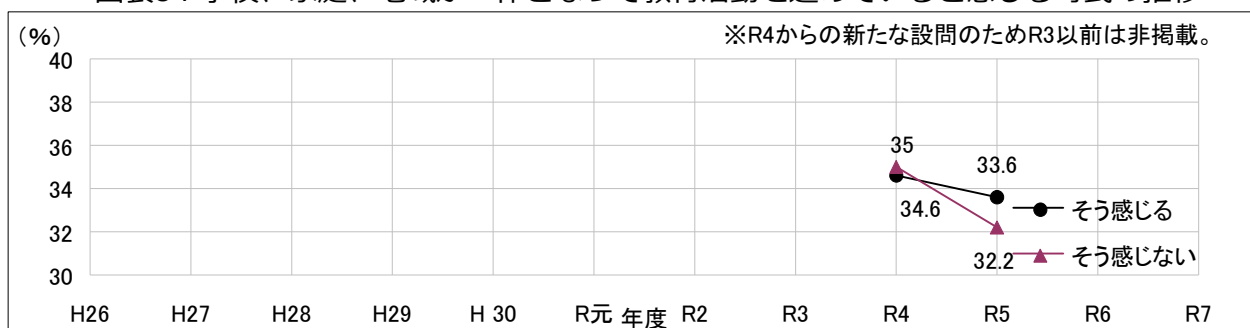
● “そう感じる”が33.6%、“そう感じない”が32.2%。

そう感じる 4.5% どちらかといえばそう感じる 29.1%	していない 8.8% どちらかといえばしていない 23.4%
-----------------------------------	-----------------------------------

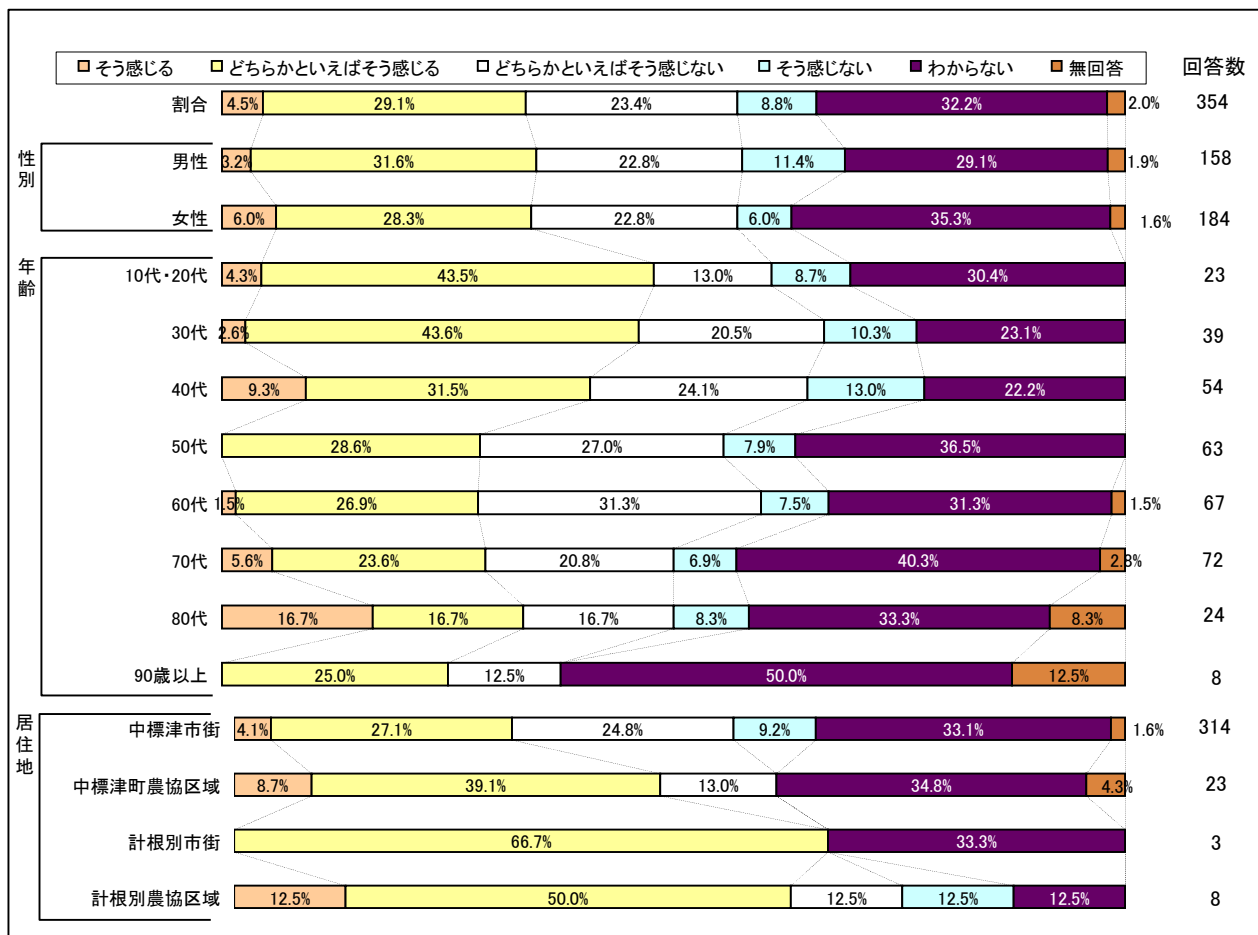
「そう感じる」（4.5%）と「どちらかといえばそう感じる」（29.1%）をあわせた“そう感じる”人は33.6%となりました。

性別では、男性（34.8%）と女性（34.3%）の“そう感じる”割合は同水準の結果となり、年齢別では、10代～20代（47.8%）、30代（46.2%）で特に高い一方、90歳以上（25.0%）で最も低い結果となり、居住地別では中標津市街で最も低い結果となりました。【図表85】

図表84 学校、家庭、地域が一体となって教育活動を進めていると感じる町民の推移



図表85 学校、家庭、地域が一体となって教育活動を進めていると感じるか（全体、性別、年齢、居住地）



問35 らいふまっぷ（生涯学習情報誌）・社会教育施設ホームページに満足していますか。

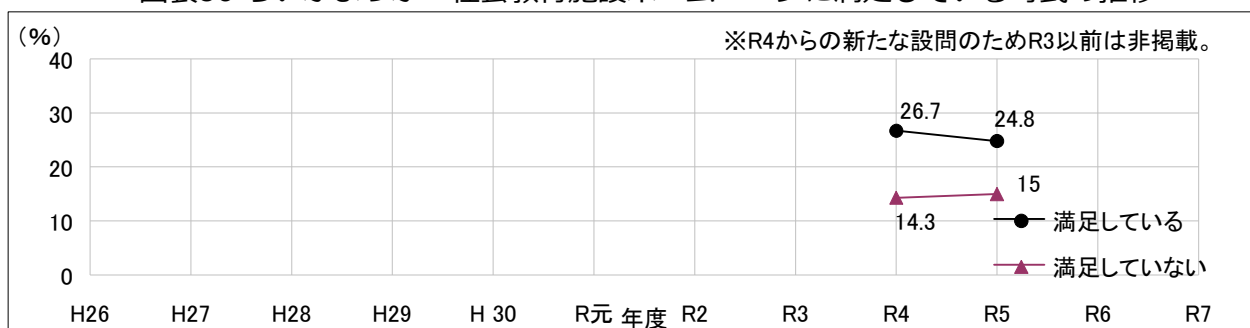
● “満足している”が24.8%、“満足していない”が15.0%。

満足している 6.2%	満足していない 3.4%
どちらかといえば満足している 18.6%	どちらかといえば満足していない 11.6%

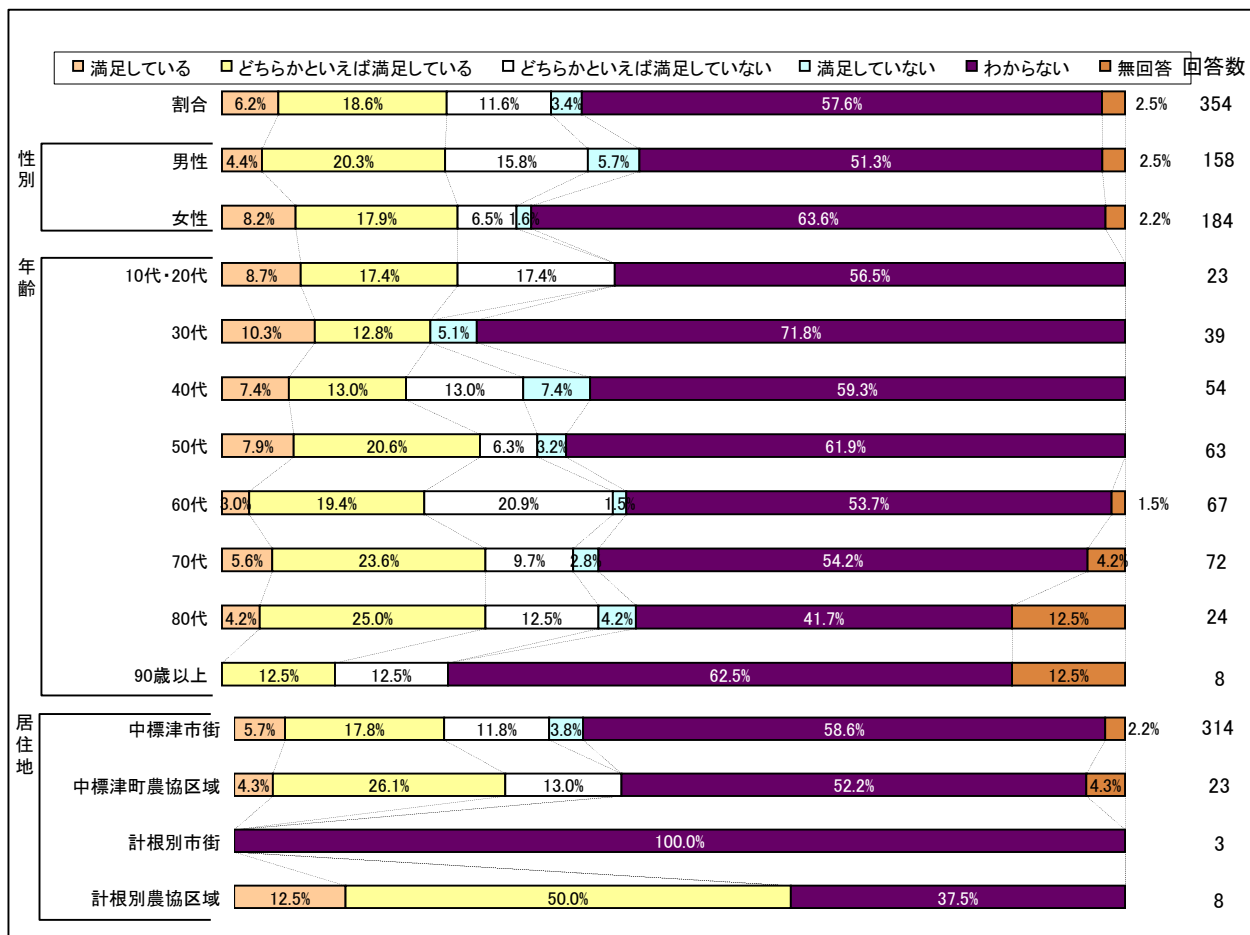
「満足している」（6.2%）と「どちらかといえば満足している」（18.6%）をあわせた“満足している”人は24.8%となりました。また、「わからない」を選んだ方が57.6%と半数以上となる結果となりました。

年齢別では、50代（28.5%）、70代（29.2%）、80代（29.2%）で比較的高くなったほか、居住地別では、計根別農協区域（62.5%）が最も高い結果となりました。【図表87】

図表86 らいふまっぷ・社会教育施設ホームページに満足している町民の推移



図表87 らいふまっぷ・社会教育施設ホームページに満足しているか（全体、性別、年齢、居住地）



問36 生涯学習活動を通して生きがいを感じますか。

※生涯学習活動とは
学校教育、家庭教育、社会教育、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動、企業内教育、趣味等の学習。

● “そう感じる”が31.4%、“そう感じない”が27.7%。

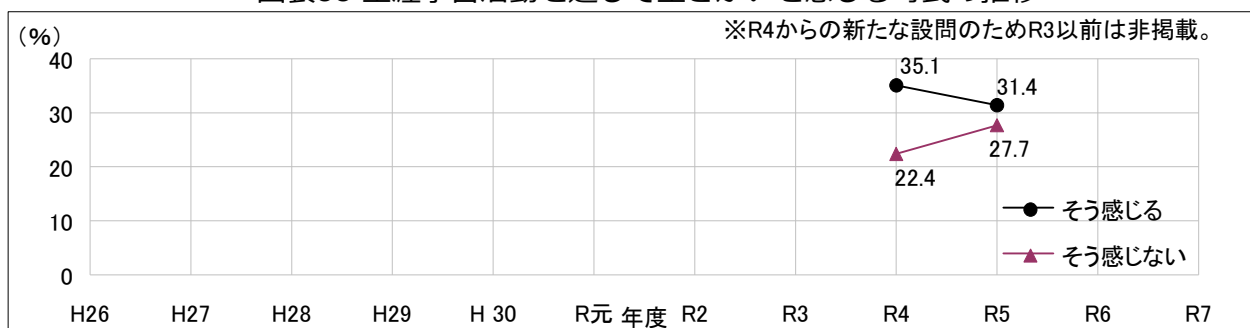
（そう感じる 8.5%
どちらかといえばそう感じる 22.9%）

（そう感じない 10.5%
どちらかといえばそう感じない 17.2%）

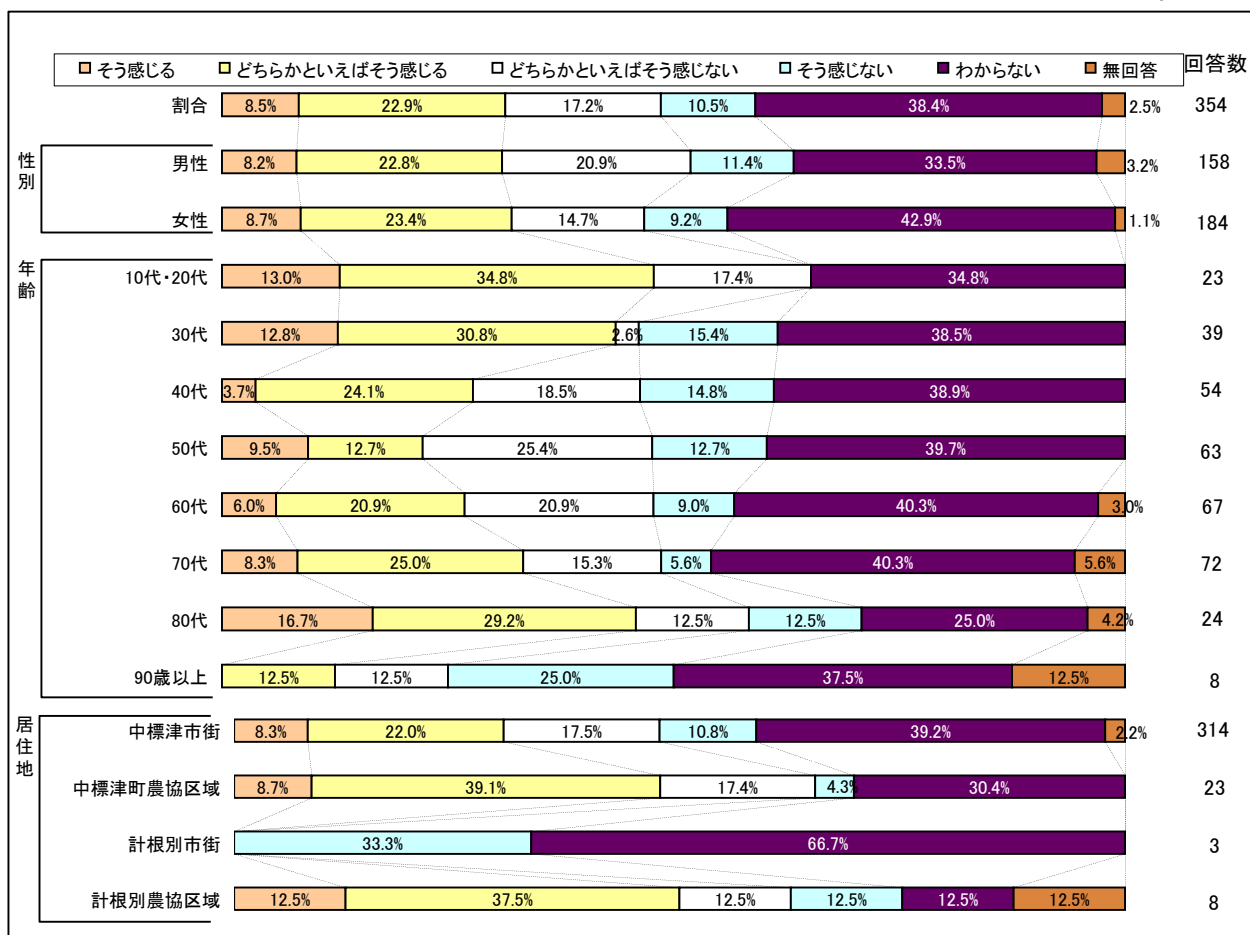
「そう感じる」（8.5%）と「どちらかといえばそう感じる」（22.9%）をあわせた“そう感じる”人は31.4%となりました。

性別では、男性（31.0%）と女性（32.1%）の“そう感じる”割合は同水準の結果となり、年齢別では、10代・20代（47.8%）で最も高くなり、次いで80代（45.9%）となりました。居住地別では、計根別農協区域（50.0%）が最も高い結果となりました。【図表89】

図表88 生涯学習活動を通して生きがいを感じる市民の推移



図表89 生涯学習活動を通して生きがいを感じるか（全体、性別、年齢、居住地）



問37 運動やスポーツに取り組んでいますか。

● “取り組んでいる”が32.0%、“取り組んでいない”が65.3%。

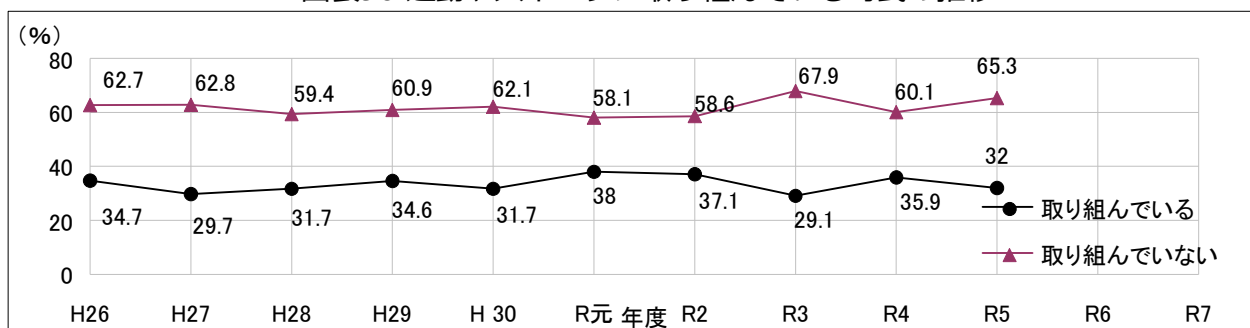
取り組んでいる 15.3%	取り組んでいない 36.2%
どちらかといえば取り組んでいる 16.7%	あまり取り組んでいない 29.1%

「取り組んでいる」（15.3%）と「どちらかといえば取り組んでいる」（16.7%）をあわせた“取り組んでいる”人は32.0%となりました。

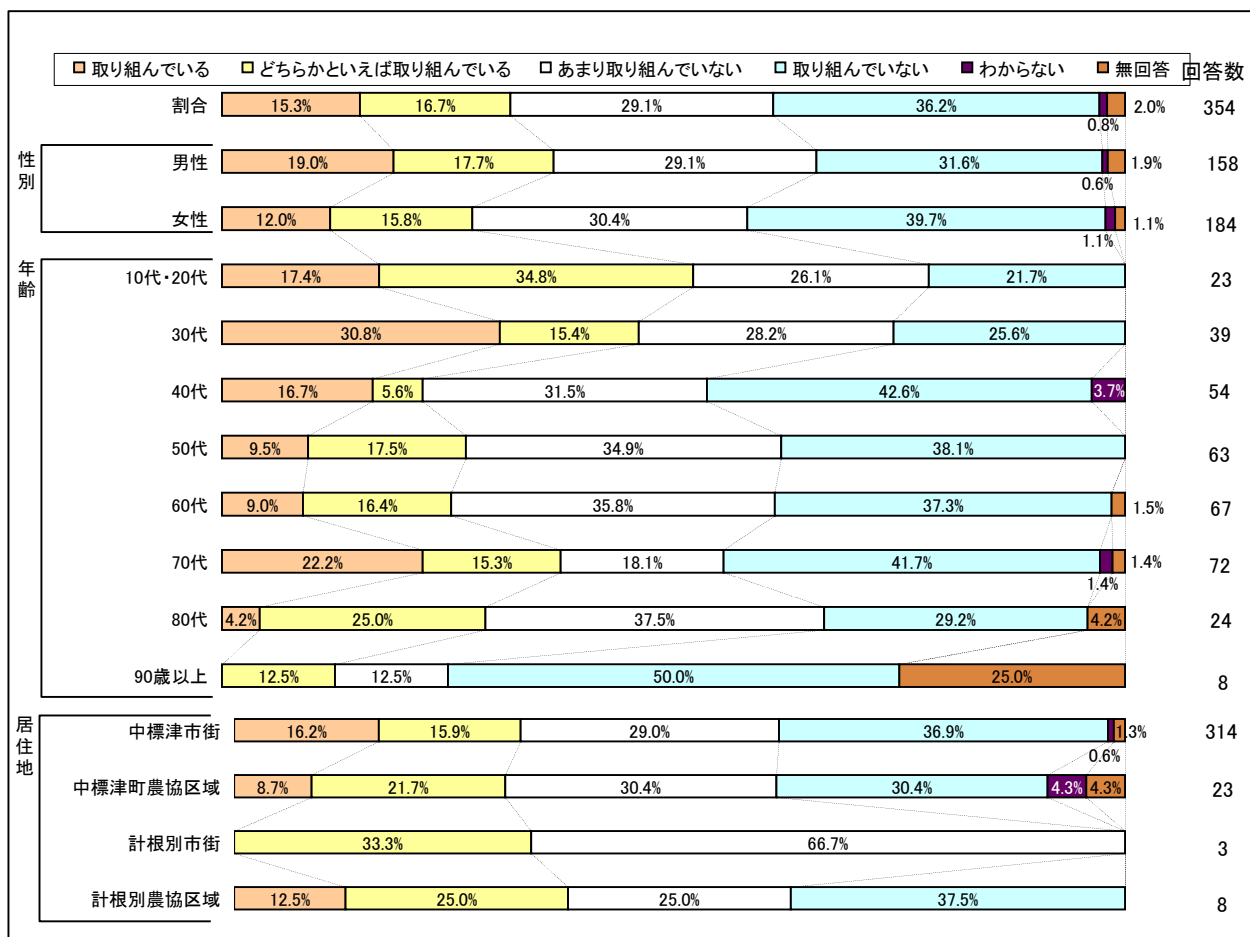
これまでの推移を見ると概ね横ばいで推移していることが分かります。【図表90】

性別では男性（36.7%）が女性（27.8%）よりも高くなり、年齢別では10代・20代（52.2%）が最も高く、次いで30代（46.2%）、対して“取り組んでいる”人が少ない年代は、90歳以上（12.5%）、40代（22.3%）となっています。【図表91】

図表90 運動やスポーツに取り組んでいる町民の推移



図表91 運動やスポーツに取り組んでいるか（全体、性別、年齢、居住地）



問38 文化活動・芸術活動に取り組んでいますか。

● “取り組んでいる”が11.3%、“取り組んでいない”が85.1%。

取り組んでいる 4.0%	取り組んでいない 57.1%
どちらかといえば取り組んでいる 7.3%	あまり取り組んでいない 28.0%

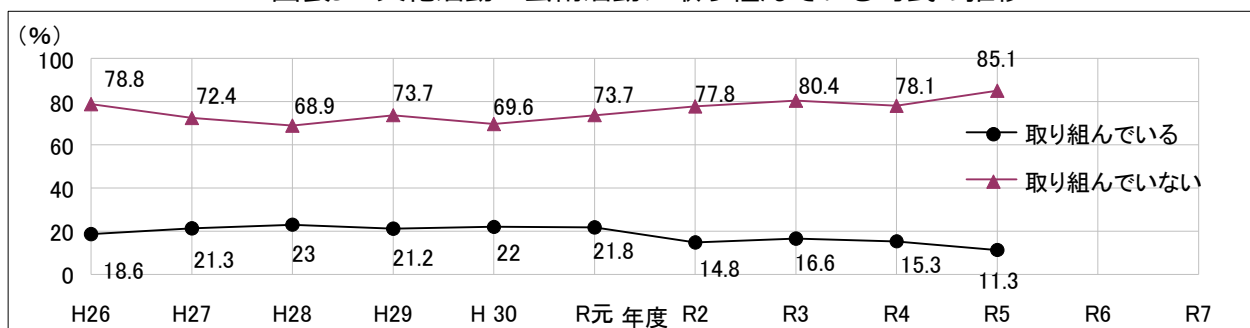
「取り組んでいる」（4.0%）と「どちらかといえば取り組んでいる」（7.3%）をあわせた“取り組んでいる”人は11.3%となりました。

これまでの推移を見るとR2以降低い水準で推移していることが分かります。【図表92】

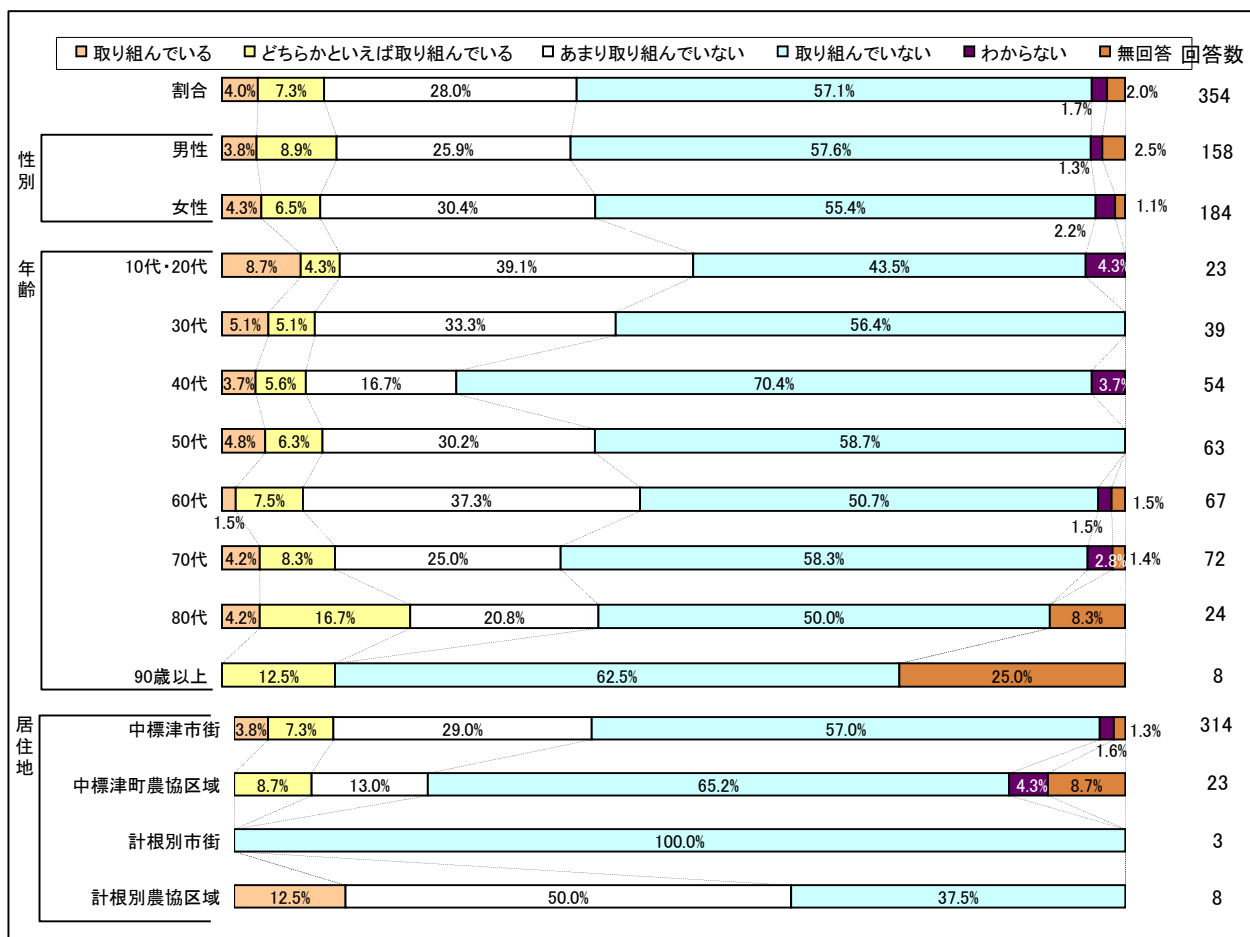
性別では男性（12.7%）が女性（10.8%）より高くなり、年齢別では80代（20.9%）が最も高い結果となりました。居住地別では計根別農協区域（12.5%）が最も高い結果となりました。

【図表93】

図表92 文化活動・芸術活動に取り組んでいる町民の推移



図表93 文化活動・芸術活動に取り組んでいるか（全体、性別、年齢、居住地）



問39 町内に、歴史や自然・文化を後世に伝えていくため、残したいと思うものがありますか。

● “ある”が35.6%、“ない”が35.1%。

ある 15.5%	ない 18.4%
どちらかといえばある 20.1%	どちらかといえばない 16.7%

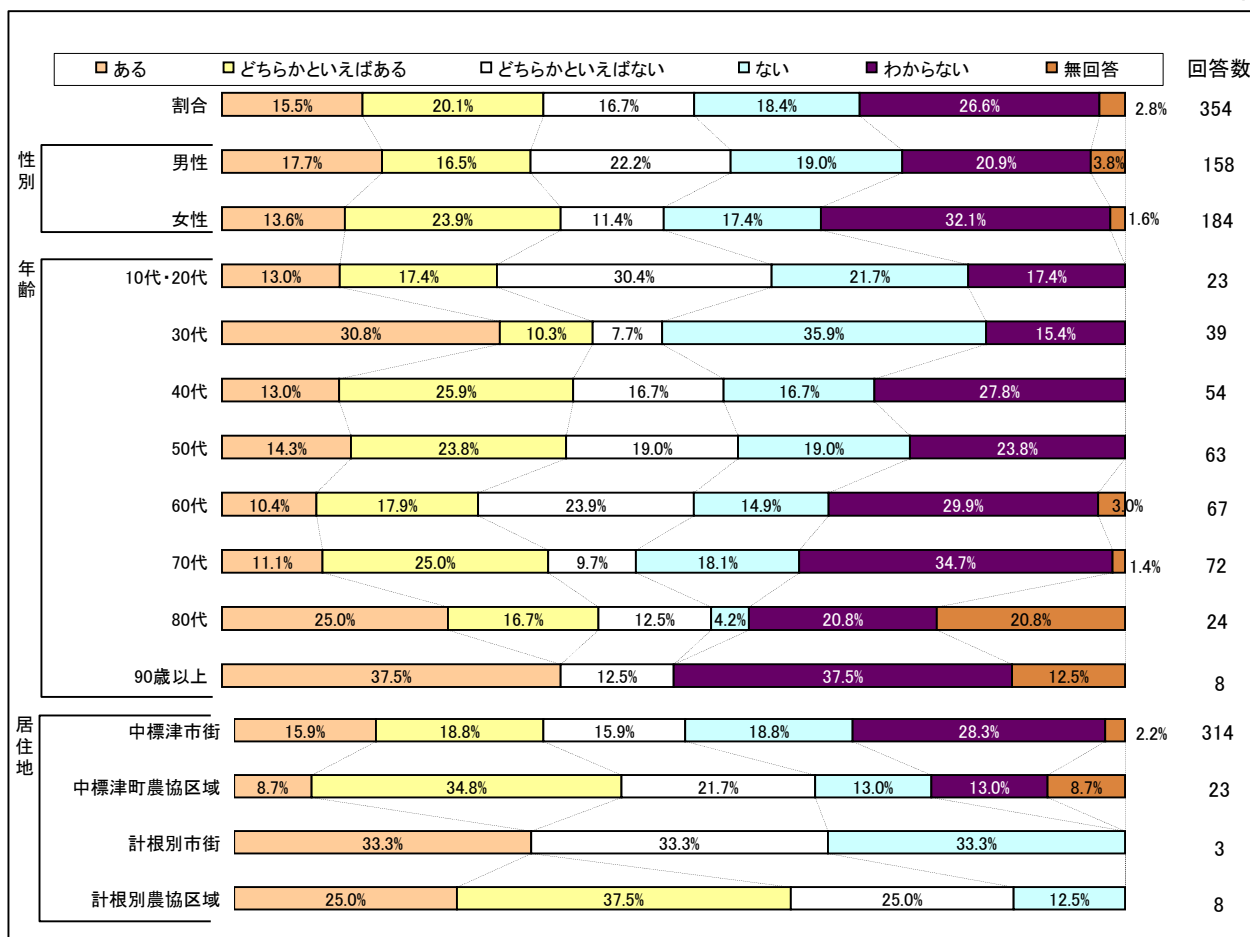
「ある」（15.5%）と「どちらかといえばある」（20.1%）をあわせた“ある”人は35.6%となりました。

性別では男性（34.2%）よりも女性（37.5%）の方が若干高い結果となり、年齢別では80代（41.7%）が最も高く、次いで30代（41.1%）となっています。居住地別では計根別農協区域（62.5%）が最も高い結果となりました。【図表95】

図表94 町内に、歴史や自然・文化を後世に残したいと思うものがある町民の推移



図表95 町内に、歴史や自然・文化を後世に残したいと思うものがあるか（全体、性別、年齢、居住地）



問40 第7期中標津町総合計画では、まちづくりの基本理念として、「住む人がつながるまち」、「そとの人とつながるまち」、「しごとがにつながるまち」、「まわりの自治体とつながるまち」の4項目を掲げ、具体的な目標として下記を設定しました。それぞれについてあなたが感じる町の達成度合いをお聞かせください。

【目標1】町民・団体・企業・行政の協働

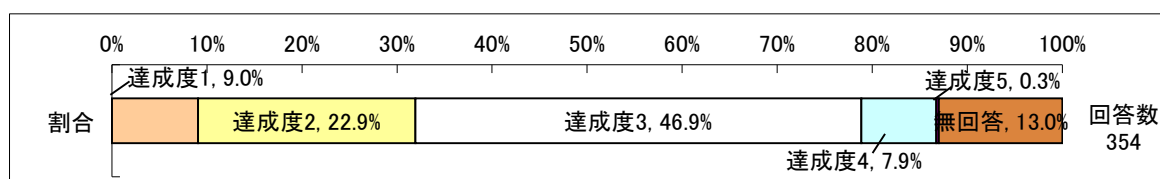
⇒町民・団体・企業・行政など、あらゆる主体が対話・連携によりお互いを補い合う協働のまちづくりを進めます。

平均達成度

2.6

図表96 横断的目標1の達成度

※達成度:1(低い)~5(高い)



【目標2】関係人口・交流人口の拡大

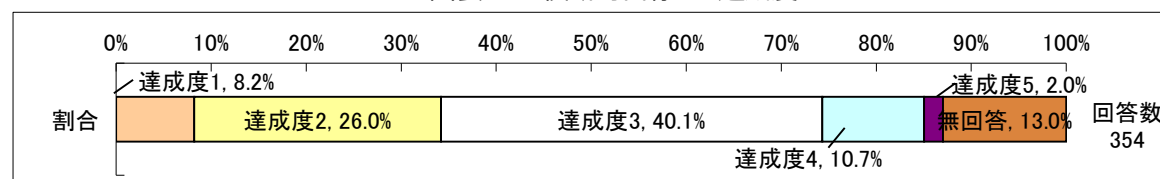
⇒より多くの人が集まり、関わり、交流する賑わいのあるまちづくりを進めます。

平均達成度

2.7

図表97 横断的目標2の達成度

※達成度:1(低い)~5(高い)



【目標3】横断的連携の強化

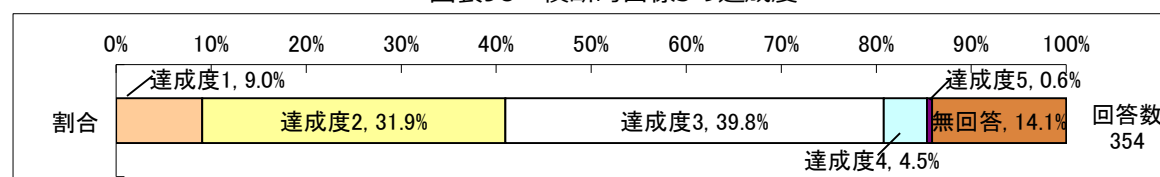
⇒あらゆる主体や行政組織がそれぞれの分野・固定概念に縛られず、垣根を超えた効果的・効率的な連携により町の活性化につながるまちづくりを進めます。

平均達成度

2.5

図表98 横断的目標3の達成度

※達成度:1(低い)~5(高い)



【目標4】広域連携の強化

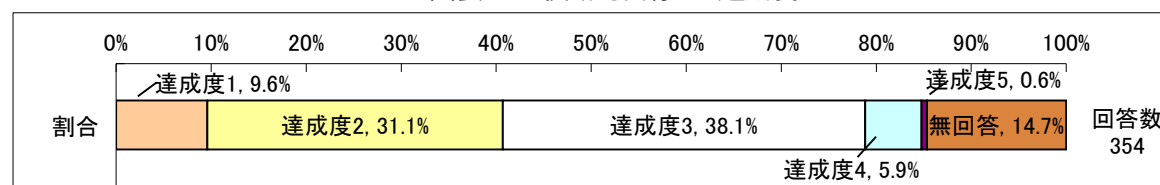
⇒近隣自治体等との広域連携を強化し、広域的な活性化や町単独では対応できない課題へ対応するまちづくりを進めます。

平均達成度

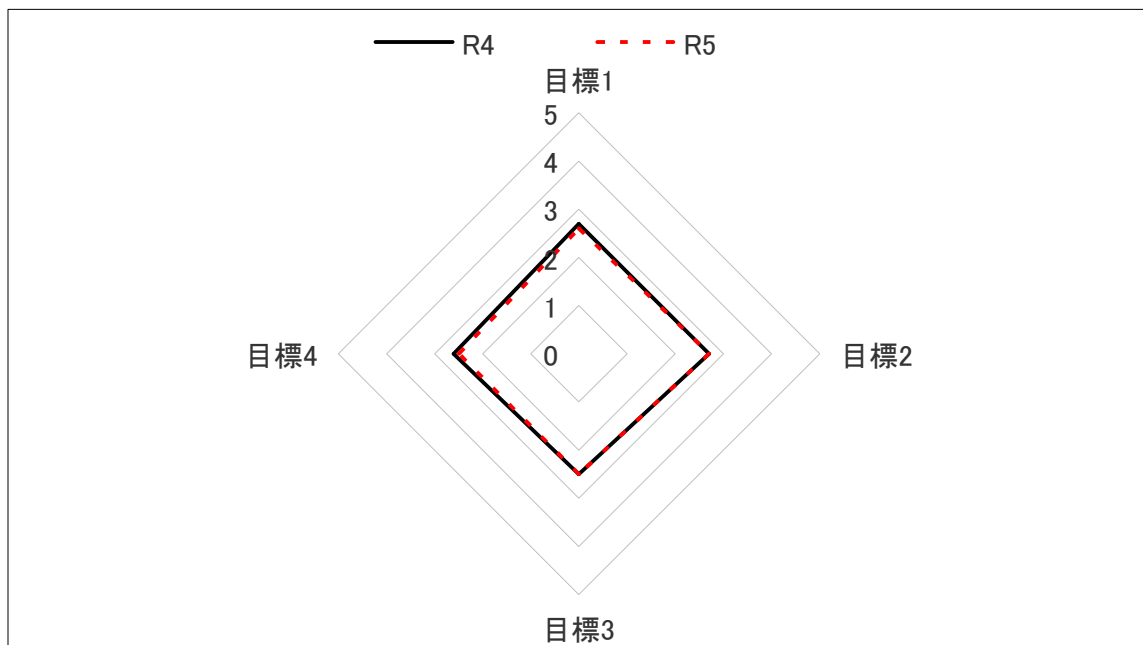
2.5

図表99 横断的目標4の達成度

※達成度:1(低い)~5(高い)



図表100 横断的目標の平均達成度の推移



Ⅲ まちづくり町民アンケート自由意見

1 町の行政に望むことやまちづくりについての自由記述

(1) 自由記述の記入状況

問 あなたの生活で現在もしくは将来に向けて町の行政に望むことやまちづくりについて、ご意見などがございましたらご自由にお書きください。

自由記述に意見等を記入した人は、81人で、回答者（354人）に対する記入率は、22.9%となりました。

集約した意見を「行財政分野」「健康・福祉・子育て分野」「経済・産業分野」「都市基盤・生活環境分野」「教育・文化分野」の5つの分野で区分し、まとめる
と次のとおりとなります。【図表101】

図表101 自由記述一覧

分野	性別	年齢	意見集約
行財政分野	男性	30歳代	財政が厳しいのであれば遊んでいる町有地の活用や売却を進めて税収を増やしていけばどうでしょうか？又、空家も活用促進か解体を進めていくことで税収増と地域活性化していくと思います。
			老人ばかり住みやすい町づくりしているせいか、子供と若い人には貢献されてない気がする。税金が高くなるばかりで住みにくいと思ってる。なんとなく中標津町に良いイメージの未来図がうかばない。
			計画や目標で終わるのではなく実績を出してほしい。お金がないからと必要費を出さず、結果も出ない、という状態から卒業してほしい。どういう成果目標で、どれだけ利益があって、どれだけの先行投資が必要なのか精査して、必要な経費の捻出はあって当たり前。今の時代は情報社会であり、最新と思っていたことが、もう数代前の話、という状況である。これからよい町づくりをしたいのであれば積極的に新しいものに取り組んでいく姿勢、実態が重要である。公務員思考ではなく、民間の経営ノウハウを取り入れる必要がある。新卒職員を数人雇うよりも、当該ノウハウがある人材を多少高額でも引っばってきて、体質改善すべきである。
		40歳代	まず役場内の横の連携をしっかりと行ってほしい。昨年、ある部署に問い合わせたところ「担当じゃないのでわかりません」の一言で終わらせられた。その部署の案件であるためもう少し寄り添った対応をするべき。「担当ではないですが、お調べするのでお待ちください」とか「調べて掛けなおします」と返答できないのか。仕事ができない人の方が多いイメージ。何でも人任せ。業者任せ。物を知らない。本当に町民のことを思って仕事しているのか疑問に思う。おそらく与えられた仕事しかできないんでしょうね。新しい物を作ろうと(企画力)する能力がある方は一部なのかな……。あとは部下を教育できない上司とか……。なので、期待はほとんど持てないと思ってます。今後、有能な職員が多くなるよう教育をしっかりとすることを望みます。民間企業の若い職員の方がマナーも接客も対応も良い。
			生活の上で困った事が無ければ行政の活動に興味を持つ事はありませんので普段意識していない私には答えにくい質問が多かったです。お役に立てず申し訳ありません。
		50歳代	多くの町が人口が少なくなる中、中標津町は増えてると聞いた。農業が中心の町ですが、空港もあり、道東地区(根室管内)では中心的な町には間違いない。その割には、住みやすい町(中標津)かと聞かれたら、「まあまあ」としか言えない。もっと自信を持って「良い町」って言えるような中標津になってほしい。
			大雑把ですが、また、私自身に何か建設的な意見がある訳ではないのですが、中長期的に将来をながめてみると日本全体の人口減少と、それによる地域の過疎化が大変危惧されます。中標津町も例外ではありません。このような半ば悲観的な将来を得ない将来に対し、地域の産業、個々人の仕事、地域の文化、教育、医療などをどうやって成立させていくか？人口減少が避けられないならば、それを絶対的な条件として、我々の未来を考えていかなければならないのかなと思います。
			望んでも実現するしないどころか先に進まない感が満載なので夢や希望も持てません。

行財政分野	男性	60歳代	今回の第7期とは何年間のスパンなのでしょうか？町民の幸福感、豊かさを追求することが重要と思います。町民の為に思ったと思うような内容にしてほしいと思いますので、難しいですが、建物や形にこだわらない進め方がベターと考えます。町民ファーストが原則なので忘れないでください。高い空から全体を見てください。見えてくると思います。
		70歳代	財政を豊か(収入増)にして美しく皆が楽しめるような町になってほしい。町立病院は以前よりは良くなっているが、まだ十分とは言えない。(医師によりけり)330マラソンが中止となったがなぜ!?定着してマラソン人口も増えたが長続きしない一輪車マラソンもそうだったが、継続する事が大事だと思います。質問が、いつ、どこで、だれが、なにを、なぜ、どのように、に責任者を頭の隅に入れたアンケートになるとより良くなるでしょうね。
	女性	10歳代・20歳代	まだ学生なのでわからないことが多くて申し訳ありません。職業が決まっています社会に出た事がある人じゃないときちんと答えられないような気がしました。 ふるさと納税の強化は力を入れられる箇所であると感じます。
		40歳代	役場の職員さん。頑張ってくれる人はいるけど、てきとーな人は、本当にてきとーで、時々イラつかます。仕事だから、もうちょっと、せめて窓口混んでいない時くらい、じいちゃんばあちゃんに笑ってあげて欲しいと、ハタで見ていて思いました。学校卒業してそのまま役場勤務だから、サービス業がわからないのかな…。必要とも思っていないのかなと思う。(特に若い人)
		50歳代	ふるさと納税推進して税収UPしてほしい。潤沢な資金のある管内の市町村がうらやましい。 (自分の)発想が乏しいため、行政の方、他の方に任せきりで申し訳ないです。よりよい町づくりへの協力はしていきたいと思います。
			町の行政からの発信もあるとは思いますが、個人に興味があれば広がりには難しいのではないかと思います。実際自分も関心がある事を調べてみてはじめて発信している事に気づけた事もあります。自分もこの町に関してまだまだ知らない事が多いのだと思います。自分も関心も持つべきだと思いますし、調べたくなるような、知りたくなるような情報がたくさんこの先あったら良いなと思います。
			森林公園をグランピングにして、町外から人が沢山来れるようにしてほしい。
		60歳代	中標津町は、羅臼、標津、別海に囲まれてすごく集まりやすい町なのに、何もこれとてない町に思います。すごくもったいない町のような気がします。 行政機関が相談しやすい感じがしない。少子化問題や移住者受け入れ等に成功している町を参考に魅力ある町としてピーアールが足りない。ふるさと納税の返礼品も魅力無し。一部の所だけで盛り上がり、もっと町民一人一人の意見を聞くべき。
		70歳代	高齢者にとってはパークゴルフ場の利用料が他町(別海・標津)に比べて高額に思います。
	無回答	30歳代	若者の意見を聞き、まちづくりに取り入れてください。これからを造るのは若い人達です。若者の住みやすい町にしてください。
健康・福祉・子育て分野	男性	10歳代・20歳代	保育園等を増やして欲しい。子どもの預かれる年齢を下げて欲しい。病院の待ち時間の長さ。道路整備。
		30歳代	子どもの医療費無償化。中長期のビジョンが大切になると思う。比較的、若い人口が多いと思うから子育てなどに力を入れるのか、酪農等の産業に力を入れるのか。個人的には周辺の町からどんどん移住してもらい人口を増やす。そして医療と子育てに力を入れるのが良いと思う。保育、幼稚園は不足するかもしれないから、ベビーシッターなども補助金とかあると良い。 病院がもう少し多くなる、または殿様商売がなくなることになれば、より良い街に近づくと思います。釧路、苫小牧、札幌と住んできましたがここはとてもいい街で永住したいくらいです。ただし、上記の理由がひっかかる所で残念です。
		40歳代	別海町、標津町に比べて子育て世帯に対する制度が乏しい。低所得者 非課税でなくても、収入の厳しい家はある。みらいるなどで 無償で塾のような勉強を受けられる環境をつくっていただきたい。
		50歳代	光熱費、物価高が厳しいです。 総合病院が町立病院しかないにも関わらず、土日は休診、平日受診も長時間を要するなど、一番必要かつ重要な箇所の整備が全くなっていない。
		70歳代	高齢者対策…施設状況がみえない？私だけですか？ 富澤医院が町立病院に間借りして治療している件について、なぜなのか説明していない！廃業した個人の医者が町立病院でなぜ治療しているか理由を聞きたい。
		10歳代・20歳代	隣町(別海)から引っ越してきて、買い物は充実して行っているが、子供の医療費が3歳からかかること等いろいろ違いがわかってからお金の無い町、育児をするにはあまり良い町では無いと感じました。出張医にお金をかけすぎ。患者としては出張医ばかりで不安しかない医療体制だと思う。別海、標津と隣町から見ると一見充実してそうな町だが住んでみると全然違ってガッカリした。
	女性	30歳代	精神障がい者です。町立病院では診てもらえず、現在バスで大塚毛まで通院しています。バス料金も時間もかかり不便です。障がい者が働ける所を増やしてほしいです。A型作業所が増えると嬉しいです。現在グループホームに入所していますが、住んでいてとても快適です。 児童館で給食を出してほしい。(夏休みなどの昼食)開始時間を7:45～にしてほしい。 子供の医療費無償化を実現してほしい。別海、標津、川北との差があり、そこは住みづらい町と考えられる。 子どもに優しい町にして欲しい。保育料の減額や出産した時の手当を拡充して欲しい。企業の誘致などをして町に活気を出して欲しい。
		40歳代	介護サービスの充実。・高齢者へのサービス。 生活保護受けている人に「それっぽちの稼ぎで毎日働くなんて私には絶対ムリ。」と笑われたり、知り合いに「子供がいない夫婦なんて意味がない。」とか親に「夫婦で働いているから金あるんだろ。将来兄弟の生活をしろ。そんな金ないだろ？お前は金の事しか言わないのか」と言われたり…。この町はこういう人が多いのか、将来は札幌とか行って人付き合いを無くしたい。(あと、私ではないけど)男性からのマタハラより女性からのマタハラの方がキツイと思ってる。

健康・福祉・子育て分野	女性	40歳代	子どもの医療費見直し。子ども手当見直し。
		50歳代	高齢者に対する活動、情報、生きがいを感じられるような取り組みをお願いしたいです。 高齢者、独居老人などが安心して住める町づくりに引き続き期待したいです。困った時にどこに連絡をしたら良いのか独り身が(老人含む)分かりやすく一覧表などがあれば良いと思います。対応可能な時間なども記載があれば良いと思います。
		60歳代	①老人に対して福祉のよりいっそうの努力をしてほしいと思います。なぜなら子どもは両親がいて見守られているけれども、老人に対してはあまりそういう感じがしない。②老人が年金暮らしでも生活できる施設等を作ってほしい。(実際に他の隣町などにはあり、安心できる環境が整えられているので、うらやましいと思います。)③私の母親や昭和一けたの老人は、年金はたった7万円弱で暮らせません。(1月3万5000円くらいです)たとえば国で補助金を出された時も、同居しているともらえないので、とても残念がっています。全員に渡してもらいたいです。④他の町では、いろいろな恩恵があると聞きますが、中標津町はあまりになさすぎだと思います。たとえば別海町には施設も充実しているし、牛乳やタクシー券、入浴券などももらえます。という事は町民にやさしいという事です。★若い頃は年老いていく事は身近に感じませんが、必ずやってきます。より一層の福祉充実を願います。
		70歳代	そうですね、やっぱり病院ですか。釧路まで通うのもなかなか大変なので、午後からも診療できないでしょうか!!先生方も大変だと思いますが、年寄りはやはり地元の病院にかかりますね。何とかならないものでしょうか。人手不足は十分わかっていますが・・・。 老々家庭になり、何かしらの病気を抱えると家の周りの草刈り、除雪など、肉体的に大変になり、毎度、ご近所さんをお願いするもご近所さんも同年代になってきていって増々頼みづらい。それを業者に頼むとなると年金生活では大変。今住んでいる所で自分の力で住み続ける事は困難になる。少しでも行政からの力があればもう少し住み慣れたこの地で頑張れるかなと思います。冬がくるのが怖いですね。
		無回答	60歳代 60代も半ばになり、年金生活の今、いつ福祉(介護)の世になるか分かりません。希望者が虐待のない施設、金銭的に誰も困らないで入居できる施設があれば良いと思います。 70歳代 病院医師問題。中標津町にはペットを飼っている人が多いのにドッグランがないため、釧路・帯広まで行く人が多い。散歩中に思う事は、役場方面などの方向が色々整備されている。道路もこんな所なおさなくても良いと思う所が整備されている。とにかく行政・町議の役員が多く、さほど仕事をしていない。減らすべきです。税金が高い。病院。患者の立場になって話をしてほしい。パソコンを見て顔を見ず、話して終わり、これでは患者も納得しません。富田(整形)元医師をもう一度町立、整形に呼んで欲しい。じっくり話をきいてくれて説明も腕も最高です。皆さんが言ってる事を代弁します。
経済・産業分野	男性	10歳代・20歳代	映画館が欲しいです。(昔の映画の上映だけでも可)ジョゼッペ・トルナトーレ監督の「ニュー・シネマ・パラダイス」のような町の人が全員楽しめる映画館。
		40歳代	中標津は酪農業が主な産業だと認識しているので、最近新聞等で飼料高騰等で酪農業の人達の苦境がよく記事になっているので、町独自の政策として酪農業の人達のサポートをしてほしいです(ふるさと納税で中標津ブランドの乳製品を返礼品にする等)。
		50歳代	この町は臭いです。周辺の酪農家へ対策をして下さい。
		60歳代	ふるさと納税をもっと充実させると良いのでは？海がなくても海産物をふるさと納税につかっている町もある。参考にしては？まちの駅があると良いと思う。
	女性	30歳代	問21にも書きましたが、これほど美味しい食材がたくさんあるのに、活かしきれていないように感じます。中標津産の乳製品をブランド化して、おいしいものを作って欲しいです。多少高くても、おいしいバターで作ったクロワッサンやケーキ、観光客にもヒットすると思います。東京駅にあるエレシバターを使ったクロワッサンやフィナンシェ、高いけど行列してみんな買っています。本物を求める方のニーズを逃していると思いますよ。あと外国人を誘致する方向で進んでいるようですが、日本各地でマナーを守れない等のトラブルが発生しています。今後、中標津町でもそうならないよう、心配しています。日本人の子育て世帯等、自然の中で子育てしたい人をターゲットにしてはいいかでしょうか？自分にも小3と2歳の子どがいる、自然観察等が大好きです。郷土資料館で時々観察会等やっているようですが、平日で参加できないのが残念です。子ども向けの自然クラブを作って欲しいです！給食が添加物多すぎるように感じます。人手が少なく大変かもしれませんが、地のものを体にやさしい味付けで作って欲しい！ 地元の食品がもっと身近に感じるようになったらいいのではないかなと思います。商品は結構出てくると思うのですが、値段が高すぎて買うのをやめられてしまうのはもったいないです。健康意識が高まれば食材の選び方や買い方は変わってくると思うのです。東武さんでは添加物の表示などについて書いてくれて良いとは思いますが、個人的にはお茶のセレクトショップとかふえてほしいです。 子育て支援をもっと増やしてほしい。町内での娯楽が増えて欲しい。(映画館やボーリング場等)1か所24H営業の店があって欲しい。(トライアルやドンキホーテの様な)道の整備をしてほしい。(砂利道?)町が運営するドッグランがあって欲しい。焼肉店やそば屋ばかりなので、もっと気軽に行けるファミレスの様な飲食店が欲しい。若者や子供が楽しめるショップや施設があるといい。
		50歳代	“中標津”の名産が少ない。地方の知人などにお土産になる物が無い、近隣の“標津”や“別海”と名前の付いた物になってしまってる。道の駅があればいいと思う。 ・道の駅を作るなど(地場産品の流通)・学校関係拡大(人口増加)・イベントの見直し(観光などの充実)・高齢者に対しては利便、安全、生きがいなど考える事が町の将来につながると思います。
		60歳代	隣町へ行かなくても町内で働ける場所が多くなるといいなと思う。 ・何故中標津に道の駅ができないのか?!道内や道外の友人によく聞かれる。中標津って何もないよね。開陽台と東武しか・・・。・中標津にも合同墓場を作ってほしい。これからの時代はお墓はあまり必要なくなると思う。子供も中標津に残る人も少なくなると、友人とかも墓じまいする人、多いです。・中標津の特産品も無いし、くまもんみたいなキャラクターもないし、よく中標津に遊びに来た人が会社の人とかにお土産買いたいと思っても、何もない。標津羊羹は中標津羊羹って名前じゃないから買っていない。今、農家の人達大変で離農が多い。牛乳いっぱいしぼって、何か中標津名産を作ってください。何もないからね。・今のこの時期仕方ないけど町中のくさい臭いどうにかしてほしい。(臭くて住みたくないって別海に住んでいる人いる。同じだと思うけど。)十勝とかでくさい肥料とか使ってるのか・・・。中標津も頼みます。

経済・産業分野	女性	60歳代	人手不足があらゆる所で聞きます。外国人の方を町としても、もっともっと良い方向に受け入れさせてもらって、働きやすいな～、住みやすいな～、といった風に思ってもらえるように工夫して欲しいと思います。これから先も、今の子ども達が中標津はいい町だなと誇れるような町に!!変ないじめなどがなくなれば!!自殺率が高い町だと聞きました!!信じられないけど、何か問題があるのでは？ 私たち酪農家は国からの補助金を受けながらも自粛規制の多い1年1年を過ごし、牛たちの調整などをしながら生活しています。ウクライナとロシアの戦争がここまで影響があるのかと思わなければなりません。早期終末が望まれます。又コロナ禍の影響も「大」です。しかし、後継者問題や規模拡大など、JAと色々検討していますが、どうぞ町の中でもこのことを踏まえ、話題を深めて欲しいと思います。又、中標津ゴーダーチーズは大変重要な地産地消物産です。どうぞ絶やさぬよう、一押しで続けていただきたいと思います。もう一つ、酪農家の中でも心の痛みや介護関係で悩んでいる方が多いです。その受け皿があれば、幸いと思います。中標津のためお働き下さり感謝します。中標津我郷里大好きです。 観光へのポテンシャルをもっと生かすべき。外から来たお客様にどこかある？と聞かれた時、開陽台しか答えられないです…。もっと行政が民間と協力し、鶴居や標茶町のような未来ある観光、地域の自然、魅力を生かしたスポットを開発していくべきだと思います。中標津空港の有効利用のため、より乗りやすい航空会社路線ができるよう努力して欲しいです。(せめてエアドゥが入ってくれば)
		10歳代・20歳代	保健所の横にあるテニスコート、昔は使われていたみたいですが今は草が生えていて使われていないのが勿体無いと思います。土地が個人のものでないならば使えるようにして欲しいです。
都市基盤・生活環境分野	男性	30歳代	ほかの市町村との子育て支援など差が欲しい。町道には止まれの看板が無いところが多くて子供が危険な目に遭うこともあるのももっと増やして欲しい。
		40歳代	難しいとは思いますがゴミのポイ捨てや不法投棄の問題。コンビニ等、たくさんあり便利だと思いますが時として袋にごちゃごちゃ入ったものが畑や敷地内に捨てられ非常に苛立ちを感じます。郊外の交差点の木や草の処理。コンビニやドラッグストアの似たような店舗より業務用スーパー等があればとは思いますが。冬の郊外の道路の日当たりの確保、木の枝の伐採等 郊外に住む者としては車はなくてはならない物なので高齢者のアクセル、ブレーキの踏み間違いはなんとかならないかと思っています。
		50歳代	いまのところ、私の生活上で行政に望むことは特にありませんが、未来へ向けて町の環境保全をお願いしたい。
		70歳代	①別海、標津に比較し、町民の恩恵が全くない。②近頃、道路の傷みが激しいまま放置されている。③道路標示が消えたまま危険。センターラインさえ。④除雪が片側しかしない箇所がある。(西町郵便局北側)⑤町内会の回覧板に内容がないのに毎週のように来る。町で回覧板用のお知らせを作るべき。⑥マイナンバーカードの実際の使用可否の現状が知られてない。⑦町会議員と町内会長の兼任禁止は変えるべき、どちらも成り手不足なのだから。⑧昔あった、条・丁・目の標示が欲しい。やめたのなら撤去すべき。何も見えないまま。⑨交流人口増というが、正月休暇に全国から家族が来るが、この間スケートリンク以外、公共施設は閉鎖されていて、楽しむ所がなく不評です。発想を転換し、人が来くなる条件整備を。 道路の補修をお願いします。 運転免許の返納の時が近づいていますが、その先の道標が未解決です。不安が解消するまで、年齢の進捗状況を一時停止して下さい。
		80歳代	中標津の未来。元体育館から標津川沿いに雪印工場の下の方まで桜並木ができれば中標津町としては最高と思う。一例でも良いからぜひ実現してほしい。町の人が楽しめる町のできるのを心から待っています。町長さん、町議さんよろしくお願い致します。
		30歳代	知床の玄関口として、観光業を推進していく観点から、豊かな自然景観を損なうソーラーパネルの設置は避けるべきと考えます。少なくとも目に入る幹線道路沿いや市街地地区では、設置しないでほしいです。そのほかにも、土地を外国人に売ったりはしないで欲しいです。
		40歳代	まず、雪がある町なのに冬のあの道路はいったいなんですか？たしかダンプを3.4台町で買ってますよね…。排雪のためにいつ使ってます？なんなら使っているなら、町道が車1台しか通れないなんて状況になってませんね…。ダンプはあるのに道は変わらないって無駄な税金の使い方ですよね。小学校近くの道路もあんなに狭いのでは本当に危ないんですけど。この町の車、どれだけ走ってるかわかってます？夏は夏で道路はガタガタ！余計な施設なんかにお金使わず、まず全員が使う道路に税金使ってください。施設なんて道路に使わないです。(町民が)この町より雪がすごい所から来た友達、この町の排雪、除雪、道路の狭さ、汚さに本当に驚いていましたよ。そもそも、このアンケートも意味あるんですか？アンケート後に変わった事ないですよね。道路関係は、周りの人達もみんな文句言っていますし、役場の方に電話したと言う話も聞いた事がありますし、前回のアンケートで書いたと言っていた方がいましたが、なにか変わりましたか？変わらないなら、この紙や郵送費すら無駄だと思いませんか？本当この町無駄だらけです。人の税金なんだと思ってるんですか？夏に、砂利道に水まいて走るのもやめて下さい。あんなすぐ乾く砂利道に水まいて走る燃料代も税金ですよね？あれこそ無駄です!!まいて、30分もしたらすぐ乾いてますからしかも余計にほこりがまいて車が汚くなります。そんな、無駄なことばかりするなら舗装にしろ。無駄な洗車代がかかっているんです!毎年!! 町民に平等な支援、還元等が少ない。役場周辺以外街が汚い。不法投棄、草刈りされてない道路などが多すぎ。若者の楽しみがない。
		50歳代	引越して来ての印象が、道路が悪い事に驚いた。病院があまりにも少ないので不安になった。(この不安は毎日感じる)人がとても親切だと感じた。 ・町の道路の補修、ゴミ、雑草の除去などで美化を強化してほしい。・せっかく空港があるので、もう少し観光に力を入れて欲しい。(見に行きたくなる様な一面の花があるとか…)・むずかしい問題ですが「におい」がたびたび気になります。(ふん尿のにおい)・お祭りなどの子ども達が喜ぶ様なイベントをもう少しあるといいかなと思います。・若い子の都会への流出が多いので魅力ある町づくりが必要。・「映え」を意識した町づくりをする。SNSの力は現在かなり大きいと思います。 桜ヶ丘3丁目に住んでいます。道路が砂利道のため車が通るたびほこりが舞って止めてある車もすぐにほこりだらけになります。早く舗装道路にしてほしい。どうかお願い致します。
		60歳代	町の畑を借りているが、道路側の通路がデコボコで、雨がずっとと車が通れない、手続きをしに行った時に話したが、改善されない。車が壊れてしまいそう。畑の間の通路も去年よりも狭くなっていて利用する人の事を考えて欲しい。無作為に抽出したので今年で3回目です。もっといろいろな人の意見を聞くべきです。
		女性	

教育・文化分野	男性	40歳代	近隣の町ともっと連携を取って町づくりを進めてほしい。特に医療分野と教育分野。せっかく何をやるにもいい人口や年齢層がいるのに勿体無い。もっと多くのスポーツ誘致できる環境を整えてほしい。大規模な野球場やサッカー場や合宿施設やホテルが足りてない。スポーツ分野では、網走市や遠軽町などモデルケースを参考にして欲しい。
	女性	30歳代	予算や人員の関係で難しい事かと思いますが、現在、町内の学校に通う子供の給食が加工食品が多く、内容もあまり工夫がされていないのが少々気になります。子供たちの健康の為、機会がありましたらご検討お願いします。このアンケートで中標津町の防災情報メールの事をはじめて知ったので、もっと周知した方がよいと思いました。 ※メールの受け取り方、登録の仕方、操作がわからない人へ教える等。
		40歳代	地域によっては学校までの距離があり、校区を広くしているのであればスクールバスの拡充が不可欠。親の送迎ありきな面が見られると感じる。 子供の遠征など行かせてあげたいけどどこへ行くのも金額が高いので交通費の負担がもう少し安くなるとありがたいです。
		50歳代	子どもたちを学校から開放してあげるためにも、部活動の外部への移行を進めたり、他に楽しみを別の大人たちや子ども達同士で見つけられるような場があると良いのではないのでしょうか？能力のある子ほど苦しむ環境があるように思います。
		60歳代	(ちょっとひと言)運動公園の野球場の駐車場もっと広く、そしてそこへ行くまでの中間地点が暗く、こんな所に野球場がと思いました。小さい子ども達の場が端っこへおいやられている感じです。もっと明るく誰もが見れて行きやすく、楽しめる場所でありたいです。野球場がちょっとやぶの中という感じです。

IV 參考資料

まちづくり町民アンケート回答用紙

留意事項

1. ご回答は宛名のご本人にお願いいたします。
2. ご回答は**5月31日（水）**までにお願いいたします。
3. 「その他」を選ばれた場合は、（ ）内にその内容等を回答願います。
4. ご回答方法は「郵送」又は「インターネット」の2通りからお選びいただけますので、下記の回答方法を参考にご回答をお願いいたします。

回答方法

1. 郵送による回答の場合

- ①次ページ以降の設問へ回答（該当番号をペン等により○印を記入）
- ②記入した回答用紙を同封の返信用封用に入れ、ポストへ投函（切手は不要）

2. インターネットによる回答の場合

- ①下記からサイトへアクセス



URL : <https://www.harp.lg.jp/7CLuEsXm>

- ②インターネット回答用 ID（下記）を入力
- ③表示されている設問へ回答
- ④最下段の確認ボタンを押す
- ⑤内容を確認し、送信ボタンを押す

インターネット回答用 ID :

※ID は重複回答を防ぐために使用し、回答者を特定するものではありません。

問い合わせ先

中標津町 総務部 政策推進課

電 話 : 0153-73-3111（内線 324）

あなた自身のことについてお伺いします

問 1 それぞれの項目ごとに当てはまる番号1つに○印をつけてください。

(1)性別	①男性	②女性
	③無回答	
(2)年齢	①10歳代・20歳代	⑤60歳代
	②30歳代	⑥70歳代
	③40歳代	⑦80歳代
	④50歳代	⑧90歳以上
(3)職業 (主なもの)	①農林漁業	⑤パートタイム・アルバイト
	②製造業・建設業	⑥主婦・主夫
	③卸小売業・飲食業	⑦無職
	④その他サービス業等 (公務員を含む)	⑧学生・その他
(4)通勤・通学先	①町内	③該当なし・その他
	②町外	
(5)家族構成	①夫婦(子どもはいない)	④単身(あなた1人)
	②親子(2世代)	⑤その他
	③親・子・孫(3世代)	
(6)出身地	①中標津町	④道外
	②根室管内	⑤国外
	③道内	
(7)居住地	①中標津市街	③計根別市街
	②中標津町農協区域	④計根別農協区域
(8)居住年数	①1年未満	③5年以上20年未満
	②1年以上5年未満	④20年以上

愛着度・定住意向についてお伺いします

問 2 あなたは、中標津町に「自分のまち」としての愛着を感じていますか。

(1つに○印を付けてください)

①感じている

③どちらかといえば感じていない

②どちらかといえば感じている

④感じていない

【自由記述欄】

問 3 あなたは、今後も中標津町に住み続けたいと思いますか。

(1つに○印を付けてください)

①住み続けたい

③どちらかといえば住みたくない

②どちらかといえば住み続けたい

④住みたくない

※①または②を選んだ方にお伺いします。

※③または④を選んだ方にお伺いします。

住み続けたい主な理由は何ですか。
(複数選択可)

住みたくない主な理由は何ですか。
(複数選択可)

- ①自然が豊かだから
- ②教育環境がよいから
- ③通勤や通学が便利だから
- ④医療や福祉が充実しているから
- ⑤日常の買い物が便利だから
- ⑥生活する環境が便利だから
- ⑦職場があるから
- ⑧親や親戚がいる住み慣れた土地だから
- ⑨友人など人間関係があるから
- ⑩町の将来に希望がもてるから
- ⑪特に理由はない
- ⑫その他

(具体的に:)

- ①日常の買い物が不便
- ②道路事情や交通の便が悪い
- ③地域の行事や近所づきあいが面倒
- ④子どもの保育・教育のことが心配
- ⑤町内に適当な職場が少ない
- ⑥保健・医療・福祉分野のサービスや施設が不十分
- ⑦消防・防災・防犯体制に不安を感じる
- ⑧スポーツ施設や文化施設が不十分
- ⑨生活基盤施設の整備が遅れている
- ⑩コミュニティ活動など住民の交流がない
- ⑪情報通信基盤が整っていない
- ⑫その他

(具体的に:)

まちの取り組みについてお伺いします

問 4 まちの計画や取り組みに関心を持っていますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| ①関心を持っている | ③どちらかといえば関心を持っていない |
| ②どちらかといえば関心を持っている | ④関心を持っていない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問 5 町の情報について、知りたい情報が得られていると感じますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|----------------|-----------------|
| ①そう感じる | ③どちらかといえばそう感じない |
| ②どちらかといえばそう感じる | ④そう感じない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

※③または④を選んだ方にお伺いします。

特にどのような情報が不足していると感じますか。

(複数選択可)

- | | |
|-------------------|------------------|
| ①まちの計画や取り組みに関する情報 | ⑤防災情報 |
| ②支援制度に関する情報 | ⑥情報発信の中身がわかりづらい |
| ③役場での手続きに関する情報 | ⑦情報発信の手段が不足している |
| ④イベント開催情報 | ⑧その他
(具体的に:) |

問 6 町民と行政が協力してまちづくりが進められていると感じますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|----------------|-----------------|
| ①そう感じる | ③どちらかといえばそう感じない |
| ②どちらかといえばそう感じる | ④そう感じない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問 7 あなたは町内会に加入していますか。

(1つに○印を付けてください)

①加入している	②加入していない
---------	----------

※①を選んだ方にお伺いします。

加入している主な理由は何ですか。

(複数選択可)

- ①いざという時の助け合いのため
- ②地域コミュニティに参加するため
- ③勧誘されて断れなかったため
- ④人づきあいが好きのため
- ⑤様々な情報が得られるため
- ⑥以前から加入している
- ⑦特に理由はない
- ⑧その他

(具体的に:)

※②を選んだ方にお伺いします。

加入していない主な理由は何ですか。

(複数選択可)

- ①必要性を感じないから
- ②会費の負担があるから
- ③町内会役員等の仕事を避けたいから
- ④近所づきあいが面倒だから
- ⑤加入の方法がわからないから
- ⑥勧誘に来なかったから
- ⑦特に理由はない
- ⑧その他

(具体的に:)

問 8 国際交流、地域間交流(他の市町村との交流)が行われていると感じますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|----------------|-----------------|
| ①そう感じる | ③どちらかといえばそう感じない |
| ②どちらかといえばそう感じる | ④そう感じない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問 9 北方領土問題を身近な問題として感じますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|----------------|-----------------|
| ①そう感じる | ③どちらかといえばそう感じない |
| ②どちらかといえばそう感じる | ④そう感じない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問10

男女が対等な立場で、家庭、職場、地域など社会のあらゆる分野の活動に参画できていると感じますか。

(1つに○印を付けてください)

①そう感じる	③どちらかといえばそう感じない
②どちらかといえばそう感じる	④そう感じない
	⑤わからない(回答無効)

※③または④を選んだ方にお伺いします。

そう感じない主な理由は何ですか。
(複数選択可)

①男女の固定的な役割分担がある	⑤男女問わず能力に応じて評価されない (キャリアを築けない)
②女性が働きたい職種が不足している	⑥出産・育児・介護をしながら仕事・活動をするための支援が足りない
③女性が働きやすい労働環境が整備されていない(休暇制度・採用等)	⑦女性の意見が言いにくい風潮がある
④男女で就労条件に差がある(給与面等)	⑧その他 (具体的に:)

問11

男女が平等に参加できる社会を形成するために、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。

(複数選択可)

①女性の働きたい職種の充実	⑥男女の固定的な役割分担など意識解消に向けた啓発
②女性が働きやすい労働環境の整備(休暇の種類充実、採用面等)	⑦保育や介護サービスの充実
③女性の就労条件(給与面等)など企業への啓発	⑧町の審議会や委員会などへの女性の登用
④男女問わず能力に応じて評価される環境の整備	⑨女性のための相談窓口の充実
⑤女性のための職業訓練機会の提供	⑩その他 (具体的に:)

問12

情報通信機器(スマートフォンやパソコン等)を持っていない又は操作が苦手なため、町の情報が得られず困ったことや申請ができず困ったことがありますか。

(1つに○印を付けてください)

①ある	②ない
-----	-----

※①を選んだ方にお伺いします。

主に何からまちの情報を取得しますか。
(複数選択可)

①広報紙・チラシ折込	④役場窓口・電話
②FMラジオ	⑤知り合い・家族から
③町ホームページ・SNS	⑥その他 (具体的に:)

問13 地域や家庭で子どもが安心して育てられていると感じますか。

(1つに○印を付けてください)

①そう感じる

③どちらかといえばそう感じない

②どちらかといえばそう感じる

④そう感じない

⑤わからない(回答無効)

【自由記述欄】

問14 高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らしていると感じますか。

(1つに○印を付けてください)

①そう感じる

③どちらかといえばそう感じない

②どちらかといえばそう感じる

④そう感じない

⑤わからない(回答無効)

【自由記述欄】

問15 障がい福祉サービスが整っていると感じますか。

(1つに○印を付けてください)

①そう感じる

③どちらかといえばそう感じない

②どちらかといえばそう感じる

④そう感じない

⑤わからない(回答無効)

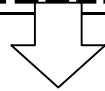
【自由記述欄】

問16

あなたの地域活動・ボランティア活動への参加状況と今後の参加意向についてお尋ねします。

(1つに○印を付けてください)

①現在参加しているし今後も参加したい ②現在参加していないが今後は参加したい	③現在参加しているが、今後は参加するつもりはない ④現在参加していないし、今後も参加するつもりはない
---	--



※①または②を選んだ方にお伺いします。

あなたは、今後(今後とも)どのような地域活動・ボランティア活動に参加したいと思いますか。
(複数選択可)

①町内会や自治会などの活動	⑩高齢者や障がい者の手助けなど福祉に関する活動
②公園・道路の清掃や花壇の世話	⑪通院介助や健康管理の指導など保健・医療に関する活動
③自然保護や環境保全、リサイクル等に関する活動	⑫募金や寄付、バザー等に関する活動
④農協や商工会などの活動	⑬地域づくりやまちおこしに関する活動
⑤老人クラブや女性団体、子ども会などの活動	⑭自主防災や災害援助に関する活動
⑥子育て支援に関する活動	⑮交通安全に関する活動
⑦PTA、青少年の健全育成に関する活動	⑯パトロールなど防犯に関する活動
⑧教育・文化・スポーツ活動の指導・運営に関する活動	⑰外国人住民との交流
⑨伝統芸能の保存に関する活動	⑱その他 (具体的に:)

問17

町立病院の医療体制に満足していますか。

(1つに○印を付けてください)

①満足している	③どちらかといえば満足していない
②どちらかといえば満足している	④満足していない
	⑤わからない(回答無効)

【自由記述欄】

問18 健康保険や年金の制度に関して、知りたい情報が得られていると感じますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|----------------|-----------------|
| ①そう感じる | ③どちらかといえばそう感じない |
| ②どちらかといえばそう感じる | ④そう感じない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問19 地元の農畜産物(乳製品、肉、野菜、加工品等)を身近に感じますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|----------------|-----------------|
| ①そう感じる | ③どちらかといえばそう感じない |
| ②どちらかといえばそう感じる | ④そう感じない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問20 町が行う植樹などの森林づくり活動に参加したいと思いますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|-------------------|------------------|
| ①参加したいと思う | ③どちらかといえば参加したくない |
| ②どちらかといえば参加したいと思う | ④参加したくない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問21 町内での飲食や買い物に満足していますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|-----------------|------------------|
| ①満足している | ③どちらかといえば満足していない |
| ②どちらかといえば満足している | ④満足していない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問22 あなたは観光客に対して「おもてなし」の気持ちを持っていますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|----------------|-----------------|
| ①持っている | ③どちらかといえば持っていない |
| ②どちらかといえば持っている | ④持っていない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問23 雇用対策(通年雇用、雇用の創出・確保等)に満足していますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|-----------------|------------------|
| ①満足している | ③どちらかといえば満足していない |
| ②どちらかといえば満足している | ④満足していない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問24 住んでいる地域が「良好なまちなみ(住環境)である」と感じていますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|----------------|-----------------|
| ①そう感じる | ③どちらかといえばそう感じない |
| ②どちらかといえばそう感じる | ④そう感じない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問25 日々の生活の中で景観を意識していますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|-----------------|------------------|
| ①意識している | ③どちらかといえば意識していない |
| ②どちらかといえば意識している | ④意識していない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問26 公共交通(バス)を利用して、便利に暮らすことができていると感じますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|----------------|-----------------|
| ①そう感じる | ③どちらかといえばそう感じない |
| ②どちらかといえばそう感じる | ④そう感じない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問27 中標津空港利用の利便性に満足していますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|-----------------|------------------|
| ①満足している | ③どちらかといえば満足していない |
| ②どちらかといえば満足している | ④満足していない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問28 日頃から家庭で災害(地震や風雪災害など)への備えをしていますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|---------------|----------------|
| ①している | ③どちらかといえばしていない |
| ②どちらかといえばしている | ④していない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問29 あなたは、防災のための情報をどこから得ていますか。

(複数選択可)

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| ①広報中標津 | ④コミュニティFMラジオを活用した防災放送 |
| ②中標津町緊急情報メール「キキボウ」 | ⑤テレビ |
| ③インターネットやスマートフォン | ⑥その他
(具体的に:) |

問30 地域や企業などでの防犯活動に参加していますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|------------|--------------|
| ①参加している | ③あまり参加していない |
| ②たまに参加している | ④参加していない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問31 消費生活に関する正しい情報を得られていると感じますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|----------------|-----------------|
| ①そう感じる | ③どちらかといえばそう感じない |
| ②どちらかといえばそう感じる | ④そう感じない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問32 日頃から環境問題(温暖化、省エネルギー、ごみ減量等)について意識していますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|-----------------|------------------|
| ①意識している | ③どちらかといえば意識していない |
| ②どちらかといえば意識している | ④意識していない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問33 3R運動(リデュース:発生抑制、リユース:再使用、リサイクル:再生使用)をしていますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|---------------|----------------|
| ①している | ③どちらかといえばしていない |
| ②どちらかといえばしている | ④していない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問34 学校、家庭、地域が一体となって教育活動を進めていると感じますか。

(1つに○印を付けてください)

①そう感じる

③どちらかといえばそう感じない

②どちらかといえばそう感じる

④そう感じない

⑤わからない(回答無効)

【自由記述欄】

問35 らいふまっぷ(生涯学習情報誌)・社会教育施設ホームページに満足していますか。

(1つに○印を付けてください)

①満足している

③どちらかといえば満足していない

②どちらかといえば満足している

④満足していない

⑤わからない(回答無効)

【自由記述欄】

問36 生涯学習活動を通して生きがいを感じますか。

(1つに○印を付けてください)

※生涯学習とは

一般には人々が生涯に行うあらゆる学習を意味します。

すなわち、学校教育、家庭教育、社会教育、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動、企業内教育、趣味など様々な場や機会において行う学習。

①そう感じる

③どちらかといえばそう感じない

②どちらかといえばそう感じる

④そう感じない

⑤わからない(回答無効)

【自由記述欄】

問37 運動やスポーツに取り組んでいますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|------------------|--------------|
| ①取り組んでいる | ③あまり取り組んでいない |
| ②どちらかといえば取り組んでいる | ④取り組んでいない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問38 文化活動・芸術活動に取り組んでいますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|------------------|--------------|
| ①取り組んでいる | ③あまり取り組んでいない |
| ②どちらかといえば取り組んでいる | ④取り組んでいない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問39 町内に、歴史や自然・文化を後世に伝えていくため、残したいと思うものがありますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|-------------|--------------|
| ①ある | ③どちらかといえはない |
| ②どちらかといえばある | ④ない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

町民・団体・企業・行政など、あらゆる主体が対話・連携によりお互いを補い合う
協働のまちづくりを進めます

低い 達成度 高い

A diagram showing a horizontal array of five cells, each containing a number from 1 to 5. Above the array is a double-headed arrow spanning the entire width of the five cells, indicating the range of the array.

より多くの人が集まり、関わり、交流する賑わいのあるまちづくりを進めます

低い 達成度 高い

A diagram showing a horizontal array of five cells, each containing a number from 1 to 5. Above the array is a double-headed arrow spanning the entire width of the five cells, indicating the range of the array.

あらゆる主体や行政組織がそれぞれの分野・固定概念に縛られず、垣根を超えた効果的・効率的な連携により町の活性化につながるまちづくりを進めます

低い 達成度 高い

A diagram showing a horizontal array with five cells. Above the array is a double-headed arrow spanning the entire width. The cells are labeled with the numbers 1, 2, 3, 4, and 5 from left to right.

近隣自治体等との広域連携を強化し、広域的な活性化や町単独では対応できない課題へ対応するまちづくりを進めます

低い 達成度 高い

A diagram showing a horizontal array of five cells, each containing a number from 1 to 5. Above the array is a double-headed arrow spanning the entire width of the five cells, indicating the range of the array.

【自由記述欄】

あなたの生活で現在もしくは将来に向けて町の行政に望むことやまちづくりについて、ご意見などがございましたらご自由にお書きください。

【自由記述欄】

ご協力ありがとうございました。

※ご記入いただいたアンケートは5月31日(水)までに同封の返信用封筒に入れて返送してください。(切手は不要です。)



町 民 憲 章

(昭和 40 年 7 月 1 日 制定)

わたしたちは、朝夕気高い武佐岳を仰ぎ、標津川の流れとともにひらけゆく
中標津の町民です。

はてしない緑の原に、先人のきびしい開拓のあとをしのび、その心をうけて、
みんなの力で明るい豊かなまちをつくるために、この憲章をさだめます。

- 1 からだをきたえ、しあわせな家庭にしましょう
- 1 誇りをもって働き、豊かなまちにしましょう
- 1 きまりを守り、明るいまちにしましょう
- 1 自然を愛し、美しいまちにしましょう
- 1 教養を高め、よりよい文化を育てましょう



【町の木】シラカバ



【町の花】エゾリンドウ

« 発 行 » 中標津町 総務部 政策推進課

〒086-1197 北海道標津郡中標津町丸山 2 丁目 22 番地

TEL (0153)73-3111 FAX (0153)73-5333

ホームページ <http://www.nakashibetsu.jp/>

e-mail nakasi-t@arens.or.jp

空とみどりが人をつないでいくまち

中標津

～ 住みたいまち 住み続けたいまち ～